



MMCloud

Y's-Cloud

設定マニュアル

株式会社 YE DIGITAL

目次

目次	2
変更履歴	5
第1章 はじめに	14
1. 1 マニュアルの構成	14
1. 2 動作環境	16
1. 3 記載上の凡例	16
第2章 表示画面の構成	17
2. 1 画面の全体構成	17
2. 2 共通ヘッダ部の構成	18
2. 3 注意事項	19
2. 4 制限事項	20
第3章 設定について	25
第4章 システム設定	26
4. 1 システム設定の参照	26
4. 2 システム設定の変更	28
第5章 グループ一覧/グループ情報	30
5. 1 グループ一覧 画面の構成	30
5. 2 グループの新規追加	35
5. 3 グループ情報の参照/変更/削除	36
5. 4 CSV ファイルの出力	37
5. 5 CSV ファイルの取り込み	38
第6章 役割一覧/役割情報	39
6. 1 役割一覧 画面の構成	39
6. 2 役割の新規追加	40
6. 3 役割情報の参照/変更/削除	42
6. 4 CSV ファイルの出力	43
6. 5 CSV ファイルの取り込み	43
第7章 ユーザー一覧/ユーザ情報	44
7. 1 ユーザー一覧 画面の構成	44
7. 2 ユーザの新規追加	45
7. 3 ユーザ情報の参照/変更/削除	48
7. 4 パスワードの変更と再発行	50
7. 5 CSV ファイルの出力	53
7. 6 CSV ファイルの取り込み	53
第8章 型番一覧/型番情報	54

8. 1	型番一覧 画面の構成	54
8. 2	型番の新規追加	55
8. 3	型番情報の参照/変更/削除	58
8. 4	CSV ファイルの出力	60
8. 5	CSV ファイルの取り込み	60
第9章	通信プロファイル一覧/通信プロファイル設定	61
9. 1	通信プロファイル一覧 画面の構成	61
9. 2	通信プロファイルの新規追加	62
9. 3	通信プロファイルの参照/変更/削除	70
9. 4	CSV ファイルの出力	72
9. 5	CSV ファイルの取り込み	72
第10章	稼働状態設定情報	73
10. 1	稼働状態設定の参照	73
10. 2	稼働状態設定の変更	75
第11章	アラーム条件一覧/アラーム条件情報	77
11. 1	アラーム条件一覧 画面の構成	77
11. 2	アラーム条件の新規追加	78
11. 3	アラーム条件情報の参照/変更/削除	84
11. 4	CSV ファイルの出力	85
11. 5	CSV ファイルの取り込み	85
第12章	トレンドビュー一覧/トレンドビュー情報	86
12. 1	トレンドビュー一覧 画面の構成	86
12. 2	トレンドビューの新規追加	87
12. 3	トレンドビューの参照/変更/削除	89
12. 4	CSV ファイルの出力	91
12. 5	CSV ファイルの取り込み	91
第13章	イベント変換一覧/イベント変換情報	92
13. 1	イベント変換一覧 画面の構成	92
13. 2	イベント変換の新規追加	93
13. 3	イベント変換の参照/変更/削除	96
13. 4	CSV ファイルの出力	97
13. 5	CSV ファイルの取り込み	97
第14章	配信データ一覧/配信データ情報	98
14. 1	配信データ一覧 画面の構成	98
14. 2	配信データの新規追加	99
14. 3	配信データの参照/変更/削除	101

14.4	CSV 出力	102
第15章	機器一覧/機器情報	103
15.1	機器一覧 画面の構成	103
15.2	機器の新規追加	104
15.3	機器情報の参照/変更/削除	107
15.4	表示項目の積算値	109
15.5	アラームの通知先と通知テンプレート	110
15.6	CSV ファイルの出力	123
15.7	CSV ファイルの取り込み	123
第16章	お知らせ一覧/お知らせ情報	124
16.1	お知らせ一覧 画面の構成	124
16.2	お知らせ情報の新規追加	125
16.3	お知らせ情報の参照/変更/削除	126
16.4	CSV 出力	127
第17章	レイアウト一覧/レイアウト情報/表示項目情報	128
17.1	レイアウト一覧 画面の構成	128
17.2	レイアウトの新規追加	129
17.3	レイアウト情報の参照/変更/削除	136
17.4	表示項目情報の参照/変更	137
付録1	CSV 入出力	149
付録1.1	入出力する CSV ファイルについて	150
付録1.2	処理区分について	154
付録1.3	CSV ファイルの取り込み - エラーメッセージについて	155
付録1.4	取り込む CSV ファイルの作り方	158
付録2	禁則文字	186

変更履歴

版数	日付	変更内容
1.00	2014/10/10	初版発行
1.01	2014/12/09	4. 1 システム設定の参照 / 4. 2 システム設定の変更 システム設定画面変更 ⑧DISK 使用量情報表示追加
1.02	2015/03/10	新規画面の説明追加 第10章 稼働状態設定情報 第12章 トレンドビュー一覧/トレンドビュー情報 第13章 イベント変換一覧/イベント変換情報 第14章 配信データ一覧/配信データ情報
		CSV 入出力機能に関する説明を追加 第5章 グループ一覧/グループ情報 第6章 役割一覧/役割情報 第7章 ユーザー一覧/ユーザー情報 第8章 型番一覧/型番情報 第9章 通信プロファイル一覧/通信プロファイル情報 第11章 アラーム条件一覧/アラーム条件情報 第15章 機器一覧/機器情報
		CSV 出力のファイル形式変更 5. 4 CSV ファイルの出力
		表示件数の「総件数」に関する説明を追加 5. 1 グループ一覧 画面の構成 6. 1 役割一覧 画面の構成 7. 1 ユーザー一覧 画面の構成 8. 1 型番一覧 画面の構成 9. 1 通信プロファイル条件一覧 画面の構成 11. 1 アラーム条件一覧 画面の構成 15. 1 機器一覧 画面の構成
		章タイトルを訂正 9. 1 通信プロファイル条件一覧 画面の構成 9. 2 通信プロファイルの新規追加 9. 3 通信プロファイルの参照/変更/削除 第16章 お知らせ情報
		項目「ユーザ公開フラグ」を追加 6. 2 役割の新規追加
		項目「グループ」を追加 8. 2 型番の新規追加

		項目「型番名称」「所属グループ」を追加 9. 2 通信プロファイルの新規追加
		データ型に「イベント型」を追加 9. 2 通信プロファイルの新規追加
		「アドレス名称」に関する説明を追加 15. 4. 2 アラーム設定の変更
		付録1 (CSV 入出力) を追加
		全体的な項目名、属性、イメージ、アイコンの変更、及び、文言の修正
1.03	2015/04/09	トレンドビューに設定された役割が削除された場合についての説明を追加 12. 3. 1 削除された役割の取り扱いについて
		CSV 取り込み時のエラーメッセージ変更 付録1. 3 CSV ファイルの取り込み - エラーメッセージについて
		CSV の項目を変更 (位置情報→緯度、経度に分割) 付録1. 4. 2 グループ一覧 付録1. 4. 10 機器一覧
		テーマカラー「グリーン」を追加 付録1. 4. 4 ユーザー一覧
1.04	2015/04/14	一覧表のヘッダを「NO」から「No.」に変更
		共通ヘッダ部に関して注釈を追加 2. 1 画面の全体構成
		ヘッダメニュー一覧、登録アイテム削除、<戻る>ボタンに関する注意事項を追加 2. 3 注意事項
		役割の表示順に関して注釈を追加 6. 2 役割の新規追加
		ユーザ権限、メールアドレスの説明を追加、及び、役割に関して注釈を修正 7. 2 ユーザの新規追加
		パスワード変更の方法 1 に関して注釈を削除 再発行の説明を修正 7. 4 パスワードの変更と再発行
		<パスワード再発行> ボタンクリックの吹き出し文言の修正 7. 4. 2 パスワードの再発行
		通信プロファイルの説明を修正 8. 2 型番の新規追加
		章タイトルの修正 9. 1 通信プロファイル一覧 画面の構成
		データポイント詳細設定項目の文言の追加、修正、及び、項目番号の変更 9. 2 通信プロファイルの新規追加
		稼働状態設定の変更について、各項目の説明を修正 10. 2 稼働状態設定の変更

	<p>しきい値にイベント型データポイントを用いる際の注意事項を追加</p> <p>1 1. 2. 1 発生型アラームの新規追加</p> <p>1 1. 2. 2 復帰型アラームの新規追加</p>
	<p>画面イメージを修正</p> <p>付録1. 1 入出力する CSV ファイルについて</p>
	<p>1 件のデータを複数行で表記する機能を明記</p> <p>付録1. 1. 2 出力に関する注意事項</p>
	<p>取り込む CSV ファイルの名称に関して追記</p> <p>付録1. 1. 3 取り込みに関する注意事項</p>
	<p>処理区分の概要説明の文言を修正</p> <p>付録1. 2 処理区分について</p>
	<p>「No.」列、及び、エラーメッセージの追加</p> <p>付録1. 3 CSV ファイルの取り込み - エラーメッセージについて</p>
	<p>「No.」列に関する説明の文言を修正</p> <p>付録1. 4. 1 共通</p>
	<p>入力チェック項目を修正</p> <p>付録1. 4. 3 役割一覧</p> <p>付録1. 4. 4 ユーザー一覧</p>
	<p>入力チェック表記を修正</p> <p>付録1. 4. 3 役割一覧</p> <p>付録1. 4. 6 通信プロファイル一覧</p> <p>付録1. 4. 10 機器一覧</p>
	<p>注釈の項目名に項目番号を追加</p> <p>付録1. 4. 6 通信プロファイル一覧</p>
	<p>発生型アラームの設定に関して注釈に追記</p> <p>緯度、経度、住所について「備考」列に説明を追記</p> <p>付録1. 4. 10 機器一覧</p>
	<p>データ部の入力チェック一覧表のタイトルを削除</p> <p>付録1. 4. 2 グループ一覧</p> <p>付録1. 4. 3 役割一覧</p> <p>付録1. 4. 4 ユーザー一覧</p> <p>付録1. 4. 5 型番一覧</p> <p>付録1. 4. 6 通信プロファイル一覧</p> <p>付録1. 4. 7 アラーム条件一覧</p> <p>付録1. 4. 8 トレンドビュー一覧</p> <p>付録1. 4. 9 イベント変換一覧</p>
	<p>「編集」列の変更不可、変更可能を削除、表記修正</p> <p>付録1. 4. 1 共通</p> <p>付録1. 4. 2 グループ一覧</p>

		<p>付録1. 4. 3 役割一覧</p> <p>付録1. 4. 4 ユーザー一覧</p> <p>付録1. 4. 5 型番一覧</p> <p>付録1. 4. 6 通信プロファイル一覧</p> <p>付録1. 4. 7 アラーム条件一覧</p> <p>付録1. 4. 8 トレンドビュー一覧</p> <p>付録1. 4. 9 イベント変換一覧</p> <p>付録1. 4. 10 機器一覧</p>
		<p>CSV 入出力に関して付録参照の旨を記載</p> <p>5. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>5. 5 CSV ファイルの取り込み</p> <p>6. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>6. 5 CSV ファイルの取り込み</p> <p>7. 5 CSV ファイルの出力</p> <p>7. 6 CSV ファイルの取り込み</p> <p>8. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>8. 5 CSV ファイルの取り込み</p> <p>9. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>9. 5 CSV ファイルの取り込み</p> <p>11. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>11. 5 CSV ファイルの取り込み</p> <p>12. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>12. 5 CSV ファイルの取り込み</p> <p>13. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>13. 5 CSV ファイルの取り込み</p> <p>14. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>15. 5 CSV ファイルの出力</p> <p>15. 6 CSV ファイルの取り込み</p>
		<p><詳細設定> ボタンの説明削除</p> <p>6. 1 役割一覧 画面の構成</p>
		<p>章のタイトルを変更</p> <p>付録1. 1 入出力する CSV ファイルについて</p>
		<p>弊社ロゴマークを変更</p> <p>表紙、奥付</p>
1.05	2015/09/13	<p>全体的なレイアウト、文言の修正、説明の追記</p> <p>7. 1 ユーザー一覧 画面の構成</p> <p>7. 2 ユーザの新規追加</p> <p>7. 3 ユーザ情報の参照/変更/削除</p> <p>9. 2 通信プロファイルの新規追加</p>

	<p>9. 2. 2 演算式の書き方</p> <p>第10章 稼働状態設定情報</p> <p>10. 1 稼働状態設定の参照</p> <p>11. 2 アラーム条件の新規追加</p> <p>11. 2. 1 発生型アラームの新規追加</p> <p>11. 2. 2 復帰型アラームの新規追加</p> <p>15. 4. 1 アラーム設定の追加</p> <p>付録1. 3 CSV ファイルの取り込み</p>
	<p>マニュアルの構成に外部 API ユーザーズマニュアルを追加</p> <p>1. 1 マニュアルの構成</p>
	<p>アップロード画像ファイル拡張子を明記</p> <p>4. 2 システム設定の変更</p>
	<p>検索条件エリアの説明を追加</p> <p>6. 1 役割一覧 画面の構成</p>
	<p>画面デザイン変更</p> <p>7. 1 ユーザー一覧 画面の構成</p> <p>7. 2 ユーザの新規追加</p> <p>7. 3 ユーザ情報の参照/変更/削除</p> <p>7. 4. 1 パスワードの変更方法</p> <p>7. 4. 2 パスワードの再発行</p> <p>7. 5 CSV ファイルの出力</p> <p>7. 6 CSV ファイルの取り込み</p> <p>13. 2 イベント変換の新規追加</p> <p>13. 2. 1 イベント変換 - 変換ルールに関する補足説明</p> <p>13. 3 イベント変換の参照/変更/削除</p> <p>13. 4 CSV ファイルの出力</p> <p>13. 5 CSV ファイルの取り込み</p> <p>14. 1 配信データ一覧 画面の構成</p> <p>14. 2 配信データの新規追加</p> <p>14. 3 配信データの参照/変更/削除</p> <p>14. 4 CSV 出力</p> <p>15. 1 機器一覧 画面の構成</p> <p>15. 3 機器情報の参照/変更/削除</p> <p>15. 5 CSV ファイルの出力</p> <p>15. 6 CSV ファイルの取り込み</p> <p>16. 1 お知らせ情報の新規追加</p>
	<p>名称、単位の説明を追記</p> <p>9. 2. 1 名称、単位の新規追加/選択</p>

		<p>お知らせ一覧画面追加</p> <p>6. 2 役割の新規追加</p> <p>6. 3 役割情報の参照/変更/削除</p> <p>第16章 お知らせ一覧/お知らせ情報</p>
		<p>通信ログ画面追加</p> <p>6. 2 役割の新規追加</p> <p>6. 3 役割情報の参照/変更/削除</p> <p>12. 2 トレンドビューの新規追加</p>
		<p>CSV 自動コンバート機能についての注意事項を追加</p> <p>付録1. 1. 3 取り込みに関する注意事項</p>
		<p>CSV 取り込みの説明を修正・追加</p> <p>付録1. 4. 1 共通</p> <p>付録1. 4. 3 役割一覧</p> <p>付録1. 4. 6 通信プロファイル一覧</p> <p>付録1. 4. 7 アラーム条件一覧</p> <p>付録1. 4. 8 トレンドビュー一覧</p> <p>付録1. 4. 9 イベント変換一覧</p> <p>付録1. 4. 10 機器一覧</p>
		<p>弊社住所を変更</p> <p>奥付</p>
1.06	2015/10/13	<p>文書番号の修正</p>
1.07	2016/04/23	<p>データ削除の説明を修正・追加</p> <p>2. 3 注意事項</p> <p>5. 3 グループ情報の参照/変更/削除</p> <p>6. 3 役割情報の参照/変更/削除</p> <p>7. 3 ユーザ情報の参照/変更/削除</p> <p>8. 3 型番情報の参照/変更/削除</p> <p>9. 2 通信プロファイルの新規追加</p> <p>9. 3 通信プロファイルの参照/変更/削除</p> <p>11. 3 アラーム条件情報の参照/変更/削除</p> <p>12. 3 トレンドビューの参照/変更/削除</p> <p>13. 3 イベント変換の参照/変更/削除</p> <p>14. 3 配信データの参照/変更/削除</p> <p>15. 3 機器情報の参照/変更/削除</p>
		<p>2. 4 制限事項を追加</p>
		<p>FTP ファイル名連結文字の説明を追加</p> <p>4. 1 システム設定の参照</p>
		<p>容量制限の説明を追加</p> <p>4. 1 システム設定の参照</p>

		<p>4. 2 システム設定の変更</p> <p>機器付帯情報の説明を追加</p> <p>8. 2 型番の新規追加</p> <p>15. 2 機器の新規追加</p> <p>地図表示用アイコンの説明を追加</p> <p>8. 2 型番の新規追加</p> <p>通信プロファイルのデータ形式・データ型の説明を追加</p> <p>9. 2 通信プロファイルの新規追加</p> <p>10. 2 稼働状態設定の変更</p> <p>11. 2 アラーム条件の新規追加</p> <p>トレンドビューの表示順の説明を追加</p> <p>12. 2 トレンドビューの新規追加</p> <p>アラーム通知のメールテンプレートの説明を修正</p> <p>15. 4 アラームの通知先と通知テンプレート</p> <p>CSV フォーマットの説明を修正</p> <p>付録1. 1 入出力する CSV ファイルについて</p> <p>付録1. 2 処理区分について</p> <p>付録1. 3 CSV ファイルの取り込み - エラーメッセージについて</p> <p>付録1. 4 取り込む CSV ファイルの作り方</p>
<p>1.08</p>	<p>2016/10/03</p>	<p>全体的なレイアウト、文言の修正</p> <p>コマンド実行機能に関する設定項目の説明を追加</p> <p>14. 2 機器の新規追加</p> <p>14. 3 機器情報の参照/変更/削除</p> <p>表示項目に関する設定項目の説明を追加</p> <p>4. 1 システム設定の参照</p> <p>4. 2 システム設定の変更</p> <p>7. 4 パスワードの変更と再発行</p> <p>8. 2 型番の新規追加</p> <p>8. 3 型番情報の参照/変更/削除</p> <p>14. 2 機器の新規追加</p> <p>14. 3 機器情報の参照/変更/削除</p> <p>14. 4 表示項目の積算値</p> <p>付録1. 4. 5 型番一覧</p> <p>付録1. 4. 10 機器一覧</p> <p>禁則文字に関する説明を追加</p> <p>付録2 禁則文字</p> <p>設定が即反映されない項目の明記</p> <p>・ユーザ情報画面の表 (7. 2 ユーザの新規追加)</p>

1.09	2017/03/10	演算式の書き方について追記 9. 2. 2 演算式の書き方
		通信プロファイルCSV取込でのコマンド・データポイントの追加について追記 付録1. 4. 6 通信プロファイル一覧
		新規画面の説明追加 第17章 レイアウト監視/レイアウト情報/表示項目情報 付録2 禁則文字
		動作環境の追記 1. 2 動作環境
1.10	2018/1/31	グループID“0000”の取り扱いについて説明を追記 付録1. 3 CSV ファイルの取込み - エラーメッセージについて 付録1. 4. 2 グループ一覧
1.11	2018/5/14	データベース使用量の注記を追加 4. 1 システム設定の参照 アラーム設定追加についての注意事項を追加 15. 5. 1 アラーム設定の追加
1.12	2018/7/20	レイアウトに設定している機器を[機器情報]画面から削除した場合の挙動を追記 17. 2 レイアウトの新規追加
1.13	2018/8/29	技術的なお問い合わせ相談窓口 電話番号を変更、FAX 番号を削除
1.14	2018/10/04	1.2 動作環境 説明の訂正
		15. 3 機器情報の参照/変更/削除 機器削除時、収集データが削除されることを追記
1.15	2019/03/01	社名変更、ドメイン名変更に伴う表記変更
1.16	2019/04/16	3. 1 社名変更に伴う変更画面の差替え
1.17	2019/09/26	トレンドビュー一覧/トレンドビュー情報の権限設定内容を変更
		6. 2 役割の新規追加 付録1. 4. 3 役割一覧
1.18	2019/12/12	Y's-Cloud 併記に伴う更新
1.19	2020/01/23	1. 2 動作環境 Windows 7 を削除 タブレットを追加 11. 2. 3 無通信検知型アラームの新規追加 無通信検知型を追加 11. 3 アラーム条件情報の参照/変更/削除 編集可能項目を追加 付録1. 4. 7 アラーム条件一覧 無通信検知型を追加 付録2 禁則文字

		アラーム条件の項目を追加
--	--	--------------

第1章 はじめに

この度は、「MMCloud/Y's-Cloud」のご契約、ありがとうございます。

本書では、MMCloud/Y's-Cloud をシステム動作させるための設定方法について説明をしています。
主な対象者として、お客様にてシステム構成を立案し、構築を行うシステム管理者を想定しています。

1.1 マニュアルの構成

1.1.1 関連文書

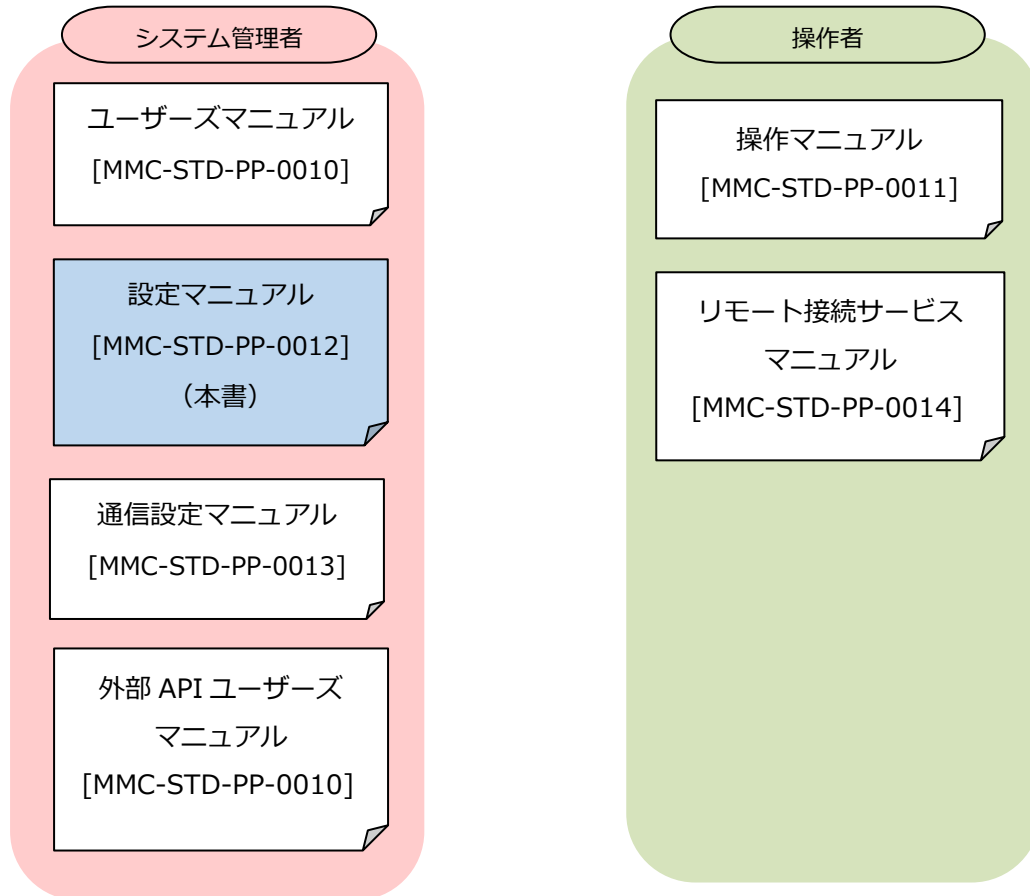
No.	文書番号	文書名
1	MMC-STD-PP-0010-xxx	MMCloud/Y's-Cloud ユーザーズマニュアル
2	MMC-STD-PP-0011-xxx	MMCloud/Y's-Cloud 操作マニュアル
3	MMC-STD-PP-0013-xxx	MMCloud/Y's-Cloud 通信設定マニュアル
4	MMC-STD-PP-0014-xxx	MMCloud/Y's-Cloud リモート接続サービスマニュアル
5	MMC-STD-PP-0010-xxx	MMCloud/Y's-Cloud 外部 API ユーザーズマニュアル

※文書番号中の xxx は版数などを示し、変更されます。

※以降、説明のない限り、「ユーザーズマニュアル」などと略記します。

1. 1. 2 マニュアルの構成

MMCloud/Y's-Cloud ではシステム管理者、操作者別に以下のマニュアルを準備しています。
使用目的に合わせ、適切なマニュアルをご参照ください。



1.2 動作環境

MMCloud/Y's-Cloud を使用するには、以下の動作環境をご準備ください。

No.	項目	仕様
1	ブラウザ	(1)Microsoft Internet Explorer 11 デスクトップ版 (※1) (2)Google Chrome (※2) (3)Microsoft Edge (※2)
2	解像度	1,920×1,080/1,920×1,200/1,280×1,024/1,280×768/1,024×768 推奨：1,280×1,024
3	言語	日本語/英語
4	対応 OS	Windows 8.1/Windows 10

※1：互換表示及び Modern UI 版は非対応。

※2：タッチ操作には非対応。

タブレットについては以下の環境について動作を確認しています。

No.	項目	ブラウザ
1	iOS	(1)Safari (2)Google Chrome
2	Android	(1)Google Chrome

※ ツールチップ表示、ダウンロード等の一部操作には非対応。

1.3 記載上の凡例

マニュアル記載の用語は、記載方法の統一のため、以下のルールで記載しています。

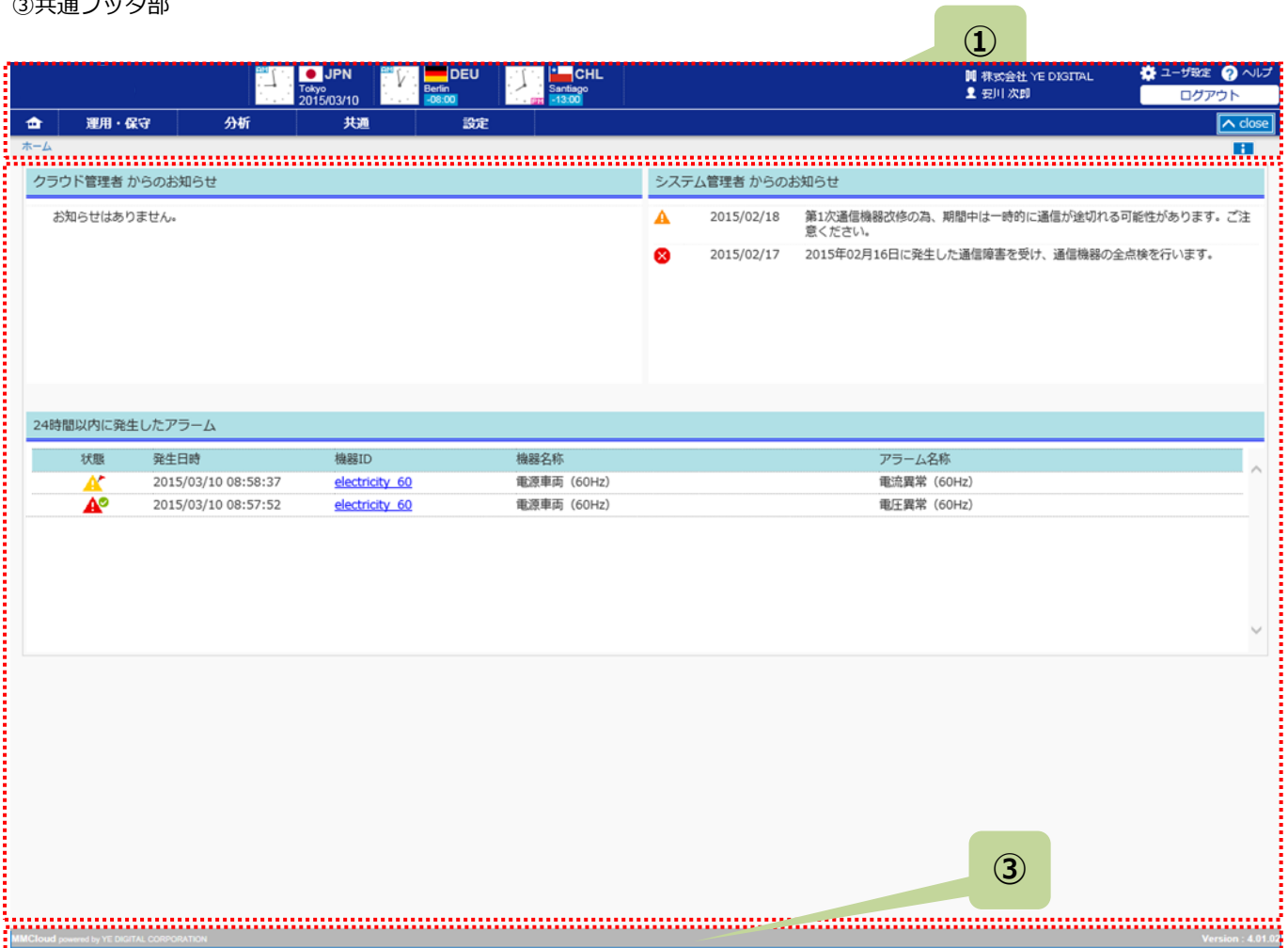
No.	項目	仕様
1	[画面名]	画面を示す単語の場合、[]で囲んで表記します。 例：[ホーム]、[機器稼働状況一覧]など
2	" 表示名 "	画面内に表示された単語や項目などは" "で囲んで表記します。 また、画面内の表示などは[画面名]："表示名"と記載します。 例：[機器稼働状況一覧]："最終通信日時"など
3	< 操作名 >	マウスなどでクリックし、操作するようなボタンは< >で囲んで表記します。 例：<詳細設定>など

第2章 表示画面の構成

2.1 画面の全体構成

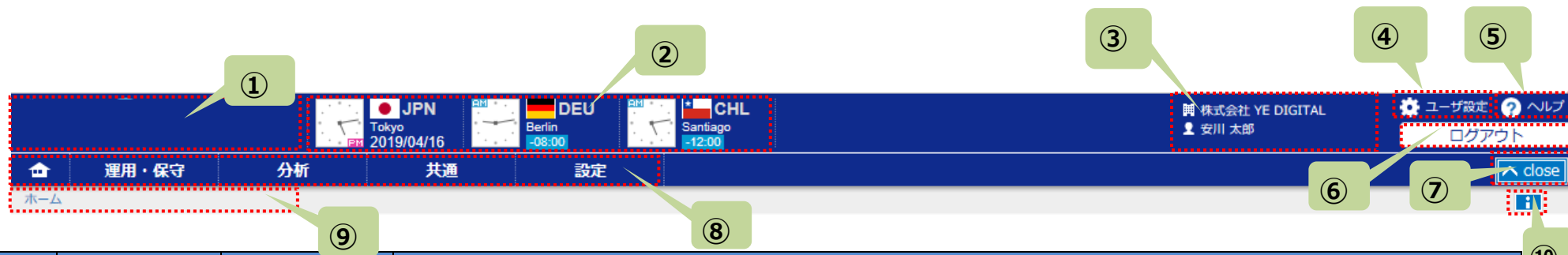
[ログイン]画面以外の表示画面は、以下の3つのエリアで構成されます。

- ①共通ヘッダ部
- ②メイン表示部
- ③共通フッタ部



領域	項目名	属性	説明
①	共通ヘッダ部	表示	全ての画面で同じ内容を表示します。 設定により表示の一部を変更することが可能です。
		操作	<close> ボタンで非表示にできます。<open> ボタンで表示できます。 ※ヘッダの開閉ボタンに関する詳細は、第 2.2 章をご参照ください。
②	メイン表示部	入力	画面毎に表示内容は異なります。詳細は以降の各画面の説明ページをご参照ください。
		表示	
		操作	
③	共通フッタ部	表示	全ての画面で同じ内容を表示します（変更はできません）。 右端にシステムのバージョン情報を表示します。

2. 2 共通ヘッダ部の構成



領域	項目名	属性	説明
①	ロゴ	表示	システム管理者にて設定されたロゴを表示します。
②	時計	表示	日時を最大3地域分表示することができます。表示地域は、[ユーザ情報]画面で変更することができます。 3つの内の左端の時計は、[ユーザ情報]：“タイムゾーン”に従った情報を表示します。 他の2つの時計は、表示/非表示など任意時間の時計表示が可能です。
③	ログイン情報	表示	登録されている顧客名称及びログインユーザの氏名を表示します。 ユーザの氏名は[ユーザ情報]画面で変更することができます。
④	ユーザ設定	操作	[ユーザ情報]画面へ遷移し、ユーザ毎の設定を変更することができます。
⑤	ヘルプ	操作	クリックするとMMCloud/Y's-Cloudの操作マニュアルがダウンロードされます。
⑥	ログアウト	操作	クリックすると[ログイン]画面に戻ります。
⑦	close	操作	クリックすると共通ヘッダ部が非表示になります。 再表示するには<close>ボタンの代わりに表示された<open>ボタンをクリックします。
⑧	メニュー	表示	メニューが表示されます。表示されるメニューはログインユーザの役割設定により異なります。
		操作	メニューを選択すると各画面へ遷移します。
⑨	画面遷移履歴	表示	現在の画面階層位置を表示します。
⑩	画面情報表示	操作	クリックすると画面内のアイコン説明が別ウインドウで表示されます。

2.3 注意事項

- ◆全てのメニューや各画面、画面内の各機能は、ユーザに割り付けられた役割の権限により、閲覧または使用を制限されます。(権限が設定されていない場合、メニューや画面、機能ボタンが表示されない場合があります。) 役割設定に関する詳細は、第6章をご参照ください。

例：

- ・ [ユーザー一覧]画面に対して、閲覧権限を持たない役割が割り付けられている場合、設定メニューに[ユーザー一覧]が表示されません。
- ・ [ユーザ情報]画面に対して、閲覧権限を持たない役割が割り付けられている場合、[ユーザー一覧]：“ユーザID”の該当セルをクリックしても、[ユーザ情報]画面に遷移しません。
- ・ [ユーザ情報]画面に対して、更新権限を持たない役割が割り付けられている場合、[ユーザ情報]画面での新規作成（コピーを含む）、編集、削除のためのボタンが表示されません。

- ◆登録したユーザ、型番、機器などを削除した場合、関連するデータも削除されます。Ver.3.01.00 以前に削除された場合、“ユーザ名”、“型番名称”、“機器名称”などの項目は、取消線を重ねて表示されます。また、Ver.3.01.00 以前に削除された情報は再度削除することで表示されなくなります。

例：

- ・ 機器名称「電源車両 001」の場合、Ver.3.01.01 以前に削除されていれば「電源車両-00±」と表示されます。Ver.4.00.00 以降に削除された場合は画面に表示されません。

- ◆MMCloud/Y's-Cloud では、ブラウザの<戻る> ボタンを使用しないでください。

2.4 制限事項

◆地図アクセスカウント数の制限

当月の地図アクセスカウント数が上限値を超えたとき、[機器稼働状況一覧]画面、及び、[機器トレンドモニタ]画面で地図タブを表示できなくなります。また、地図アクセスカウント数が上限値の80%、90%、100%を超えたとき、[システム設定]画面で表示している担当者宛てにメールで通知します。

[機器稼働状況一覧]画面、[機器トレンドモニタ]画面に関する詳細は、それぞれ「操作マニュアル」の第5章、第7章をご参照ください。[システム設定]画面に関する詳細は、第4章をご参照ください。通知メールに関する詳細は、第2.4.1章をご参照ください。

◆Disk 使用量の制限

Disk 使用量が上限値を超えたとき、型番や機器などのデータを新規登録できなくなります。また、Disk 使用量が総容量の80%、90%、100%を超えたとき、[システム設定]画面で表示している担当者宛てにメールで通知します。

Disk 使用量、及び、[システム設定]画面に関する詳細は、第4章をご参照ください。通知メールに関する詳細は、第2.4.2章をご参照ください。

◆機器台数の制限

機器台数が上限値に達したとき、機器の新規追加ができなくなります。そのときは、不要な機器を削除するか、もしくは契約内容の見直しをお願いします。なお、機器台数の上限は[システム設定]画面で確認できます。

機器に関する詳細は第15章をご参照ください。[システム設定]画面に関する詳細は、第4章をご参照ください。

◆通知メール

Y's-Cloud をご使用の場合も「MMCloud」からの通知となります。

2. 4. 1 通知メール - 地図アクセスカウント数

- ◆地図アクセスカウント数が上限値の 80%を超えたときに通知されるメールの内容は以下のとおりです。

Subject: 【注意】MMCloud の地図アクセスが利用制限回数に近づいています

担当者様

MMCloud からのお知らせです。

地図アクセスの使用率が 80%を超えました。

月末迄に上限値を超えると、地図表示が出来なくなります。

今月の地図のご利用は最小限にさせていただくか、地図オプションの契約の見直しをご検討ください。

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

- ◆地図アクセスカウント数が上限値の 90%を超えたときに通知されるメールの内容は以下のとおりです。

Subject: 【警告】MMCloud の地図アクセスが利用制限回数に近づいています

担当者様

MMCloud からのお知らせです。

地図アクセスの使用率が 90%を超えました。

月末迄に上限値を超えると、地図表示が出来なくなります。

地図のご利用を最小限にさせていただくか、地図オプションの契約の見直しをご検討ください。

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

- ◆地図アクセスカウント数が上限値の 100%を超えたときに通知されるメールの内容は以下のとおりです。

Subject: 【異常】MMCloud の地図利用不可

担当者様

MMCloud からのお知らせです。

地図アクセスの使用率が 100%を超えました。

地図のご利用を停止させていただきます。

来月の地図のご利用は最小限にさせていただくか、地図オプションの契約の見直しをご検討ください。

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

2. 4. 2 通知メール - Disk 使用量

- ◆Disk 使用量が総容量の 80%を超えたときに通知されるメールの内容は以下のとおりです。

Subject: 【注意】MMCloud ディスク容量が不足しています

担当者様

MMCloud からのお知らせです。

ディスクの使用率が 80%を超えました。

ディスクの空き容量が非常に少なくなっていますので

収集データやログ保存期間の設定の見直し、及びディスク容量のオプション契約追加をご検討ください。

ディスクサイズの上限に達すると、システムの登録作業やファイルのアップロード

機器からのデータ収集ができなくなります。

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

- ◆Disk 使用量が総容量の 90%を超えたときに通知されるメールの内容は以下のとおりです。

Subject: 【警告】MMCloud ディスク容量が不足しています

担当者様

MMCloud からのお知らせです。

ディスクの使用率が 90%を超えました。

ディスクの空き容量が非常に少なくなっていますので

収集データやログ保存期間の設定の見直し、及びディスク容量のオプション契約追加をご検討ください。

ディスクサイズの上限に達すると、システムの登録作業やファイルのアップロード

機器からのデータ収集ができなくなります。

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

◆Disk 使用量が総容量の 100%を超えたときに通知されるメールの内容は以下のとおりです。

Subject: 【異常】MMCloud データ収集停止

担当者様

MMCloud からのお知らせです。

ディスクの使用率が 100%を超えました。

システムの登録作業やファイルのアップロードが出来ません。又、機器からのデータ収集を停止します。
収集データやログ保存期間の設定の見直し、及びディスク容量のオプション契約追加をご検討ください。

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

第3章 設定について

本書をご理解いただくためには、事前に「ユーザーズマニュアル」の記載内容をご理解いただく必要があります。

まだお読みでない場合、そちらを参照いただくよう、お願いいたします。

また、「通信プロファイル」の設定では、「通信設定マニュアル」を参照しながらお読みいただくことを想定しています。

MMCloud/Y's-Cloud を使用するためには、最初にシステムの設定を行う必要があります。

「ユーザーズマニュアル」で概要を、「通信設定マニュアル」で詳細を説明していますが、本書では画面を使った具体的な設定方法について説明します。

設定はすべて、<設定>メニューから表示されるプルダウンを選択して行います。

円滑に設定を進めるために、上から順に設定することを推奨いたします。

また、画面上で「*」がついている項目は、設定上入力必須な項目です。

設定
システム設定
グループ一覧
役割一覧
ユーザー一覧
型番一覧
通信プロファイル一覧
アラーム条件一覧
トレンドビュー一覧
イベント変換一覧
機器一覧
配信データ一覧
お知らせ一覧
レイアウト一覧

第4章 システム設定

<設定> ⇒ <システム設定> を選択すると、[システム設定]画面を表示します。

これらの設定は、システムの提供開始時には「MMCloud/Y's-Cloud サービス 申込書」で申請いただいた情報に基づきデフォルト設定されています。

4.1 システム設定の参照

[システム設定]画面を開くと設定値が参照できます。

The screenshot shows the 'System Settings' page with 13 numbered callouts (1-13) pointing to specific fields:

- ①: 顧客名称 *
- ②: デフォルト言語 *
- ③: デフォルトタイムゾーン *
- ④: デフォルトテーマカラー *
- ⑤: ログファイル名
- ⑥: FTPファイル名連結文字
- ⑦: 担当者名1
- ⑧: 稼働状況一覧表示項目名1
- ⑨: 収集データ保存期間(日) *
- ⑩: ログ保存期間(日) *
- ⑪: 機器登録台数 / 上限数
- ⑫: 地図API利用カウント数 / 上限数
- ⑬: データベース使用量(GB)

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	顧客名称	表示	ログイン時、Customer ID として入力した登録済み顧客名を表示します。
②	デフォルト言語	表示	システム全体にデフォルトで適用する言語を表示します。

			※ユーザ毎の言語設定が優先されます。
③	デフォルト タイムゾーン	表示	システム全体にデフォルトで適用するタイムゾーンを表示します。 ※ユーザ毎のタイムゾーンが優先されます。
④	デフォルト テーマカラー	表示	システム全体にデフォルトで適用される画面基調色を表示します。 ※ユーザ毎のテーマカラーが優先されます。
⑤	ロゴファイル名	表示	画面左上のロゴ表示用ファイル名を表示します。 ※デフォルトは本製品 MMCloud、もしくは、Y's-Cloud ロゴです。
⑥	FTP ファイル名 連結文字	表示	FTP で受信するファイル名で、機器 ID、コマンドコードなどをつなげるための文字を表示します。 ※これらの文字は機器 ID に使用することができません。機器に関する詳細は、第 15 章をご参照ください。
⑦	担当者情報	表示	担当者 2 名分の登録情報です。氏名/電話番号/メールアドレスを表示します。
⑧	稼働状況一覧 表示項目名 1~5	表示	[機器稼働状況一覧]で表示するデータポイント項目の名称を表示します。
⑨	収集データ保存 期間	表示	下記の収集データの保存期間日数を表示します。 トレンドモニタの収集データ、通信状況一覧の通信量、機器の稼働時間関連データ、アラーム履歴に表示されるアラーム情報 ※収集データ保存期間を「0」で設定すると、収集データの削除を行いません。
⑩	ログ保存期間	表示	下記のログの保存期間日数を表示します。 通信ログ画面のデータ、配信履歴データ ※ログ保存期間を「0」で設定すると、ログの削除を行いません。
⑪	機器登録台数	表示	機器の登録台数と登録可能な上限台数を表示します。 ※制限事項に関しては第 2.4 章をご参照ください。
⑫	地図 API 利用カウント数	表示	MMCloud/Y's-Cloud を通じ地図 API を使用した回数を表示します。 ※回数が多い場合、オプションサービスの“地図オプション”のご契約を依頼させていただく場合があります。 ※地図アクセスカウント数が上限値の 80%、90%、100%を超えたとき、⑦で設定した担当者宛てにメールで通知します。 ※制限事項に関しては第 2.4 章をご参照ください。
⑬	Disk 使用量情報	表示	現在の Disk 使用量情報を表示します。 ・ Disk 使用量：データベース使用量と FTP データ使用量の合計 ・ 総容量：Disk 使用量の利用可能な上限値 ・ データベース使用量：登録している型番や機器などの設定データ、通信データ（計測日時等の管理データが付加されます）、ログデータ等の総データサイズ ・ FTP データ使用量：FTP で送信したファイルサイズ ※Disk 使用量が総容量の 80%、90%、100%を超えたとき、⑦で設定した担当者宛てにメールで通知します。 ※制限事項に関しては第 2.4 章をご参照ください。



4.2 システム設定の変更

The screenshot shows the 'System Settings' page for '安川情報システム'. The settings are organized into sections:

- Default Settings (1-3):** Default language (日本語), Default time zone (Tokyo), and Default theme color (Blue - Default).
- Logo Settings (4-6):** Logo filename field, 'Clear' and 'File Selection' buttons, and FTP filename extension field.
- Monitoring Settings (7):** A table for monitoring status display items with columns for item name and value.
- Retention Settings (8-9):** Data retention period (0 days) and Log retention period (0 days).
- Usage Limits (10-11):** A summary table of system usage including device logins, API calls, and disk/FTP data usage.

At the bottom, there are 'Save' and 'Cancel' buttons.

システム設定の一部の情報は、 **編集** をクリックすると変更が可能です。

領域	項目名	属性	説明
①	デフォルト言語	操作	システム全体にデフォルトで適用する言語を選択します。 ※ユーザ毎の言語設定が優先されます。
②	デフォルト タイムゾーン	操作	システム全体にデフォルトで適用するタイムゾーンを選択します。 ※ユーザ毎のタイムゾーンが優先されます。
③	デフォルト テーマカラー	操作	システム全体にデフォルトで適用される画面基調色を選択します。 ※ユーザ毎のテーマカラーが優先されます。
④	ロゴファイル名	操作	画面左上のロゴ表示用ファイル名を入力します。 ※ロゴファイルの拡張子は jpg/jpeg/bmp/gif/png のみ登録可能です。 ※ロゴファイル名が設定されていない場合、システムで用意したロゴが画面に表示されます。
⑤	ファイル名 操作	操作	ロゴファイルを選択するには、  ファイル参照 をクリックします。 表示されているファイル名を削除するには、  クリア をクリックします。

⑥	FTP ファイル名 連結文字	入力	FTP で受信するファイル名で、機器 ID、コマンドコードなどをつなげるための文字を入力します。 ※これらの文字は機器 ID に使用することができません。機器に関する詳細は、第 15 章をご参照ください。
⑦	稼働状況一覧 表示項目名 1~5	入力	[機器稼働状況一覧]で表示するデータポイント項目の名称を入力します。 5 つまで設定可能です。
⑧	収集データ保存 期間	入力	下記の収集データの保存期間日数を入力します。 トレンドモニタの収集データ、通信状況一覧の通信量、機器の稼働時間関連データ、アラーム履歴に表示されるアラーム情報 ※収集データ保存期間を「0」で登録すると、収集データの削除を行いません。 ※古いデータから削除されます。
⑨	ログ保存期間	入力	下記のログの保存期間日数を入力します。 通信ログ画面のデータ、配信履歴データ ※ログ保存期間を「0」で登録すると、ログの削除を行いません。 ※古いデータから削除されます。
⑩	保存	操作	システム設定の変更を保存します。
⑪	キャンセル	操作	システム設定の変更を保存することなく、キャンセルします。

注意事項

- ◆担当者の情報を変更したい場合は、「MMCloud/Y's-Cloud サービス 申込書」で更新を弊社にご依頼ください。

第5章 グループ一覧/グループ情報

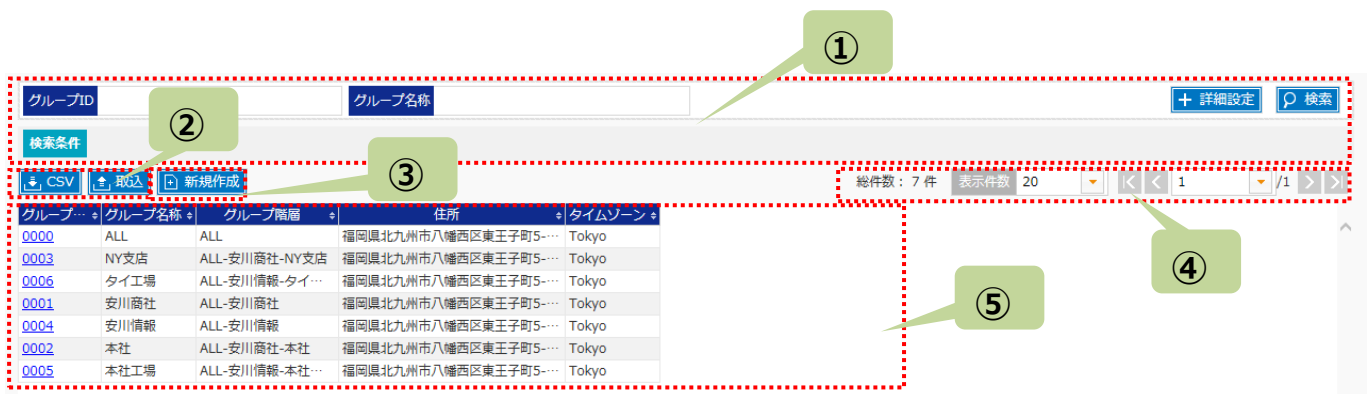
<設定>⇒<グループ一覧>からグループの一覧を確認できます。

[グループ一覧]：“グループ ID”の該当セルをクリックすると、[グループ情報]画面に遷移します。

この[グループ情報]画面では各グループの情報を入力/閲覧/変更できます。

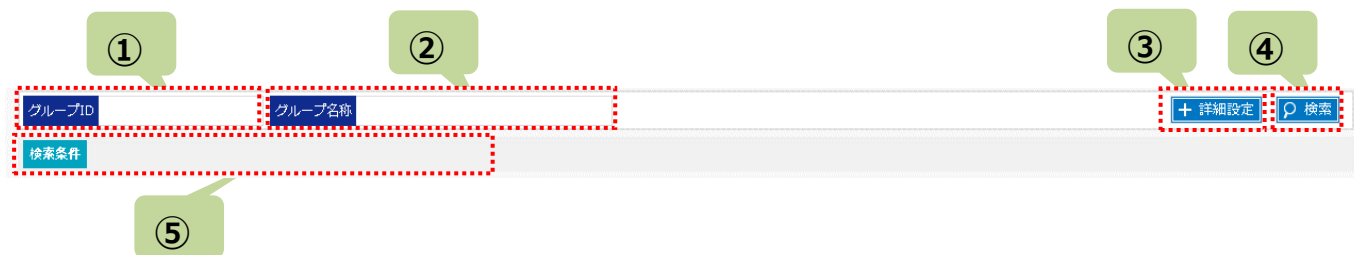
5.1 グループ一覧 画面の構成

[グループ一覧]画面は以下の要素で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	グループ ID、グループ名称で検索するグループを絞り込みます。
		操作	+ 詳細設定 をクリックすると更に詳細の検索条件を設定できます。
②	CSV 入出力	操作	グループ ID、グループ名称などのデータの CSV ファイル出力、取り込みを行います。ただし、出力は 10,000 行まで、取り込みは 1,000 行までです。
③	新規追加	操作	+ 新規作成 をクリックすると、新規グループ作成のための[グループ情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200"
		操作	※デフォルトは"20"です。 また、 ◀ <先頭ページ> / ◀ <1 つ前のページ> / ▶ <1 つ先のページ> / ▶ <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
⑤	一覧エリア	表示	グループ ID、グループ名称などの一覧を表示します。
		操作	"グループ ID"の該当セルをクリックすることで、[グループ情報]画面に遷移します。 [グループ情報]画面ではグループに設定された情報を閲覧/変更できます。

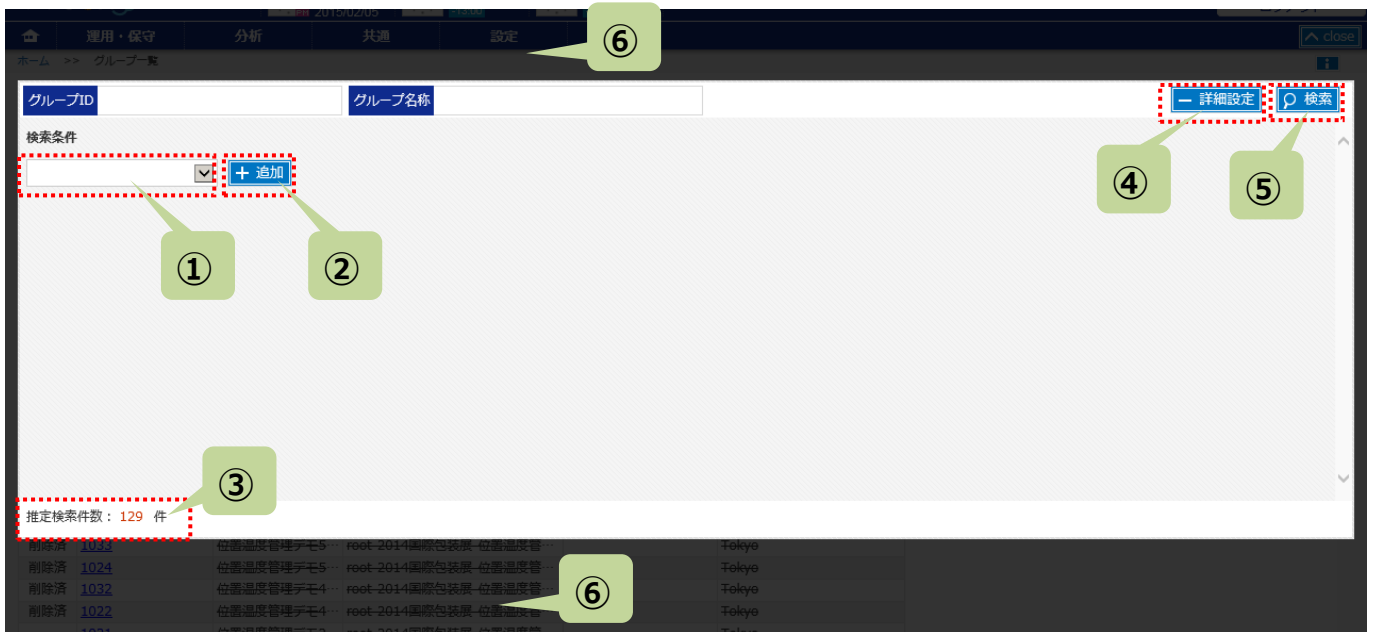
5. 1. 1 グループ一覧 - 検索条件エリアの説明




領域	項目名	属性	説明
①	グループ ID	入力	グループ作成時のグループ ID を指定します。 ※部分一致検索も可能です。 ※未入力の場合、全件が検索対象になります
②	グループ名称	入力	グループ作成時のグループ名称を入力します。 ※部分一致検索も可能です。 ※未入力の場合、全件が検索対象になります
③	詳細設定	操作	クリックすると[詳細設定]画面を表示し、別の検索条件を追加できます。
④	検索	操作	設定した条件で検索を実行します。
⑤	詳細検索条件	表示	[詳細設定]画面で設定した検索条件を表示します。

5. 1. 2 グループ一覧 - 詳細検索条件画面の説明

検索エリアで **+ 詳細設定** をクリックすると、下記の[詳細設定]画面が表示され、追加の検索条件を指定できます。



領域	項目名	属性	説明
①	検索項目	操作	検索する項目を設定します。以下の項目を設定可能です。 "グループ階層"/"住所"/"タイムゾーン"
②	追加	操作	①の検索項目で選択した項目を追加します。 項目毎の設定を続けて行います。
③	推定検索件数	表示	設定した条件で抽出される件数を表示します。  検索 のクリック前に、あらかじめ件数を表示します。
④	詳細設定	操作	設定を行わず、[詳細設定]画面を閉じます。検索処理は実行されません。
⑤	検索	操作	[詳細設定]画面を閉じ、指定された条件で検索を実行します。
⑥	枠外	操作	枠外グレーエリアをクリックすると設定は行われず、[詳細設定]画面が閉じます。検索処理は実行されません。

5. 1. 2. 1 詳細条件の設定方法

詳細条件には下記のようにプルダウンや検索語句などを入力してください。

検索条件をプルダウンで選択します。

選択後、**+ 追加** をクリックし、項目を追加します。

項目追加後、項目毎に詳細に設定を行います。

上記の例は3項目の設定を行ったものです。
項目を削除するには **- 削除** をクリックしてください。
検索 をクリックすると設定条件が確定します。

5. 1. 2. 2 検索条件欄

詳細条件の設定は、“検索条件”に反映されます。

The screenshot displays a search interface with two input fields at the top: 'グループID' and 'グループ名称'. Below these is a '検索条件' (Search Conditions) section. This section contains three filter items, each with a blue 'x' icon: 'グループ階層', '住所', and 'タイムゾーン'. The 'タイムゾーン' filter is currently set to 'Tokyo'.

検索条件にマウスを近付けると、設定した条件が上の画像のように表示されます。

✕ をクリックすると検索条件を削除し、再検索します。

5.2 グループの新規追加

[グループ一覧]画面から、**新規作成** をクリックすると、[グループ情報]画面に遷移します。
この[グループ情報]画面ではグループの新規追加を行えます。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	グループ ID	入力	グループの一意な ID を半角英数 4 文字以内で入力します。
②	グループ名称	入力	グループ名称を 64 文字以内で入力します。
③	親グループ	操作	新規登録グループの親グループを選択します。 6 階層まで設定可能です。
④	位置情報	入力	グループのデフォルト位置情報を、緯度は-90~90 の範囲で、経度は-180~180 の間で入力します。 ※グループに所属する機器の位置情報のデフォルトとして使用されますが、[機器情報]に設定した位置情報が優先されます。
⑤	住所	入力	グループのデフォルト住所を 128 文字以内で入力します。 ※グループに所属する機器の住所のデフォルトとして使用されますが、[機器情報]に設定した住所が優先されます。
⑥	タイムゾーン	操作	グループのタイムゾーンを選択します。 ※デフォルトは[システム情報]で設定したタイムゾーンです。
⑦	保存	操作	新規に追加したグループ情報を保存します。
⑧	キャンセル	操作	グループの追加をキャンセルします。

5.3 グループ情報の参照/変更/削除

[グループ一覧]: "グループ ID"の該当セルをクリックすると、[グループ情報]画面へ遷移します。

この[グループ情報]画面では設定内容を参照/変更/削除できます。

The screenshot shows the 'グループ情報' (Group Information) page. At the top, there are search filters for 'グループID' and 'グループ名称', along with '+ 詳細設定' and '検索' buttons. Below this is a table of groups with columns for 'グループID', 'グループ名称', 'グループ階層', '住所', and 'タイムゾーン'. A red dashed box highlights the first row (ID: 0000). A red arrow points from this row to a detailed view of the group with ID 0000. This view includes fields for 'グループID', 'グループ名称', '親グループ', '位置情報' (with latitude and longitude), '住所', and 'タイムゾーン'. At the bottom of this view, three action buttons are highlighted with red dashed boxes and numbered: ① '編集' (Edit), ② 'コピー' (Copy), and ③ '削除' (Delete).

グループID	グループ名称	グループ階層	住所	タイムゾーン
0000	ALL	ALL	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0003	NY支店	ALL-安川商社-NY支店	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0006	タイ工場	ALL-安川情報-タイ...	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0001	安川商社	ALL-安川商社	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0004	安川情報	ALL-安川情報	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0002	本社	ALL-安川商社-本社	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0005	本社工場	ALL-安川情報-本社...	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo

また、以下ボタンのクリックでグループ内容を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	グループ情報を変更します。 "グループ ID"以外は変更可能です。
②	コピー	操作	グループ情報の設定をコピーし、新規グループを作成します。 "グループ ID"以外の情報がコピーされます。
③	削除	操作	グループを削除します。 グループを削除すると、配下のグループも削除されます。また、お知らせの公開グループが削除対象のグループの場合、お知らせも削除されます。 ※お知らせに関する詳細は、第 16 章をご参照ください。

5.4 CSV ファイルの出力

[グループ一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれたグループの情報が CSV 形式で出力されます。CSV ファイルの出力に関する詳細は、付録 1.1.1 及び付録 1.1.2 をご参照ください。

The screenshot shows a web interface for managing groups. At the top, there are input fields for 'グループID' and 'グループ名称', along with buttons for '+ 詳細設定' and '検索'. Below these is a '検索条件' section with buttons for 'CSV', '取込', and '新規作成'. The 'CSV' button is highlighted with a red dashed box. A table below lists groups with columns for 'グループID', 'グループ名称', 'グループ階層', '住所', and 'タイムゾーン'. The table contains 7 rows of data.

The dialog box is titled 'Web ページからのメッセージ' and contains a question mark icon and the text 'CSVファイルをダウンロードしますか?'. At the bottom, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル'. The 'OK' button is highlighted with a red dashed box. A callout box points to the 'OK' button with the text: '<OK> を選択すると、CSV ファイルをダウンロードします。'

ファイル名	出力日時	システムバージョン						
GroupList_20160328131146.csv	2016/3/28 13:11	4.00.00						
処理区分	グループID	グループ名称	グループ階層	親グループ	緯度	経度	住所	タイムゾーン
4	0	ALL	ALL		33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
5	3	NY支店	ALL-安川商社-NY支店	1	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
6	6	タイ工場	ALL-安川情報-タイ工場	4	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
7	1	安川商社	ALL-安川商社	0	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
8	4	安川情報	ALL-安川情報	0	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
9	2	本社	ALL-安川商社-本社	1	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
10	5	本社工場	ALL-安川情報-本社工場	4	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo

CSV のファイル名は、
画面の英語名 + ダウンロード日時です。

5.5 CSVファイルの取り込み

[グループ一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSVファイルを取り込むことができます。取り込むことができるCSVファイルのフォーマットは、出力されるファイル（第5.4章をご参照ください）と同じ形式です。CSVファイルの取り込みに関する詳細は付録1.1.3、付録1.2～付録1.3、及び付録1.4.2をご参照ください。

5.5.1 CSVファイルの取り込み - 取り込みの流れ

The screenshot illustrates the CSV import workflow in the MMCloud application. It starts with the 'Group List' screen where the 'Import' button is highlighted. This leads to a file selection dialog where 'GroupList.csv' is chosen. A confirmation dialog asks 'Do you want to import CSV files?'. Finally, a completion message 'CSV input processing completed normally.' is displayed.

グループID	グループ名称	グループ階層	住所	タイムゾーン
0000	ALL	ALL	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0003	NY支店	ALL-安川商社-NY支店	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0006	タイ工場	ALL-安川情報-タイ...	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0001	安川商社	ALL-安川商社	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0004	安川情報	ALL-安川情報	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0002	本社	ALL-安川商社-本社	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
0005	本社工場	ALL-安川情報-本社...	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo

Web ページからのメッセージ

OSVファイルをインポートしますか？

OK キャンセル

取り込みが完了するとメッセージが表示されます。

CSV入力処理

CSV入力処理が正常終了しました。

閉じる

第6章 役割一覧/役割情報

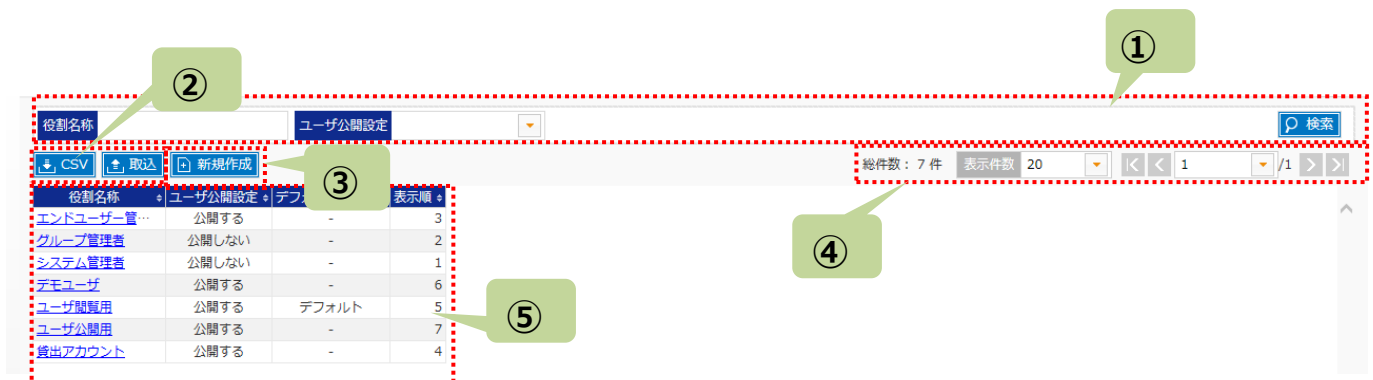
<設定> ⇒ <役割一覧> をクリックすると[役割一覧]画面に遷移し、役割の一覧を確認できます。

[役割一覧]：“役割名称”の該当セルをクリックすると、[役割情報]画面に遷移します。

この[役割情報]画面で各役割の情報を入力/閲覧/変更できます。

6.1 役割一覧 画面の構成

[役割一覧]画面は以下の要素で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	役割名称で検索する役割を絞り込みます。
		操作	
②	CSV 入出力	操作	役割名称、デフォルトフラグなどのデータの CSV ファイル出力、取り込みを行います。ただし、出力は 10,000 行まで、取り込みは 1,000 行までです。
③	新規追加	操作	をクリックすると、新規役割作成のための[役割情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※デフォルトは"20"です。 また、 <先頭ページ> / <1 つ前のページ> / <1 つ先のページ> / <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
		操作	
⑤	一覧エリア	表示	役割名称、デフォルトフラグなどの一覧を表示します。 "役割名称"の該当セルをクリックすることで、[役割情報]画面に遷移し、役割に設定された情報を閲覧/変更できます。
		操作	

6.2 役割の新規追加

[役割一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[役割情報]画面に遷移します。この[役割情報]画面では役割の新規作成が行えます。

役割の設定で、画面毎のアクセス権限の設定を行います。このうち、[システム設定]/[グループ一覧]/[グループ情報]/[役割一覧]/[役割情報]/[お知らせ一覧]/[お知らせ情報]の各画面は“更新可能”のみ設定可能ですが、これらの項目はユーザー権限でログインしても画面表示されません。(システム管理者権限でログインした場合のみ利用可能です。)

※トレンドビューの設定に関しては、[通信ログ一覧]画面に対する権限設定を考慮する必要があります。

詳細は、第12.2章をご参照ください。

①

⑥

⑦

ページ名称	権限		
機器稼働状況一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
機器稼働時間一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
機器トレンドモニタ	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
機器詳細	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
コマンド実行	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
点検保守状況	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
報告書	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
アラーム履歴	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
通信状況一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
配信状況一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
通信ログ一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
稼働状況分析	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
アラーム状況分析	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
資料一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
資料情報	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
システム設定			<input type="radio"/> 更新可能
グループ一覧			<input type="radio"/> 更新可能
グループ情報			<input type="radio"/> 更新可能
役割一覧			<input type="radio"/> 更新可能
役割情報			<input type="radio"/> 更新可能
ユーザー一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
ユーザー情報	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
型番一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
型番情報	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
通信プロファイル一覧	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
通信プロファイル情報	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能
稼働状態設定情報	<input type="radio"/> 利用不可	<input type="radio"/> 閲覧可能	<input type="radio"/> 更新可能

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	役割名称	入力	役割の一意的名称を 32 文字以内で入力します。
②	ユーザ公開フラグ	操作	作成する役割をユーザに公開する場合、☑を入れてください。
③	デフォルトフラグ	操作	[ユーザ情報]画面でデフォルト表示させる役割の場合、☑を入れてください。 ※既にデフォルト役割が設定されている場合でも、“デフォルトフラグ”に☑を入れると新たなデフォルト役割となります。
④	表示順	入力	役割を表示する順番です。0～2,147,483,647 の範囲で入力可能です。

			※他の役割と表示順が重複している場合でも登録できます。
⑤	ページ権限	操作	本役割に与える画面のアクセス権を、ページ単位で以下から選択します。 "利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能" ※デフォルトは"利用不可"です。
⑥	保存	操作	新規に追加した役割情報を保存します。
⑦	キャンセル	操作	役割の追加をキャンセルします。

6.3 役割情報の参照/変更/削除

[役割一覧]: “役割名称”の該当セルをクリックすると、[役割情報]画面に遷移します。

この[役割情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。

役割名称

ユーザー公開設定

検索

CSV 取込 新規作成

総件数: 7件 表示件数: 20 1/1

役割名称	ユーザー公開設定	デフォルトフ...	表示順
エンドユーザー管...	公開する	-	3
グループ管理者	公開しない	-	2
システム管理者	公開しない	-	1
デモユーザ	公開する	-	6
ユーザ閲覧用	公開する	デフォルト	5
ユーザ公開用	公開する	-	7
貸出アカウント	公開する	-	4

役割名称 *

システム管理者

ユーザに公開する *

デフォルトフラグ *

表示順 *

1

ページ名称	権限		
機器稼働状況一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
機器稼働時間一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
機器トレンドモニタ	利用不可	閲覧可能	更新可能
機器詳細	利用不可	閲覧可能	更新可能
コマンド実行	利用不可	閲覧可能	更新可能
点検保守状況	利用不可	閲覧可能	更新可能
報告書	利用不可	閲覧可能	更新可能
アラーム履歴	利用不可	閲覧可能	更新可能
通信状況一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
配信状況一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
通信ログ一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
稼働状況分析	利用不可	閲覧可能	更新可能
アラーム状況分析	利用不可	閲覧可能	更新可能
資料一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
資料情報	利用不可	閲覧可能	更新可能
システム設定			更新可能
グループ一覧			更新可能
グループ情報			更新可能
役割一覧			更新可能
役割情報			更新可能
ユーザー一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
ユーザ情報	利用不可	閲覧可能	更新可能
型番一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
型番情報	利用不可	閲覧可能	更新可能
通信プロファイル一覧	利用不可	閲覧可能	更新可能
通信プロファイル情報	利用不可	閲覧可能	更新可能
稼働状態監視情報	利用不可	閲覧可能	更新可能

① 編集 ② コピー ③ 削除

また、以下ボタンのクリックで役割情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	役割情報を変更します。“役割名称”以外は変更可能です。
②	コピー	操作	役割情報の設定をコピーし、新規役割を作成します。

			”役割名称”以外の情報がコピーされます。
③	削除	操作	<p>役割を削除します。</p> <p>役割を削除すると、トレンドビューで設定されている役割との紐付けも削除されます。また、役割との紐付けがすべて無くなった場合、トレンドビューも削除されます。</p> <p>※トレンドビューに関する詳細は、第 12 章をご参照ください。</p>

6. 4 CSV ファイルの出力

[役割一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれた役割の情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。

The screenshot shows the 'Role List' interface. At the top, there are search filters for 'Role Name' and 'User Public Setting'. Below the filters, there are three buttons: 'CSV', '取込', and '新規作成'. The 'CSV' button is highlighted with a red dashed box. To the right of the buttons, there are statistics: 'Total items: 7 items', 'Display items: 20', and 'Page: 1 / 1'. Below the buttons is a table with the following data:

役割名称	ユーザ公開設定	デフォルトフ…	表示順
エンドユーザー管…	公開する	-	3
グループ管理者	公開しない	-	2
システム管理者	公開しない	-	1
デモユーザ	公開する	-	6
ユーザ隠蔽用	公開する	デフォルト	5
ユーザ公開用	公開する	-	7
貸出アカウント	公開する	-	4

6. 5 CSV ファイルの取り込み

[役割一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSV ファイルを取り込むことができます。取り込むことができる CSV ファイルのフォーマットは、出力されるファイルと同じ形式です。CSV ファイルの取り込みに関する詳細は、第 5.5 章、及び付録 1.4.3 をご参照ください。

The screenshot shows the 'Role List' interface, identical to the one above. The '取込' (Import) button is highlighted with a red dashed box. The rest of the interface, including the search filters, statistics, and table, is the same as in the previous screenshot.

第7章 ユーザー一覧/ユーザー情報

<設定>⇒<ユーザー一覧>からユーザーの一覧を確認できます。[ユーザー一覧]から“ユーザーID”の該当セルをクリックすると[ユーザー情報]画面に遷移します。この[ユーザー情報]画面で各ユーザーの情報を入力/閲覧/変更できます。

7.1 ユーザー一覧 画面の構成

[ユーザー一覧]画面は以下の要素で構成されます。




領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	ユーザーID、ユーザー名、担当グループで検索するユーザーを絞り込みます。
		操作	+ 詳細設定 をクリックすると更に詳細の検索条件を設定できます。
②	CSV 入出力	操作	ユーザーID、ユーザー名などのデータのCSVファイル出力、取り込みを行います。ただし、出力は10,000行まで、取り込みは1,000行までです。
③	新規追加	操作	+ 新規作成 をクリックすると、新規ユーザー作成のための[ユーザー情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の1ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200"
		操作	※デフォルトは"20"です。 また、 ◀ <先頭ページ> / ◀ <1つ前のページ> / ▶ <1つ先のページ> / ▶ <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。。
⑤	一覧エリア	表示	ユーザーID、ユーザー名などの一覧を表示します。
		操作	"ユーザーID"の該当セルをクリックすることで、[ユーザー情報]画面に遷移し、ユーザーに設定された情報を閲覧/変更できます。

7.2 ユーザの新規追加

[ユーザー一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[ユーザー情報]画面に遷移します。
この[ユーザー情報]画面でユーザーの新規作成が行えます。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	ユーザ ID	入力	半角英数、記号 5~12 文字以内で一意的なユーザの ID を設定します。
②	ユーザ姓名	入力	姓名を姓、名別に、それぞれ 20 文字以内で入力します。 また、姓名のフリガナを姓、名別に、それぞれ 40 文字以内で入力します。
③	ユーザ権限 (※1)	操作	ユーザの権限を選択します。以下から選択が可能です。 "システム管理者"/"ユーザ" ※デフォルトは"ユーザ"です。 ※ログインユーザの"ユーザ権限"が"ユーザ"の場合、"システム管理者"は選択できません。
④	役割	操作	ユーザの役割を選択します。 ※[役割情報]画面でデフォルトに設定された役割を表示します。 ※ユーザ権限で"ユーザ"が選択されている場合、ユーザに公開する設定となっている役割のみ選択可能です。

⑤	担当グループ	操作	ユーザが操作できるグループを選択します。 ※ユーザ権限が“システム管理者”の場合、担当グループは選択できません。
⑥	メール情報	入力	ユーザの E-Mail 情報を入力します。新規登録時、本メールアドレス宛にログインのためのパスワードが通知されます。
		操作	メールアドレス記入後、  をクリックすると、ユーザのメールアドレス一覧に追加します。
⑦	タイムゾーン	操作	ユーザのタイムゾーン設定です。この設定が、本ユーザのログイン時には[システム設定][グループ情報]のタイムゾーンより優先適用されます。 ※デフォルトはシステム設定画面であらかじめ登録されたデータです。 ※変更を有効にするには、再ログインが必要です。
⑧	言語	操作	ユーザの表示言語設定です。この設定が、本ユーザのログイン時には[システム設定]の言語設定より優先適用されます。 ※デフォルトはシステム設定画面であらかじめ登録されたデータです。 ※変更を有効にするには、再ログインが必要です。
⑨	テーマカラー	操作	ユーザの表示基調色設定です。この設定が、本ユーザのログイン時には[システム設定]の設定より優先適用されます。 ※デフォルトはシステム設定画面であらかじめ登録されたデータです。 ※変更を有効にするには、再ログインが必要です。
⑩	時計表示 タイムゾーン	操作	⑦タイムゾーンの他に、2つまでタイムゾーンを指定することができます。指定したタイムゾーンの時計を画面上段に表示できます。 ※ともにデフォルトは空白です。 ※変更を有効にするには、再ログインが必要です。
⑪	時計表示	操作	画面上段に表示する時計の表示方法を選択します。 “アナログ”/“デジタル” ※デフォルトは“アナログ”です。 ※変更を有効にするには、再ログインが必要です。
⑫	無効	操作	<input type="checkbox"/> を入れると本ユーザは無効となります。
⑬	保存	操作	新規に追加したユーザ情報を保存します。
⑭	キャンセル	操作	ユーザの追加をキャンセルします。

※1：ユーザ権限

①システム管理者のみ、以下の画面の設定が可能です。

- ・システム設定
- ・役割一覧
- ・役割情報
- ・グループ一覧
- ・グループ情報
- ・トレンドビュー一覧
- ・トレンドビュー情報

- ・お知らせ一覧
 - ・お知らせ情報
- ②システム管理者のみ、[ユーザ情報]で一部操作可能な機能があります。
- ・ユーザ権限の変更
 - ・パスワードの再発行

7.3 ユーザ情報の参照/変更/削除

[ユーザー一覧]: “ユーザID”の該当セルをクリックすると、[ユーザ情報]画面に遷移します。

[ユーザ情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。

The screenshot displays the user management interface. At the top, there are search fields for 'ユーザID' and 'ユーザ名', and buttons for '詳細設定' and '検索'. Below this is a '検索条件' section with 'CSV', '取込', and '新規作成' options. A table lists users with columns for 'ユーザID', 'ユーザ名', 'ユーザ名 (カ)', 'ユーザ権限', '役割', '担当グループ', 'タイムゾーン', and '無効'. The user 'yaskawa005' is highlighted with a red dashed box. A red arrow points from this row to the detailed user information form below.

The detailed user information form for 'yaskawa005' includes the following fields:

- ユーザID *: yaskawa005
- ユーザ名 (姓) *: 安川
- ユーザ名 (名) *: 三郎
- ユーザ名 (セイ): ヤスカワ
- ユーザ名 (メイ): サブロウ
- ユーザ権限 *: ユーザ
- 役割 *: 貸出アカウント
- 担当グループ *: ALL-安川商社-NY支店

Below the form is a table for '送信チェック' (Send Check) with columns for 'メールアドレス名' and 'メールアドレス':

送信チェック	メールアドレス名	メールアドレス	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	代表メールアドレス	yaskawa@ysknet.co.jp	

Additional settings include:

- タイムゾーン *: New_York
- 言語 *: 英語
- テーマカラー *: スカイブルー
- 時計表示タイムゾーン: Paris, Moscow
- 時計表示 *: アナログ デジタル
- 無効:


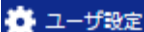

At the bottom, a toolbar contains three callout boxes: ① Edit (編集), ② Copy (コピー), and ③ Delete (削除). A 'パスワード再発行' (Reset Password) button is also visible.

また、以下のボタンのクリックでユーザ情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	ユーザ情報を変更します。 "ユーザ ID"以外は変更可能です。 ※ユーザ権限が"システム管理者"の場合、"担当グループ"の変更はできません。
②	コピー	操作	ユーザの設定をコピーし、新規ユーザを作成します。 "ユーザ ID"以外の情報がコピーされます。
③	削除	操作	ユーザを削除します。 ユーザを削除すると、ユーザのメールアドレスも削除され、アラームの通知メール設定との紐付けも削除します。また、通知メール設定でメールアドレスとの紐付けがすべて無くなった場合、アラーム通知を解除します。 ※アラーム通知に関する詳細は、第 15.5 章をご参照ください。

7.4 パスワードの変更と再発行

ユーザ情報の一部であるパスワードは、以下の方法で新規作成および変更を行います。

No.	分類	説明
1	新規発行	ユーザ情報を新規追加時、登録されたユーザのメールアドレスに初期パスワードが通知されます。
2	変更	<p>方法1： [ユーザ情報一覧]画面から、ログインした“ユーザ ID”をクリックし、開いた[ユーザ情報]画面で  をクリックすると変更可能になります。</p> <p>方法2： 共通ヘッダの  をクリックすると、ログインしたユーザの[ユーザ情報]画面が開きます。開いた[ユーザ情報]画面で  をクリックすると変更可能になります。 ※ログインしたユーザ自身のパスワードを変更する方法です。</p> <p>その他： パスワード申請時、若しくはパスワード更新後から1年経つと、[ユーザ情報]画面を表示しパスワード変更を促します。パスワード変更後、再ログインすると[ホーム画面]が表示されます。</p>
3	再発行	セキュリティの関係上、パスワードの照会は行っておりません。 パスワードを忘れた場合は、初期パスワードを再発行しますので、弊社にご依頼ください。


注意事項

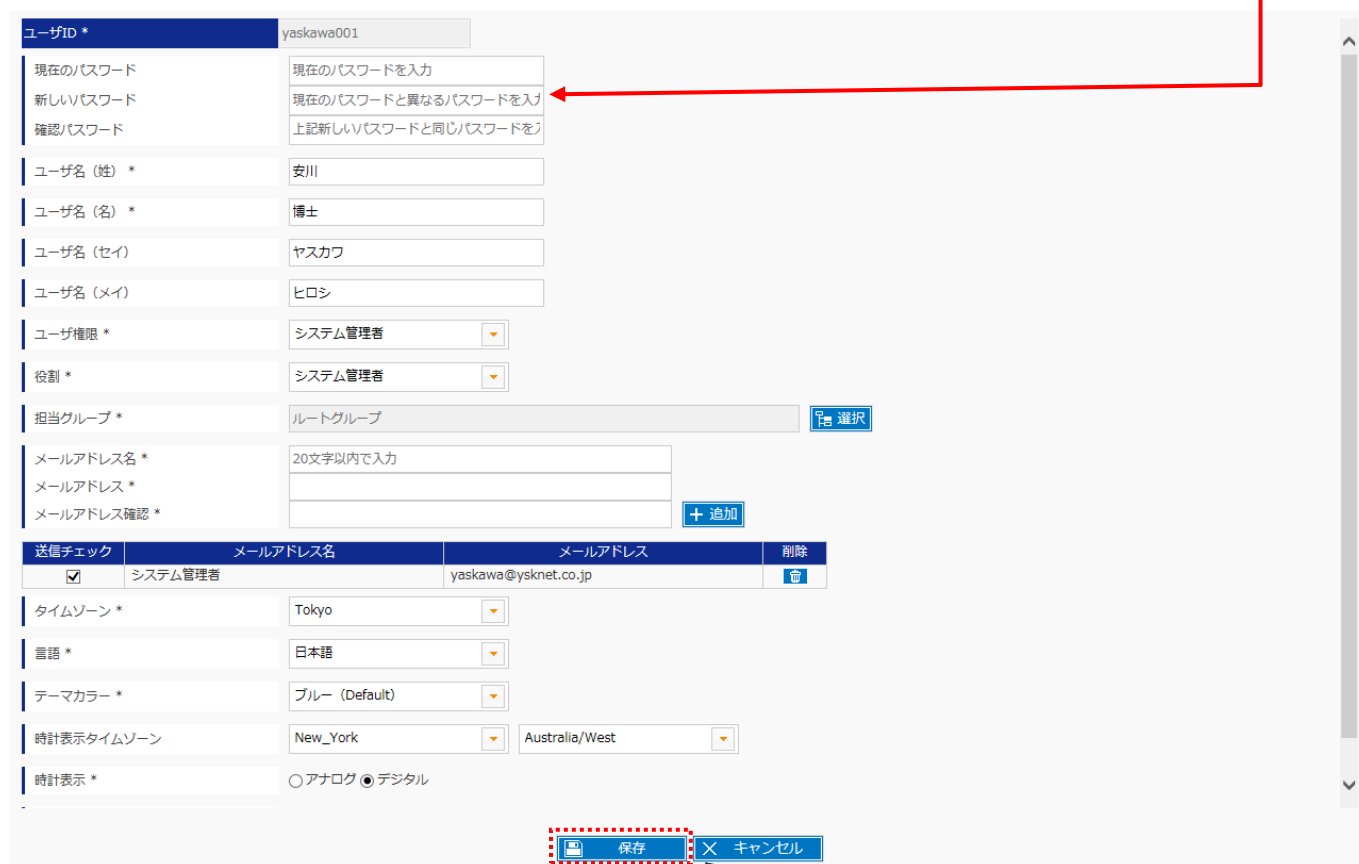
- ◆システム管理者であっても、ログインした以外のユーザのパスワードを変更することはできません。システム利用者が「パスワードを忘れてログインできない」ような場合は、上記の再発行の手続きを行ってください。

7. 4. 1 パスワードの変更方法


一般ユーザが主に使用する、方法2：共通ヘッダの  ユーザ設定 をクリックする方法について説明します。



[ホーム >> ユーザ情報] 画面から  編集 をクリック





The screenshot shows the 'ユーザー情報' (User Information) editing page. The 'ユーザーID' (User ID) is 'yaskawa001'. The password fields are: '現在のパスワード' (Current Password) with the prompt '現在のパスワードを入力', '新しいパスワード' (New Password) with the prompt '現在のパスワードと異なるパスワードを入力', and '確認パスワード' (Confirm Password) with the prompt '上記新しいパスワードと同じパスワードを入力'. Other fields include 'ユーザ名 (姓)' (安川), 'ユーザ名 (名)' (博士), 'ユーザ名 (セイ)' (ヤスカワ), 'ユーザ名 (メイ)' (ヒロシ), 'ユーザ権限' (システム管理者), '役割' (システム管理者), '担当グループ' (ルートグループ), and email address fields. At the bottom, there are '送信チェック' (Send Check) fields, a table of email addresses, and 'タイムゾーン' (Tokyo), '言語' (日本語), 'テーマカラー' (ブルー (Default)), '時計表示タイムゾーン' (New_York, Australia/West), and '時計表示' (アナログ, デジタル) options. The '保存' (Save) button is highlighted with a red dashed box.

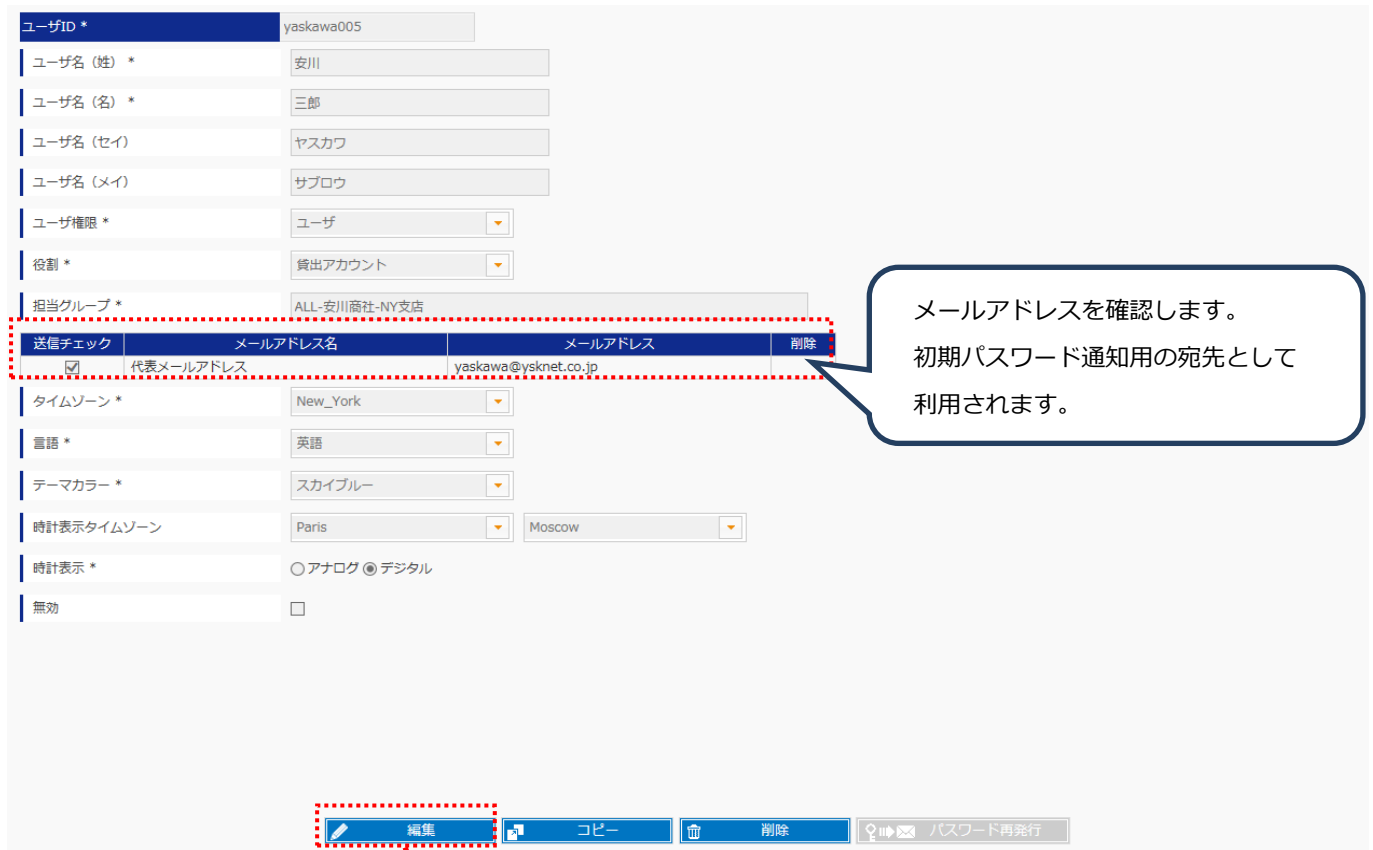
送信チェック	メールアドレス名	メールアドレス	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	システム管理者	yaskawa@ysknet.co.jp	

変更後、クリックすると
システムに保存されます。

7. 4. 2 パスワードの再発行

[ユーザー一覧]画面から、パスワードを再発行したいユーザを選択して[ユーザ情報]画面を開きます。

次に、 をクリックし、編集画面に遷移して、 をクリックします。



ユーザーID * yaskawa005

ユーザ名 (姓) * 安川

ユーザ名 (名) * 三郎

ユーザ名 (セイ) ヤスカワ

ユーザ名 (メイ) サプロウ

ユーザ権限 * ユーザ

役割 * 貸出アカウント

担当グループ * ALL-安川商社-NY支店

送信チェック	メールアドレス名	メールアドレス	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	代表メールアドレス	yaskawa@ysknet.co.jp	

タイムゾーン * New_York



言語 * 英語

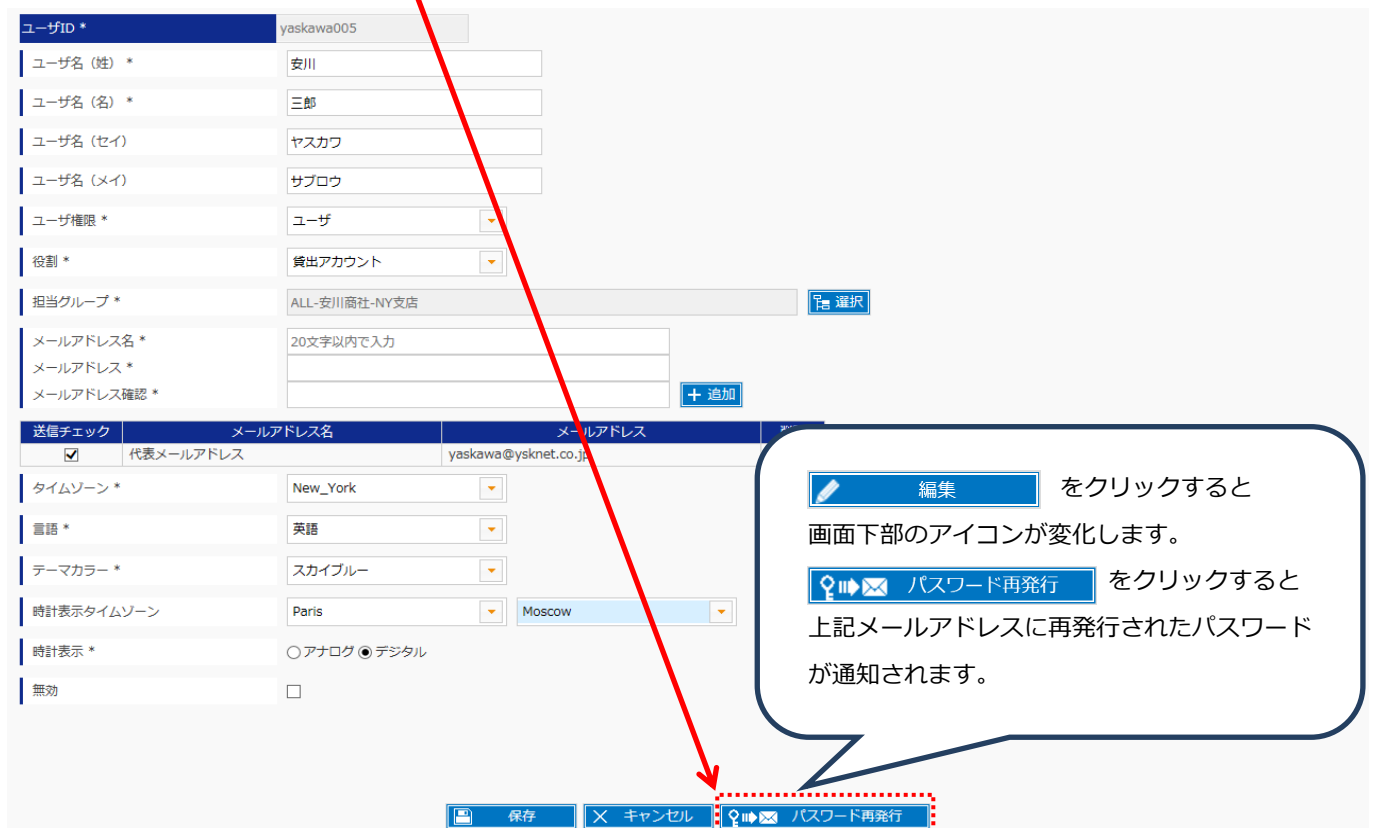
テーマカラー * スカイブルー

時計表示タイムゾーン Paris Moscow

時計表示 * アナログ デジタル

無効



ユーザーID * yaskawa005

ユーザ名 (姓) * 安川


ユーザ名 (名) * 三郎

ユーザ名 (セイ) ヤスカワ

ユーザ名 (メイ) サプロウ


ユーザ権限 * ユーザ

役割 * 貸出アカウント

担当グループ * ALL-安川商社-NY支店 

メールアドレス名 * 20文字以内で入力

メールアドレス *

メールアドレス確認 * 

送信チェック	メールアドレス名	メールアドレス
<input checked="" type="checkbox"/>	代表メールアドレス	yaskawa@ysknet.co.jp

タイムゾーン * New_York




言語 * 英語

テーマカラー * スカイブルー

時計表示タイムゾーン Paris Moscow

時計表示 * アナログ デジタル

無効

7. 5 CSV ファイルの出力

[ユーザー一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれたユーザの情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。

The screenshot shows the user list interface with search filters and a table of users. The '検索条件' (Search Conditions) section has 'CSV' selected. The table below shows the user data.

ユーザーID	ユーザー名	ユーザー名 (カ…)	ユーザー権限	役割	担当グループ	タイムゾーン	無効
yaskawa0…	安川 太郎	ヤスカフ タロウ	システム管理者	システム管理者	ルートグループ	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 次郎	ヤスカフ シロウ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川商社	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 三郎	ヤスカフ サブロウ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川商社-本社	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 四郎	ヤスカフ シロウ	ユーザ	貸出アカウント	ALL-安川商社-NY支店	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 五郎	ヤスカフ ゴロウ	ユーザ	デモユーザ	ALL-安川商社-NY支店	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 六郎	ヤスカフ ロクロウ	ユーザ	ユーザ閲覧用	ALL-安川商社-NY支店	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 衛	ジョウホウ マモル	システム管理者	グループ管理者	ルートグループ	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 花子	ジョウホウ ハナコ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川情報	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 弘也	ジョウホウ ヒロヤ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川情報-本社…	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 泉子	ジョウホウ ケイコ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川情報-タイ…	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 美嘉	ジョウホウ ミカ	ユーザ	ユーザ公開用	ALL-安川情報-タイ…	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 千春	ジョウホウ テハル	ユーザ	ユーザ閲覧用	ALL-安川情報-タイ…	Tokyo	-

7. 6 CSV ファイルの取り込み

[ユーザー一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSV ファイルを取り込むことができます。取り込むことができる CSV ファイルのフォーマットは、出力されるファイルと同じ形式です。CSV ファイルの取り込みに関する詳細は第 5.5 章、及び付録 1.4.4 をご参照ください。

The screenshot shows the user list interface with search filters and a table of users. The '検索条件' (Search Conditions) section has '取込' selected. The table below shows the user data.

ユーザーID	ユーザー名	ユーザー名 (カ…)	ユーザー権限	役割	担当グループ	タイムゾーン	無効
yaskawa0…	安川 太郎	ヤスカフ タロウ	システム管理者	システム管理者	ルートグループ	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 次郎	ヤスカフ シロウ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川商社	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 三郎	ヤスカフ サブロウ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川商社-本社	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 四郎	ヤスカフ シロウ	ユーザ	貸出アカウント	ALL-安川商社-NY支店	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 五郎	ヤスカフ ゴロウ	ユーザ	デモユーザ	ALL-安川商社-NY支店	Tokyo	-
yaskawa0…	安川 六郎	ヤスカフ ロクロウ	ユーザ	ユーザ閲覧用	ALL-安川商社-NY支店	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 衛	ジョウホウ マモル	システム管理者	グループ管理者	ルートグループ	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 花子	ジョウホウ ハナコ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川情報	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 弘也	ジョウホウ ヒロヤ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川情報-本社…	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 泉子	ジョウホウ ケイコ	ユーザ	エンドユーザー管…	ALL-安川情報-タイ…	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 美嘉	ジョウホウ ミカ	ユーザ	ユーザ公開用	ALL-安川情報-タイ…	Tokyo	-
yaskawa0…	情報 千春	ジョウホウ テハル	ユーザ	ユーザ閲覧用	ALL-安川情報-タイ…	Tokyo	-

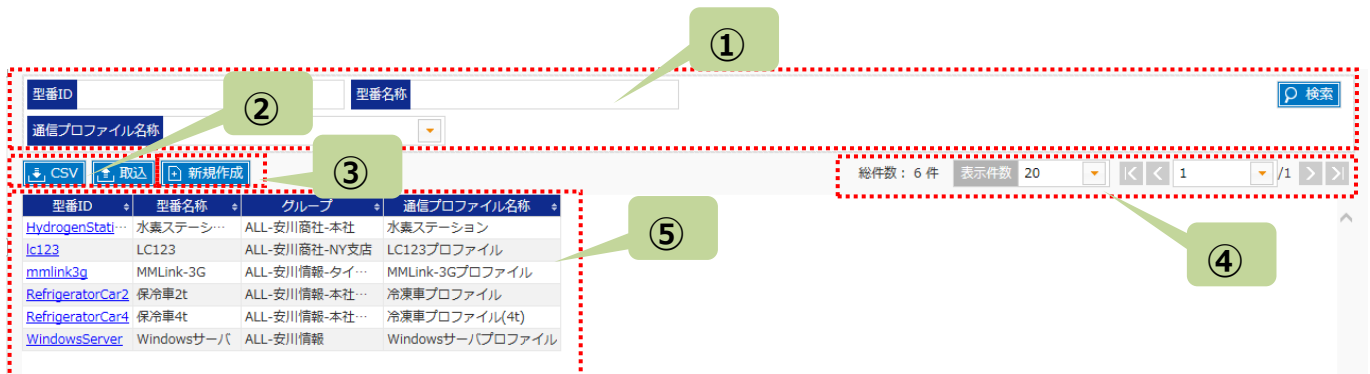
第8章 型番一覧／型番情報

<設定> ⇒ <型番一覧> から型番の一覧を確認できます。

[型番一覧]から“型番 ID”の該当セルをクリックすると、[型番情報]画面に遷移します。この[型番情報]画面で各型番の情報を入力／閲覧／変更できます。

8.1 型番一覧 画面の構成

[型番一覧]画面は以下の要素で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	型番 ID、型番名称、通信プロファイルで検索する型番を絞り込みます。
		操作	
②	CSV 入出力	操作	型番 ID、型番名称などのデータの CSV ファイル出力、取り込みを行います。ただし、出力は 10,000 行まで、取り込みは 1,000 行までです。
③	新規追加	操作	新規作成 をクリックすると、新規型番作成のための[型番情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※デフォルトは"20"です。 また、 <先頭ページ> / <1 つ前のページ> / <1 つ先のページ> / <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
		操作	
⑤	一覧エリア	表示	型番 ID、型番名称などの一覧を表示します。
		操作	"型番 ID"の該当セルをクリックすることで、[型番情報]画面に遷移し、型番に設定された情報を閲覧／変更できます。

8.2 型番の新規追加

[型番一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[型番情報]画面に遷移します。
この[型番情報]画面では型番の新規作成が行えます。

The screenshot shows a web form for adding a new device model. It contains the following sections:

- Form Fields:**
 - ① 型番ID*: 半角英数・記号20文字以内で入力
 - ② 型番名称*: 32文字以内で入力
 - ③ 所属グループ*: 選択ボタン
 - ④ 通信プロファイル名称: 表示欄
- 表示項目 (Display Items) Table:**

表示項目	コマンド名称	データポイント	集計方法	集計期間	単位表示
表示項目 1	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Checkbox]
表示項目 2	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Checkbox]
表示項目 3	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Checkbox]
表示項目 4	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Checkbox]
表示項目 5	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Dropdown]	[Checkbox]
- 機器付帯情報 (Device Information):**
 - ⑥ 機器付帯情報: + 追加
 - ⑦ 編集
 - ⑧ 削除
 - ⑩ 編集
 - ⑬ 削除
- 地図表示用アイコン (Map Display Icons):**
 - ⑪ アラームなし
 - ⑫ アラーム低
 - ⑫ アラーム中
 - ⑫ アラーム高
 - ⑫ アラーム重大
- ファイルアップロード:**
 - ⑭ ファイル選択
 - ⑭ クリア
- Bottom Buttons:**
 - ⑮ 保存
 - ⑮ キャンセル

ファイルサイズは1MByte以下を推奨します。
拡張子は(jpg, jpeg, bmp, gif, png)の何れかを設定してください。
アイコンサイズは縦32px横48px以内を推奨します。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

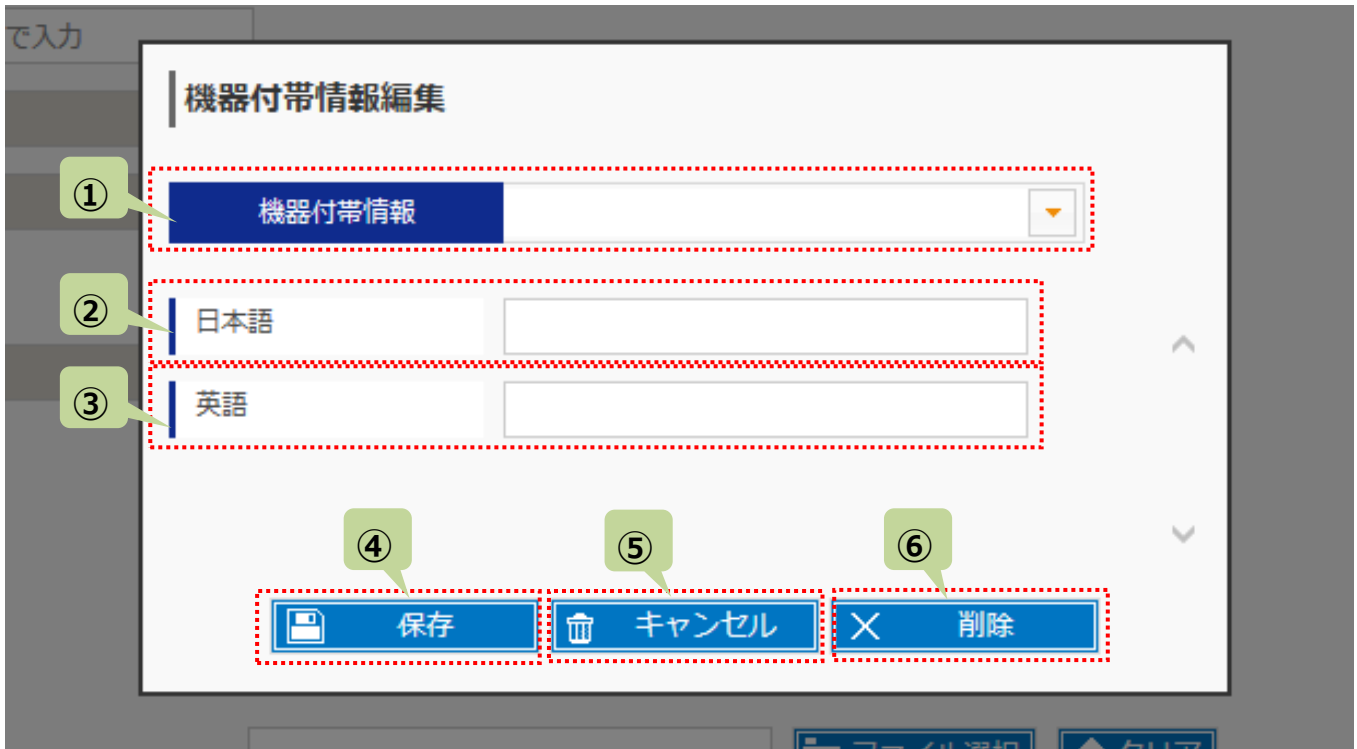
領域	項目名	属性	説明
①	型番 ID	入力	型番の一意な ID を半角英数、記号 20 文字以内で入力します。
②	型番名称	入力	型番の名称を 32 文字以内で入力します。
③	所属グループ	操作	型番が所属するグループを選択します。
④	通信プロファイル名称	表示	型番に紐付けられた通信プロファイルの名称を表示します。 (参照/変更のときのみ) ※型番と通信プロファイルの紐付けは、通信プロファイルの新規作成時に行います。通信プロファイルの新規作成に関する詳細は、第 9.2 章をご参照ください。

⑤	表示項目	表示	型番と紐づいた通信プロファイルに登録されているコマンド名称や、コマンド名称に登録されているデータポイントなどを選択します。
		操作	ここで選択した表示項目が[機器稼働状況一覧]画面などで表示されます。 5 つまで設定可能です。
⑥	追加	操作	⑥機器付帯情報の設定欄を 1 行追加します。機器付帯情報は、型番 1 件につき最大 10 件まで登録できます。
⑦	機器付帯情報	表示	機器に対して登録できる独自項目を表示します。機器付帯情報は[機器情報]画面で表示され、登録値を設定できます。 ※機器に関する詳細は、第 15 章をご参照ください。
⑧	編集	操作	機器付帯情報の項目名を日本語/英語で設定します。
⑨	削除	操作	選択した機器付帯情報を削除します。
⑩	上下移動	操作	選択した機器付帯情報を上下に移動します。[機器情報]画面では、[型番情報]画面で設定した順序で入力欄が表示されます。
⑪	地図表示用アイコン	表示	地図に表示するアイコンを、アラーム LV ごとに表示します。 ※地図、アラーム LV に関する詳細は、「操作マニュアル」の第 5.3 章、第 7.3 章をご参照ください。
⑫	ファイル名称	表示	アップロードするファイル名称が表示されます。
⑬	ファイル選択	操作	アップロードするファイルを選択するためのダイアログを表示します。
⑭	クリア	操作	アップロードするファイル名称を削除します。
⑮	保存	操作	新規に追加した型番情報を保存します。
⑯	キャンセル	操作	型番の追加をキャンセルします。

8. 2. 1 機器付帯情報の新規追加/選択

[型番情報]画面で **+ 追加** をクリックすると、機器付帯情報の設定欄が追加されます。

このとき **編集** をクリックすると、機器付帯情報の編集画面が表示されます。



領域	項目名	属性	説明
①	機器付帯情報	操作	新規登録の場合：プルダウンを空白に設定します。 変更の場合：プルダウンから名称を選択します。
②	日本語	入力	日本語モード時に表示する名称を 64 文字以内で入力します。
③	英語	入力	英語モード時に表示する名称を 64 文字以内で入力します。
④	保存	操作	“機器付帯情報”の新規登録又は変更を行います。 新規登録の場合：プルダウンを空白に設定し、“日本語”と“英語”を設定します。 変更の場合：プルダウンから名称を選択し、“日本語”と“英語”を設定します。
⑤	キャンセル	操作	機器付帯情報の設定をキャンセルします。
⑥	削除	操作	機器付帯情報を削除します。

8.3 型番情報の参照/変更/削除

[型番一覧]：“型番 ID”の該当セルをクリックすると、[型番情報]画面に遷移します。

この[型番情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。

また、以下のボタンのクリックで型番情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	初期化	操作	地図表示用アイコンを初期化します。アイコンを初期化すると、ユーザがアップロードしたアイコンが削除され、デフォルトアイコンが表示されます。
②	編集	操作	型番情報を変更します。“型番名称”、“表示項目”、“機器付帯情報”、“地図表示用アイコン”の変更が可能です。

③	コピー	操作	型番の設定をコピーし、新規型番を作成します。 "型番 ID"及び"通信プロファイル名称"以外の情報がコピーされます。
④	削除	操作	型番を削除します。 型番を削除すると、削除対象の型番に紐付けられた資料、配信データも削除されます。また、通信プロファイルと紐付けた型番を削除すると、通信プロファイル、稼動状態設定、アラーム条件、トレンドビュー、イベント変換も削除されます。 ※資料に関する詳細は、「操作マニュアル」の第 17 章をご参照ください。なお、資料を残して型番を削除することもできます。 ※配信データに関する詳細は、第 14 章をご参照ください。なお、配信データを残して型番を削除することもできます。 ※通信プロファイル、稼動状態設定、アラーム条件、トレンドビュー、イベント変換に関する詳細は、それぞれ第 9 章、第 10 章、第 11 章、第 12 章、第 13 章をご参照ください。

8. 4 CSV ファイルの出力

[型番一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれた型番の情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。

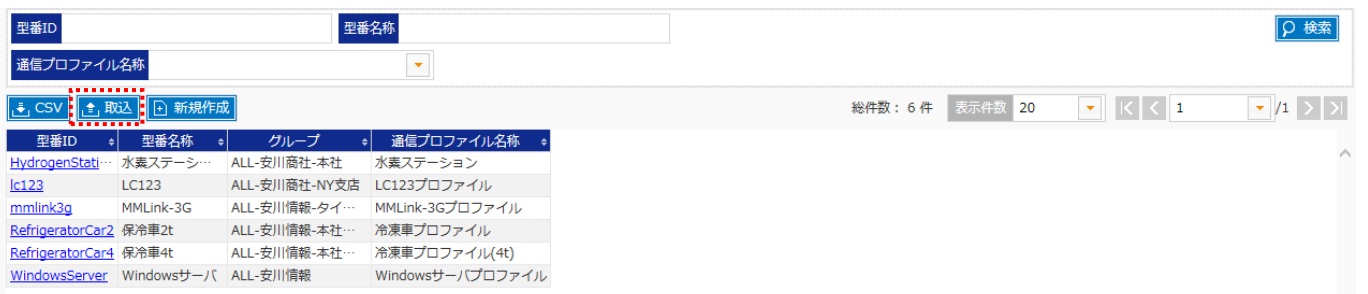


The screenshot shows the 'Type List' interface. At the top, there are search fields for 'Type ID' and 'Type Name', and a search button. Below that is a dropdown for 'Communication Profile Name'. The main area contains a table with columns: Type ID, Type Name, Group, and Communication Profile Name. The table lists several items like HydrogenStation, LC123, MMLink3G, RefrigeratorCar2, RefrigeratorCar4, and WindowsServer. Above the table, there are buttons for 'CSV', 'Import', and 'New Creation'. The 'CSV' button is highlighted with a red dashed box. The table has 6 items, and the current page is 1 of 1.

型番ID	型番名称	グループ	通信プロファイル名称
HydrogenStati...	水素ステーション	ALL-安川蔭社-本社	水素ステーション
lc123	LC123	ALL-安川蔭社-NY支店	LC123プロファイル
mmlink3g	MMLink-3G	ALL-安川情報-タイ...	MMLink-3Gプロファイル
RefrigeratorCar2	保冷車2t	ALL-安川情報-本社...	冷凍車プロファイル
RefrigeratorCar4	保冷車4t	ALL-安川情報-本社...	冷凍車プロファイル(4t)
WindowsServer	Windowsサーバ	ALL-安川情報	Windowsサーバプロファイル

8. 5 CSV ファイルの取り込み

[型番一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSV ファイルを取り込むことができます。取り込むことができる CSV ファイルのフォーマットは、出力されるファイルと同じ形式です。CSV ファイルの取り込みに関する詳細は、第 5.5 章、及び付録 1.4.5 をご参照ください。



The screenshot shows the 'Type List' interface, similar to the previous one. The 'Import' button is highlighted with a red dashed box. The table and other elements are the same as in the previous screenshot.

型番ID	型番名称	グループ	通信プロファイル名称
HydrogenStati...	水素ステーション	ALL-安川蔭社-本社	水素ステーション
lc123	LC123	ALL-安川蔭社-NY支店	LC123プロファイル
mmlink3g	MMLink-3G	ALL-安川情報-タイ...	MMLink-3Gプロファイル
RefrigeratorCar2	保冷車2t	ALL-安川情報-本社...	冷凍車プロファイル
RefrigeratorCar4	保冷車4t	ALL-安川情報-本社...	冷凍車プロファイル(4t)
WindowsServer	Windowsサーバ	ALL-安川情報	Windowsサーバプロファイル

第9章 通信プロファイル一覧／通信プロファイル設定

<設定> ⇒ <通信プロファイル一覧> から設定された通信プロファイルの一覧を確認できます。

[通信プロファイル一覧]から“通信プロファイル名称”/“コマンド名称”の該当セルをクリックすると、[通信プロファイル情報]に遷移します。[通信プロファイル情報]画面で通信プロファイルの情報を入力／閲覧／変更します。

9.1 通信プロファイル一覧 画面の構成

[通信プロファイル一覧]画面は以下の要素で構成されています。

The screenshot shows the '通信プロファイル一覧' (Communication Profile List) interface. It includes search filters for '通信プロファイル名称' (Communication Profile Name) and 'コマンド名称' (Command Name), with options for '通信方式' (Communication Method) like TCP, FTP, and MMLP. Below the filters are buttons for 'CSV', '取込' (Import), and '新規作成' (New Creation). A table lists profiles with columns for '稼働状態設定' (Operational Status), '通信プロファイル名称' (Communication Profile Name), '型番名称' (Model Name), 'グループ' (Group), 'コマンドコード' (Command Code), 'コマンド名称' (Command Name), '通信方式' (Communication Method), 'データ形式' (Data Format), 'データポイン...' (Data Point), and '使用総数' (Usage Count). Callouts 1-5 point to the search area, CSV/Import buttons, '新規作成' button, pagination controls, and the table area respectively.

領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	通信プロファイル名称などで検索する通信プロファイルを絞り込みます。
		操作	+ 詳細設定 をクリックすると更に詳細の検索条件を設定できます。
②	CSV 入出力	操作	通信プロファイル名称、コマンド名称などのデータの CSV ファイル出力、取り込みを行います。出力は 10,000 行まで、取り込みは 1,000 行までです。
③	新規追加	操作	新規作成 をクリックすると、新規通信プロファイル作成のための[通信プロファイル情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200"
		操作	※デフォルトは"20"です。 また、 <先頭ページ> / <1 つ前のページ> / <1 つ先のページ> / <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
⑤	一覧エリア	表示	通信プロファイル名称、コマンド名称などの一覧を表示します。 "通信プロファイル名称"/"コマンド名称"の該当セルをクリックすることで、[通信プロファイル情報]画面に遷移し、設定された情報を閲覧／変更できます。

9.2 通信プロファイルの新規追加

[通信プロファイル一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[通信プロファイル情報]画面に遷移します。この[通信プロファイル情報]画面で通信プロファイルの新規作成が行えます。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	通信プロファイル名称	表示	通信プロファイルの一意な名称を 64 文字以内で入力します。
		入力	登録済みコマンド数を表示します。
②	型番名称	操作	通信プロファイルと紐付ける型番を選択します。 ※通信プロファイルが未設定の型番のみ選択できます。
③	所属グループ	表示	②で選択した型番の所属グループを表示します。
④	コマンドコード	入力	通信コマンドのコードを 16 進表記 4 文字で入力します。 ※⑦のデータ形式が“受信ファイル”以外の場合、「1」で始まる 16 進数で入力してください。(例：10AF)
			※⑦のデータ形式が“受信ファイル”の場合、「20」で始まる 16 進数で入力してください。(例：20CC)
⑤	コマンド名称	入力	通信コマンドの名称を 64 文字以内で入力します。
⑥	通信方式	操作	通信コマンドの通信方式を以下から選択します。 “TCP”/“FTP”/“MMLP”
			※デフォルトは空白です。

<p>⑦</p>	<p>データ形式</p>	<p>操作</p>
----------	--------------	-----------

通信コマンドのデータ形式を以下から選択します。

“XML”/“CSV”/“固定長”/“単一”/“受信ファイル”

※デフォルトは空白です。

“単一”以外を選択した場合は、以下の設定を行ってください。

・“XML”を選択した場合

通信方式 *	TCP	繰り返しXPath *	半角英数・記号128文字以内で入力
データ形式 *	XML	改行コード *	CR+LF
エンコード種別 *	UTF-8		

繰り返し XPath を半角英数、記号 128 文字以内で入力します。

改行コードを“CR+LF”/“CR”/“LF”から選択します。

※デフォルトは“CR+LF”です。

データポイント	
コード *	半角英数16文字以内で入: XPath * 半角英数・記号128文字以内

データポイントにデータの XPath を半角英数、記号で入力します。

※XML の繰り返し XPath や、データポイントの XPath は、末尾にスラッシュ「/」を付けると、通信データを正しく受信できません。

・“CSV”を選択した場合

通信方式 *	TCP	ヘッダ行数	半角数値5桁以内で入
データ形式 *	CSV	改行コード *	CR+LF
エンコード種別 *	UTF-8		

ヘッダ行数を半角数値 5 桁以内で入力します。

改行コードを“CR+LF”/“CR”/“LF”から選択します。

※デフォルトは“CR+LF”です。

データポイント	
コード *	半角英数16文字以内で入: 項目番号 * 半角数値3桁以内で入力

データポイントにデータの項目番号を半角数値 3 桁以内で入力します。

※⑩データ型が“座標”のデータは、“CSV”では直接取り込むことができません。“CSV”で座標形式のデータを取り込みたいときは、演算式を使用してください。演算式の書き方は、第 9.2.2.4 章をご参照ください。




・“固定長”を選択した場合

通信方式 *	TCP	繰り返しデータ長 *	半角数値5桁以内で入
データ形式 *	固定長		
エンコード種別 *	UTF-8		

繰り返しデータ長を半角数値 5 桁以内で入力します。

データポイント	
コード *	半角英数16文字以内で入: 開始位置 (データ長) * 半角数値 (半角)

データポイントにデータを取得する開始位置を半角数値 5 桁以内、データ長

			<p>を半角数値 3 桁以内で設定します。</p> <p>・“受信ファイル”を選択した場合</p>  <p>ファイル受信時刻の計測日時区分を以下から選択します。 “標準日時”/“タイムゾーン日時”</p>
⑧	エンコード種別	操作	<p>受信するデータのエンコード種別を“UTF-8”/“SJIS”から選択します。 ※デフォルトは“UTF-8”です。</p>
⑨	データポイントコード	入力	<p>通信コマンドに紐付けるデータポイントのコードを半角英数 16 文字以内で設定します。 データポイントコードは最大 100 個まで登録可能です。</p>
⑩	計測日時	操作	データポイントを計測日時として登録する場合、 <input type="checkbox"/> を入れてください。
⑪	保存する	操作	データポイントを保存する場合、 <input type="checkbox"/> を入れてください。
⑫	演算する	操作	<p>データポイントの値を演算によって作り出す場合、<input type="checkbox"/>を入れてください。 ※演算式に関する詳細は、第 9.2.2 章をご参照ください。</p>
⑬	データ型	操作	<p>データポイントのデータ型を以下から選択します。 “ワード”/“整数”/“実数”/“日時”/“座標”/“ビット”/“文字列”/“イベント” /“符号なし整数” ※デフォルトは空白です。</p>
⑭	データポイントコード追加	操作	データポイントを設定し  をクリックすると一覧内に追加されます。
⑮	データポイント一覧	表示	追加したデータポイントを一覧に表示します。
		操作	 をクリックすると、データポイントを削除します。
⑯	一覧内の行移動	操作	一覧内のデータポイントを上下に移動します。
⑰	保存	操作	新規に追加した通信プロファイル情報を保存します。
⑱	キャンセル	操作	通信プロファイル情報の追加をキャンセルします。

以下にデータポイントの詳細設定項目を表示します。

計測日時のみ☑を入れた場合

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
⑱	受信フォーマット	入力	受信するデータのフォーマットを半角英数、記号 32 文字以内で設定します。
⑳	計測日時区分	操作	受信するデータの計測日時を以下から選択します。 "標準日時"/"タイムゾーン日時" ※デフォルトは空白です。

保存するのみ☑を入れた場合

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
㉑	名称	操作	をクリックし、受信するデータの名称を日本語／英語で設定します。
㉒	単位	操作	をクリックし、受信するデータの単位を日本語／英語で設定します。
㉓	計測日時コード	入力	受信するデータの計測日時とするデータポイントコードを設定します。
㉔	無効	操作	受信するデータを収集するかどうかを設定します。収集しない場合、☑を入れてください。
㉕	有効期限 (分)	入力	データポイントの受信データの有効期限を分単位で設定します。 通信設定マニュアル第 2.7 章をご参照ください。

演算するのみ☑を入れた場合

データポイント	
コード *	半角英数16文字以内で入 演算式 * 半角英数・記号128文字以内
計測日時 *	<input type="checkbox"/>
保存する *	<input type="checkbox"/>
演算する *	<input checked="" type="checkbox"/>
データ型 *	<input type="text"/>

+ 追加

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
②6	演算式	入力	値を算出するための演算式を半角英数、記号 128 文字以内で設定します。 演算式の書き方は第 9.2.2 章をご参照ください。

9. 2. 1 名称、単位の新規追加/選択

[通信プロファイル情報]画面で“保存する”に☑を入れ、  をクリックすると、名称、単位の編集画面が表示されます。



画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	項目名称/単位	操作	“項目名称”又は“単位”の選択を行います。 新規登録の場合：プルダウンを空白に設定します。 更新の場合：プルダウンから名称を選択します。
②	日本語	入力	日本語モード時に表示する名称を 64 文字以内で入力します。
③	英語	入力	英語モード時に表示する名称を 64 文字以内で入力します。
④	保存	操作	“項目名称”及び“単位”の新規登録又は変更を行います。 新規登録の場合：プルダウンを空白に設定し、“日本語”と“英語”を設定します。 変更の場合：プルダウンから名称を選択し、“日本語”と“英語”を設定します。
⑤	キャンセル	操作	“項目名称”又は“単位”の設定をキャンセルします。
⑥	削除	操作	“項目名称”又は“単位”を削除します。

9. 2. 2 演算式の書き方

演算式の書き方は、データ型によって異なります。演算に定数を含める場合、"abc"や"123"のように半角の " " で囲みます。また、定数のみや1つのデータポイント名のみ（演算子が無い場合）でも設定可能です。

※演算式に用いることができるのは半角英字、半角数字のみです。定数を含め、全角文字を使用することはできません。

※演算式にデータポイントが含まれる場合は、演算式に使用するデータポイントを先に定義してから設定してください。

※演算式が設定されたデータポイントを別のデータポイントの演算式に設定することも可能です。

ただし、自己のデータポイントや循環して参照するデータポイントを演算式に設定することはできません。

※演算式にイベント型のデータポイントを設定した場合、イベント変換後の値で演算を行います。

9. 2. 2. 1 整数型、実数型の場合

整数型、実数型、符号なし整数型では、以下のような四則演算を行うことができます。

演算	記号	例
足し算	半角「+」	2つのデータポイント「price」「tax」の値を足し算する場合、「price+tax」と書きます。 データポイント「price」に100を足す場合、「price+"100"」と書きます。
引き算	半角「-」	データポイント「price」の値からデータポイント「discount」の値を引く場合、「price-discount」と書きます。 データポイント「price」から100を引く場合、「price-"100"」と書きます。
掛け算	半角「*」	2つのデータポイント「price」「count」の値を掛け算する場合、「price*count」と書きます。 データポイント「price」に3を掛ける場合、「price*"3"」と書きます。
割り算	半角「/」	データポイント「price」の値をデータポイント「count」の値で割る場合、「price/count」と書きます。

なお、1つの演算式の中で複数の演算を行う場合、足し算「+」や引き算「-」より、掛け算「*」や割り算「/」のほうが優先されます。先に足し算や引き算をしたい場合は、「(price1+price2)*count」のように半角カッコ「(」「)」で囲んでください。

又、データポイントの取得範囲がマイナスも含まれる場合、「price1-(price2)」のように半角カッコ「(」「)」で囲んでください。

9. 2. 2. 2 イベント型の場合

定数またはデータポイント名を1個のみ指定可能です。演算子を記述するとエラーとなります。

9. 2. 2. 3 ビット型の場合

ビット型では、ビット演算を行うことができます。演算子は「AND」を用います。ただし、使用できるデータポイントはワード型のみです。また、使用できる定数は1個のみです。(2個以上の定数を使うこと、及び定数を全く使わないことはできません。)

例：ワード型のデータポイント「word」に対して、下から3ビット目を取り出す場合、

「word AND "bit2"」または「word AND "0000000000000100"」と書きます。

このとき、word = 4 ("0000000000000100") ならば「1」、

word = 3 ("0000000000000011") ならば「0」となります。

※下から1ビット目を指定する場合は"bit0"、2ビット目を指定する場合は"bit1"となります。3ビット目以降も同様に、桁数と番号が1ずつずれます。定数は"bit0"～"bit15"、または16桁の2進数が使用可能です。

※定数のONビット(1)は1桁のみ使用可能です。"0001000010000010"など、複数のONビットは指定できません。

9. 2. 2. 4 その他のデータ型の場合

文字列型／ワード型／日付型／座標型では、表示する文字の結合を行うことができます。演算子は半角「&」を用います。

例1：日付型のデータポイント「basedate」に対して、先頭に「from」を付加する場合、

「"from "&basedate」と書きます。

このとき、basedate = "201501011200"ならば「from 201501011200」となります。

例2：文字型データポイント「country」「prefecture」「city」を半角アンダースコア「_」で繋げる場合、

「country & "_" & prefecture & "_" & city」と書きます。

※演算式内の余分な半角スペースは無視されます。

例3：実数型データポイント「latitude」「longitude」から座標型データポイントを生成する場合、

「latitude & "," & longitude」と書きます。

※座標の受信フォーマットが"d,d"の場合の書き方です。受信フォーマットに応じて演算式を定義してください。

受信フォーマットに関する詳細は、「通信設定マニュアル」の第2.5章をご参照ください。

9.3 通信プロファイルの参照/変更/削除

[通信プロファイル一覧]：“コマンド名称”の該当セルをクリックすると、[通信プロファイル情報]画面に遷移します。


この[通信プロファイル情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。

また、“通信プロファイル名称”の該当セルをクリックすると、通信プロファイル名称を変更できます。

The screenshot displays the communication profile management interface. At the top, there are search filters for '通信プロファイル名称' and '通信方式' (TCP, FTP, MMLP). Below this is a table listing profiles with columns for '稼働状態設定', '通信プロファイル名称', '型番名称', 'グループ', 'コマンドコード', 'コマンド名称', '通信方式', 'データ形式', 'データポイント', and '使用機器数'. A red dashed box highlights the 'コマンド名称' column, and a red arrow points from it to the '通信プロファイル情報' detail page. In the detail page, the '通信プロファイル名称' is 'FA向けセンサープロファイル'. The '通信コマンド' section shows 'コマンドコード' as '0x 1001' and 'コマンド名称' as 'FACommand'. At the bottom of the detail page, a table with buttons for '編集' (Edit), 'コピー' (Copy), and '削除' (Delete) is shown. Red dashed boxes and numbered callouts (1, 2, 3) highlight these buttons: (1) Edit, (2) Copy, and (3) Delete.

稼働状態設定	通信プロファイル名称	型番名称	グループ	コマンドコード	コマンド名称	通信方式	データ形式	データポイント	使用機器数
目	LC123プロファイル	LC123	ALL-安川商社-NY支店	0x1001	活性化コマンド	TCP	XML	3	1
目	MMLink-3Gプロファイル	MMLink-3G	ALL-安川情報-タイ...	0x1000	通信ステータスコマ...	FTP	CSV	2	1
目	MMLink-3Gプロファイル	MMLink-3G	ALL-安川情報-タイ...	0x1001	MMLink-3Gコマンド	TCP	XML	3	1
目	Windowsサーバプロファイル	Windowsサーバ	ALL-安川情報	0x1000	リソースコマンド	TCP	固定長	2	1
目	水素ステーション	水素ステーション	ALL-安川商社-本社	0x1001	水素コマンド	TCP	XML	3	1
目	冷凍車プロファイル	保冷車2t	ALL-安川情報-本社...	0x1001	保冷車コマンド	TCP	XML	6	2
目	冷凍車プロファイル(4t)	保冷車4t	ALL-安川情報-本社...	0x1001	保冷車(4t)コマンド	TCP	XML	4	2

また、以下のボタンのクリックで通信プロファイル情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	<p>通信プロファイル情報を変更します。以下の変更が可能です。</p> <p>"コマンド名称"/"通信方式"/"エンコード種別"/"データポイント"</p> <p>※登録済みのデータポイントのコードは変更できません。</p> <p>データポイントの詳細項目を変更する場合、データポイント一覧の変更したいデータポイントコード行を選択し、各項目を変更します。</p> <p>登録済みのデータポイントを削除する場合、データポイント一覧内の  をクリックします。データポイントを削除すると、トレンドビューで設定されているデータポイントの設定も削除されます。また、データポイントの設定がすべて無くなった場合、トレンドビューも削除されます。</p>
②	コピー	操作	<p>通信プロファイルの設定をコピーし、新規通信プロファイル情報を作成します。</p> <p>"通信プロファイル名称"以外の情報がコピーされます。</p>
③	削除	操作	<p>通信プロファイルを削除します。</p> <p>通信プロファイルを削除すると、関連する型番、稼動状態設定、アラーム条件、トレンドビュー、イベント変換も削除されます。</p> <p>通信コマンドを削除すると、削除対象のコマンドに紐付けられた全てのデータポイントがトレンドビューから削除されます。また、データポイントの設定がすべて無くなった場合、トレンドビューも削除されます。なお、コマンド削除時、通信プロファイルに他のコマンドが残っていない場合は、通信プロファイル自体が削除されます。</p> <p>※型番、稼動状態設定、アラーム条件、トレンドビュー、イベント変換に関する詳細は、それぞれ第 8 章、第 10 章、第 11 章、第 12 章、第 13 章をご参照ください。</p>

9.4 CSV ファイルの出力

[通信プロファイル一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれた通信プロファイルの情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。

The screenshot shows the 'Communication Profile List' interface. At the top, there are search filters for 'Communication Profile Name', 'Command Name', and 'Communication Method' (TCP, FTP, MMLP). Below that, there are filters for 'Data Format' (Data Form, Single, CSV, XML, Fixed Length, Receive File) and 'Use Machine'. A 'Search Conditions' section contains buttons for 'CSV', 'Take In', and 'New Creation'. The 'CSV' button is highlighted with a red dashed box. Below the buttons, a table lists 7 communication profiles. The table has columns for '稼働状態設定', '通信プロファイル名称', '型番名称', 'グループ', 'コマンドコード', 'コマンド名称', '通信方式', 'データ形式', 'データポイント', and '使用機器数'.

稼働状態設定	通信プロファイル名称	型番名称	グループ	コマンドコード	コマンド名称	通信方式	データ形式	データポイント	使用機器数
<input type="checkbox"/>	LC123プロファイル	LC123	ALL-安川商社-NY支店	0x1001	活性炭コマンド	TCP	XML	3	1
<input type="checkbox"/>	MMLink-3Gプロファイル	MMLink-3G	ALL-安川情報-タイ...	0x1000	通信ステータスコマ...	FTP	CSV	2	1
<input type="checkbox"/>	MMLink-3Gプロファイル	MMLink-3G	ALL-安川情報-タイ...	0x1001	MMLink-3Gコマンド	TCP	XML	3	1
<input type="checkbox"/>	Windowsサーバプロファイル	Windowsサーバ	ALL-安川情報	0x1000	リソースコマンド	TCP	固定長	2	1
<input type="checkbox"/>	水素ステーション	水素ステーション	ALL-安川商社-本社	0x1001	水素コマンド	TCP	XML	3	1
<input type="checkbox"/>	冷凍車プロファイル	保冷車2t	ALL-安川情報-本社...	0x1001	保冷車コマンド	TCP	XML	6	2
<input type="checkbox"/>	冷凍車プロファイル(4t)	保冷車4t	ALL-安川情報-本社...	0x1001	保冷車(4t)コマンド	TCP	XML	4	2


9.5 CSV ファイルの取り込み

[通信プロファイル一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSV ファイルを取り込むことができます。取り込むことができる CSV ファイルのフォーマットは、出力されるファイルと同じ形式です。CSV ファイルの取り込みに関する詳細は、第 5.5 章、及び付録 1.4.6 をご参照ください。

The screenshot shows the 'Communication Profile List' interface, similar to the previous one. In the 'Search Conditions' section, the 'Take In' button is highlighted with a red dashed box. The table below it is identical to the one in the previous screenshot, showing 7 communication profiles.

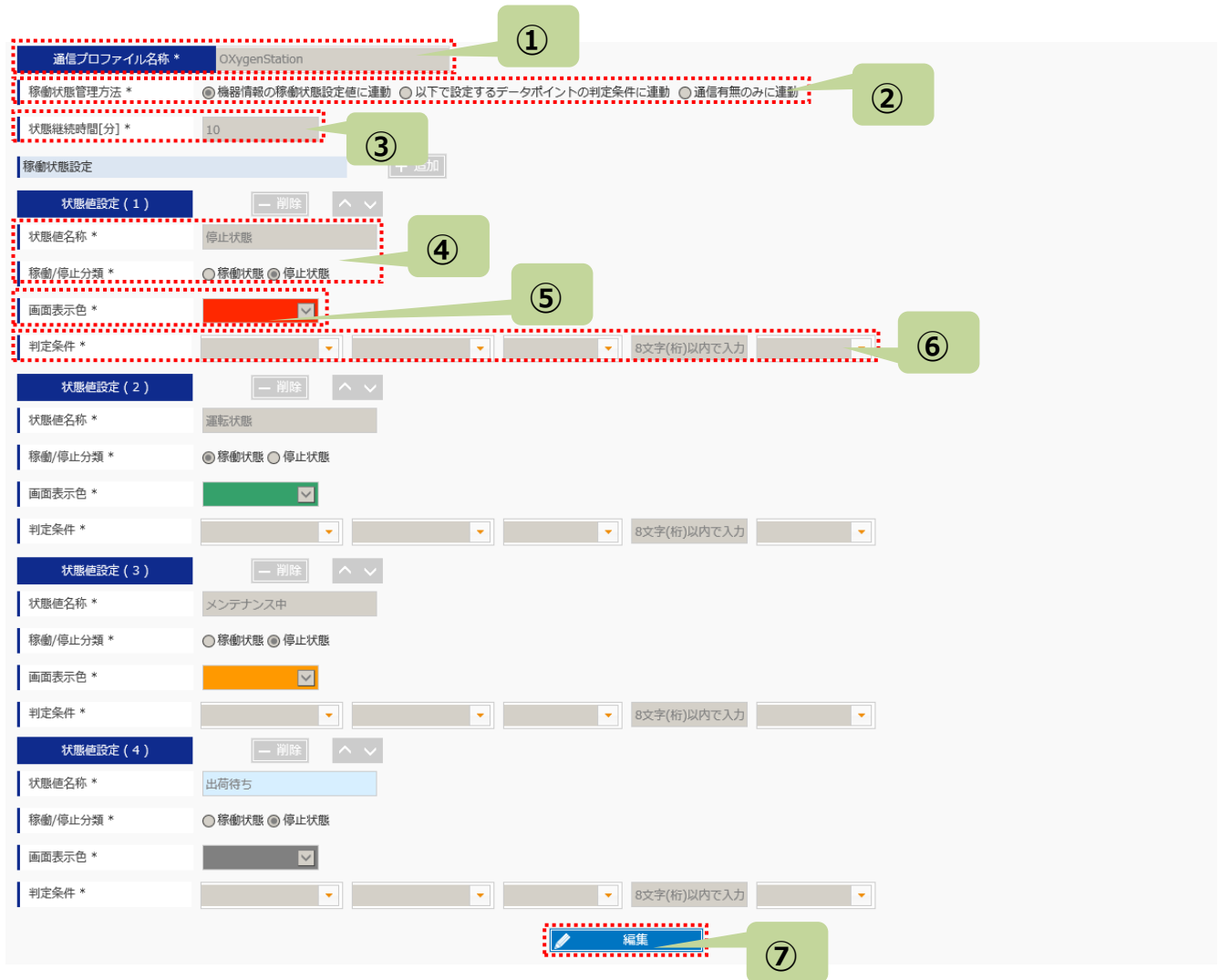
稼働状態設定	通信プロファイル名称	型番名称	グループ	コマンドコード	コマンド名称	通信方式	データ形式	データポイント	使用機器数
<input type="checkbox"/>	LC123プロファイル	LC123	ALL-安川商社-NY支店	0x1001	活性炭コマンド	TCP	XML	3	1
<input type="checkbox"/>	MMLink-3Gプロファイル	MMLink-3G	ALL-安川情報-タイ...	0x1000	通信ステータスコマ...	FTP	CSV	2	1
<input type="checkbox"/>	MMLink-3Gプロファイル	MMLink-3G	ALL-安川情報-タイ...	0x1001	MMLink-3Gコマンド	TCP	XML	3	1
<input type="checkbox"/>	Windowsサーバプロファイル	Windowsサーバ	ALL-安川情報	0x1000	リソースコマンド	TCP	固定長	2	1
<input type="checkbox"/>	水素ステーション	水素ステーション	ALL-安川商社-本社	0x1001	水素コマンド	TCP	XML	3	1
<input type="checkbox"/>	冷凍車プロファイル	保冷車2t	ALL-安川情報-本社...	0x1001	保冷車コマンド	TCP	XML	6	2
<input type="checkbox"/>	冷凍車プロファイル(4t)	保冷車4t	ALL-安川情報-本社...	0x1001	保冷車(4t)コマンド	TCP	XML	4	2

第10章 稼働状態設定情報

[通信プロフィール一覧]画面から  をクリックすることで、[稼働状態設定情報]画面へ遷移します。
この[稼働状態設定情報]画面で稼働状態設定を閲覧/変更します。

10.1 稼働状態設定の参照

[稼働状態設定情報]画面を開くと設定値を参照できます。



通信プロフィール名称 * OxygenStation

稼働状態管理方法 * 機器情報の稼働状態設定値に連動 以下で設定するデータポイントの判定条件に連動 通信有無のみに連動

状態継続時間[分] * 10

稼働状態設定

状態値設定 (1)

状態値名称 * 停止状態

稼働/停止分類 * 稼働状態 停止状態

画面表示色 * ■

判定条件 * ▼ ▼ ▼ 8文字(桁)以内で入力 ▼

状態値設定 (2)

状態値名称 * 運転状態

稼働/停止分類 * 稼働状態 停止状態

画面表示色 * ■

判定条件 * ▼ ▼ ▼ 8文字(桁)以内で入力 ▼

状態値設定 (3)

状態値名称 * メンテナンス中

稼働/停止分類 * 稼働状態 停止状態

画面表示色 * ■

判定条件 * ▼ ▼ ▼ 8文字(桁)以内で入力 ▼


状態値設定 (4)

状態値名称 * 出荷待ち

稼働/停止分類 * 稼働状態 停止状態




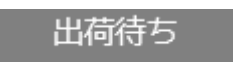
画面表示色 * ■

判定条件 * ▼ ▼ ▼ 8文字(桁)以内で入力 ▼

 編集

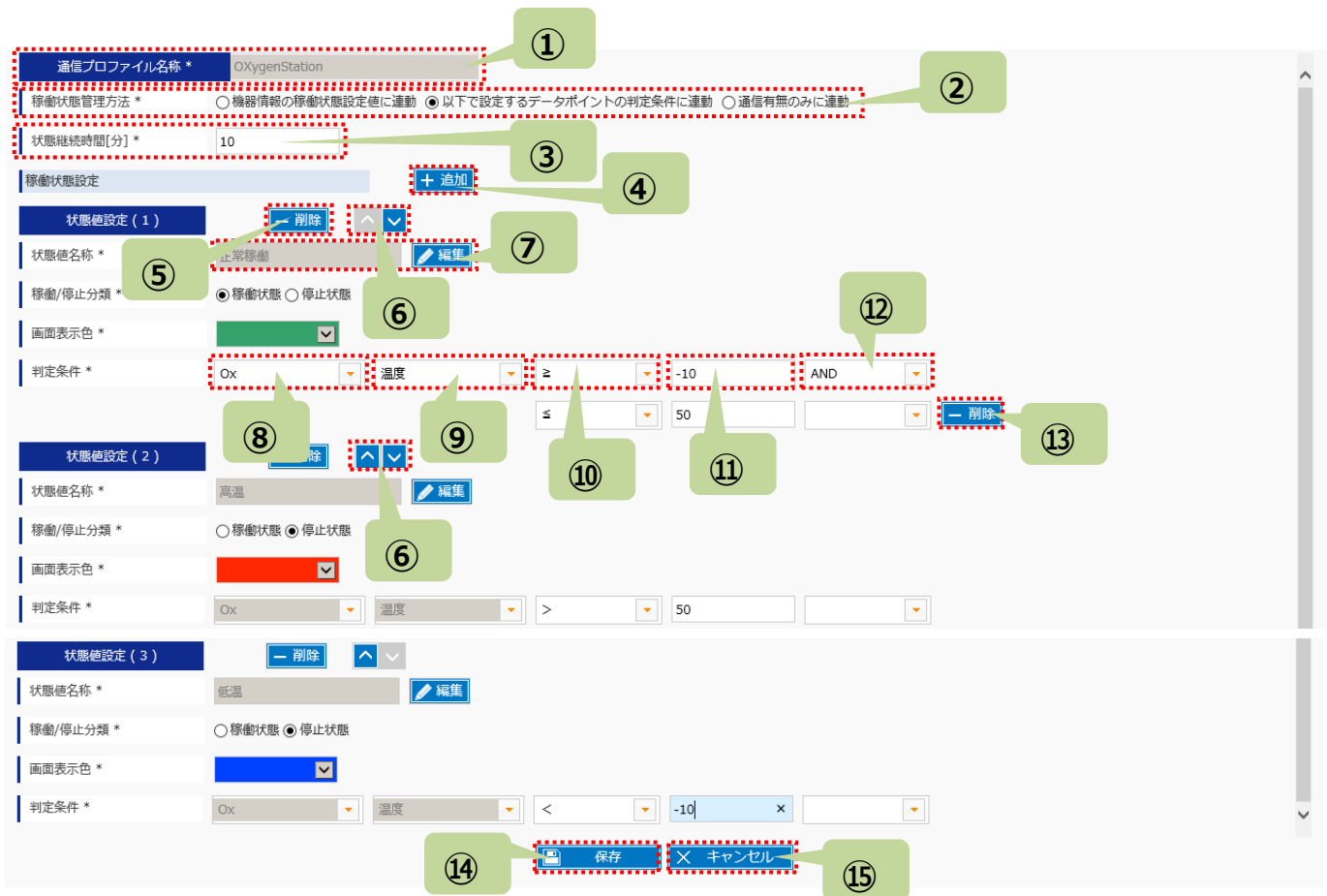
領域	項目名	属性	説明
①	通信プロファイル名称	表示	[通信プロファイル一覧]画面で選択した通信プロファイル名称を表示します。
②	稼働状態管理方法	表示	稼働状態の管理方法を表示します。 ※通信プロファイルを新規作成した際、稼働状態は“機器情報の稼働状態設定値に連動”で初期設定されます。
③	状態継続時間	表示	稼働/停止状態の継続時間を表示します。
④	状態値	表示	稼働/停止状態の名称、分類を表示します。 ・“機器情報の稼働状態設定値に連動”の場合 “状態値名称”は“停止状態”/“運転状態”/“メンテナンス中”/“出荷待ち”です。稼働/停止分類では、各状態値に対して“稼働状態”/“停止状態”を設定します。 ・“以下で設定するデータポイントの判定条件に連動”の場合 “状態値名称”は、編集画面にて“日本語”/“英語”で入力、設定することができます。“稼働/停止分類”では、各状態値に対して“稼働状態”/“停止状態”を設定します。 ・“通信有無のみに連動”の場合 “状態値名称”は“運転状態”のみ、“稼働/停止分類”は“稼働状態”です。
⑤	画面表示色	表示	④の稼働/停止状態を表示するときの設定色を表示します。
⑥	判定条件	表示	④の稼働/停止状態を判定する条件を表示します。 (“以下で設定するデータポイントの判定条件に連動”の場合のみ)
⑦	編集	操作	クリックすると、編集画面へ遷移します。

通信プロファイル新規作成時に自動生成される“稼働状態設定”は下表の通りです。なお、「画面表示」とは[機器稼働状況一覧]画面や[機器詳細]画面、[稼働状況分析]画面で表示される画面イメージです。(詳細は「操作マニュアル」の第5章、第8章、第14章をご参照ください。)

表示	稼働/停止分類	説明
	稼働状態	機器が正常運転中であることを示しています。
	停止状態	機器が運転停止中であることを示しています。
	停止状態	機器がメンテナンス中であることを示しています。
	停止状態	機器の出荷待ちなど、機器が準備中であることを示しています。

10.2 稼働状態設定の変更

稼働状態設定の情報は、 をクリックすると変更が可能です。



通信プロファイル名称 * OXygenStation

稼働状態管理方法 * 機器情報の稼働状態設定値に連動 以下で設定するデータポイントの判定条件に連動 通信有無のみに連動

状態継続時間[分] * 10

稼働状態設定

状態設定 (1)

状態名称 * 正常稼働

稼働/停止分類 * 稼働状態 停止状態

画面表示色 *

判定条件 * Ox 温度 ≥ -10 AND

状態設定 (2)

状態名称 * 高温

稼働/停止分類 * 稼働状態 停止状態

画面表示色 *

判定条件 * Ox 温度 > 50

状態設定 (3)

状態名称 * 低温



稼働/停止分類 * 稼働状態 停止状態

画面表示色 *

判定条件 * Ox 温度 < -10

保存 キャンセル

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	通信プロファイル名称	表示	[通信プロファイル一覧]画面で選択した通信プロファイル名称を表示します。
②	稼働状態管理方法	操作	稼働状態の管理方法を以下から選択します。 "機器情報の稼働状態設定値に連動"/"以下で設定するデータポイントの判定条件に連動"/"通信有無のみに連動"
③	状態継続時間	入力	稼働/停止状態の継続時間を 10 分単位で入力します。
④	状態値設定の追加	操作	 をクリックすると、"状態値設定"入力欄が追加されます。
⑤	状態値設定の削除	操作	 をクリックすると、選択した"状態値設定"が削除されます。
⑥	状態値設定の行移動	操作	選択した状態値設定を上下に移動します。状態値設定を移動することで機器状態の判定に用いる優先度を変更できます。優先度は、上に設定したものが高くなります。
⑦	状態値名称	入力	 をクリックし、状態値名称を"日本語"/"英語"で設定します。 ※設定画面は第 9.2.1 章と同様です。
⑧	コマンドコード	操作	コマンド名称を選択します。 ※デフォルトは空白です。 ※2 番目以降の状態値設定に関しては、1 番目と同じものとなります。 ※データ形式が受信ファイルのコマンドは選択できません。
⑨	データポイント名称	操作	⑧で選択したコマンドコードに紐づくデータポイントを選択します。 ※デフォルトは空白です。 ※2 番目以降の状態値設定に関しては、1 番目と同じものとなります。
⑩	比較演算子	操作	データポイントの値を比較する演算子を選択します。 ※デフォルトは空白です。 ・データポイントのデータ型が整数/実数/ビット/符号なし整数の場合 "="/"/"≠"/"/"≥"/"/">"/"/"≤"/"/"<"から選択できます。 ・データポイントのデータ型が整数/実数/ビット/符号なし整数以外の場合 "="/"/"≠"/"/"含む"/"/"含まない"から選択できます。
⑪	比較値	入力	データポイントの値のしきい値を入力します。
⑫	連結子	操作	複数の判定条件を入力する場合、"AND"/"OR"から選択します。 ※デフォルトは空白です。 連結子を選択すると、判定条件欄が 1 行追加されます。 判定条件は、1 つの状態値設定に対して 3 つまでです。
⑬	判定条件削除	操作	選択した判定条件を削除します。
⑭	保存	操作	稼働状態設定の変更を保存します。
⑮	キャンセル	操作	稼働状態設定の変更を保存することなく、キャンセルします。

第 1 1 章 アラーム条件一覧/アラーム条件情報

<設定> ⇒ <アラーム条件一覧> から設定されたアラームの一覧を確認できます。

[アラーム条件一覧]から“アラーム名称”の該当セルをクリックすると、[アラーム条件情報]画面へ遷移します。この[アラーム条件情報]画面で各アラーム条件の情報を入力/閲覧/変更します。

1 1. 1 アラーム条件一覧 画面の構成

[アラーム条件一覧]画面は以下の要素で構成されています。

The screenshot shows the 'Alarm Condition List' interface. Callout 1 points to the search filters (Alarm Name, Type, Level, Use Device). Callout 2 points to the CSV export/import buttons. Callout 3 points to the 'New Creation' button. Callout 4 points to the total count and pagination controls. Callout 5 points to the main table of alarm conditions.

アラーム名称	種別	レベル	通信プロフィール名称	発生条件	復帰条件	チェック	無効	使用機器数
CPU使用率...	復帰型	高	Windowsサーバプロフィール	CPU使用率 ≥ 95	CPU使用率 ≤ 80	○	-	1 / 1
温度差上昇	復帰型	高	冷凍車プロフィール	温度差 > 100	温度差 < 100	○	-	1 / 2
温度取得異常	発生型	低	冷凍車プロフィール	庫内温度 < -273.15	-	○	-	1 / 2
電力供給停止	発生型	低	水素ステーション	電力量 ≤ 0	-	○	-	1 / 1
電力量上昇	復帰型	高	水素ステーション	電力量 > 3000000	電力量 < 3000000	○	-	1 / 1
内圧異常上昇	復帰型	重大	水素ステーション	内圧 > 50000000	内圧 < 50000000	○	-	1 / 1
内圧上昇	発生型	中	水素ステーション	内圧 > 10000000	-	○	-	1 / 1
冷凍機能低下	発生型	中	冷凍車プロフィール	庫内温度 > -1	-	-	-	1 / 2
冷凍機能不全	復帰型	重大	冷凍車プロフィール	庫内温度 > 0	庫内温度 < 0	○	-	1 / 2

領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	アラーム名称、種別、レベルで検索するアラーム条件を絞り込みます。
		操作	+ 詳細設定 をクリックすると更に詳細の検索条件を設定できます。
②	CSV 入出力	操作	アラーム名称、種別などのデータの CSV ファイル出力、取り込みを行います。ただし、出力は 10,000 行まで、取り込みは 1,000 行までです。
③	新規追加	操作	+ 新規作成 をクリックすると、新規アラーム条件作成のための[アラーム条件情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※デフォルトは"20"です。
		操作	また、 ◀ 先頭ページ / ◀ 1 つ前のページ / ▶ 1 つ先のページ / ▶ 最終ページ を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
⑤	一覧エリア	表示	アラーム名称、種別などの一覧を表示します。
		操作	“アラーム名称”の該当セルをクリックすることで、[アラーム条件情報]画面に遷移し、アラーム条件に設定された情報を閲覧/変更できます。

1 1. 2 アラーム条件の新規追加

[アラーム条件一覧]画面から、[新規作成](#) をクリックすることで、[アラーム条件情報]画面に遷移します。この、[アラーム条件情報]画面ではアラーム条件の新規作成が行えます。

アラームには発生型と復帰型の2種類があります。アラームが発生した時のみを監視したい場合は発生型、アラームが発生した時と復帰した時の両方を監視したい場合は復帰型を選択します。

1 1. 2. 1 発生型アラームの新規追加

発生条件を満足したときに発生する、発生型アラームの条件設計方法を説明します。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	アラーム名称	入力	アラームの一意な名称を 64 文字以内で入力します。
②	アラーム種別	操作	"発生型"を選択します。
③	アラームレベル	操作	アラームの重要度レベルを以下から選択します。 "低"/"中"/"高"/"重大" ※デフォルトは"低"です。
④	通信プロファイル名称	操作	アラームで使用する通信プロファイルを選択します。 ※設定済みの通信プロファイルのみ選択できます。
⑤	機器名称 (絞り込み用)	操作	アラームに使用する機器の名称を選択します。 選択 をクリックすると、ツリー図から選択できます。
⑥	監視条件 (現地)	操作	アラーム監視の実施有無、時間帯、曜日を設定します。 ※時間帯は[機器情報]で設定したタイムゾーンで指定する必要があります。

⑦	発生条件	入力	<p>アラームの発生条件を定義します。</p> <p>左から順に、コマンド名称、データポイント名称、比較演算子、比較値、連結子を設定します。通信プロファイルで定義したデータポイントの上下限值、一致不一致でアラーム設定が可能で、条件式を複数 AND/OR 条件で設定することが可能です。条件式は最大 6 個まで設定可能です。</p> <p>※発生条件の比較値は 8 文字以内で入力してください。</p> <p>※イベント型のデータポイントを使用する場合、しきい値には「変換後」のデータを入力してください。イベント変換に関する詳細は、第 13 章をご参照ください。</p> <p>※データ形式が受信ファイルのコマンドは選択できません。</p>
		操作	
⑧	最短アラーム間隔 (秒)	入力	<p>本間隔で設定した時間内に再度アラームが発生しても、MMCloud/Y's-Cloud ではアラームと見なしません。</p>
⑨	チェックプロセス	操作	<p>アラーム発生や、復帰などを MMCloud/Y's-Cloud で確認し、確認時間、確認者の履歴を残すことをチェックプロセスと呼んでいます。</p> <p>チェックプロセスが必要な場合、☑を入れてください。</p>
⑩	無効	操作	<p>本アラーム条件を無効にする場合、☑を入れてください。</p>
⑪	保存	操作	<p>新規に追加したアラーム条件情報を保存します。</p>
⑫	キャンセル	操作	<p>アラーム条件の追加をキャンセルします。</p>

1 1. 2. 2 復帰型アラームの新規追加

発生条件を満足したときに発生し、復帰条件で復帰する、復帰型アラームの条件設計方法を説明します。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	アラーム名称	入力	アラームの一意な名称を 64 文字以内で入力します。
②	アラーム種別	操作	"復帰型"を選択します。
③	アラームレベル	操作	アラームの重要度レベルを以下から選択します。 "低"/"中"/"高"/"重大" ※デフォルトは"低"です。
④	通信プロファイル 名称	操作	アラームで使用する通信プロファイルを選択します。 ※設定済みの通信プロファイルのみ選択できます。
⑤	機器名称 (絞り込み用)	操作	アラームに使用する機器の名称を選択します。 をクリックすると、ツリー図から選択できます。
⑥	監視条件 (現地)	操作	アラーム監視の実施有無、時間帯、曜日を設定します。 ※時間帯は[機器情報]で設定したタイムゾーンで指定する必要があります。
⑦	発生条件	入力	アラームの発生条件を定義します。 通信プロファイルで定義したデータポイントの上下限值、一致不一致でアラーム設定が可能で、条件式を複数 AND/OR 条件で設定することが可能です。条件式は最大 6 個まで設定が可能です。
		操作	※発生条件のしきい値は 8 文字以内で入力してください。

			<p>※イベント型のデータポイントを使用する場合、しきい値には「変換後」のデータを入力してください。イベント変換に関する詳細は、第 13 章をご参照ください。</p> <p>※データ形式が受信ファイルのコマンドは選択できません。</p>
⑧	復帰条件	入力	<p>アラームの復帰条件を定義します。</p> <p>通信プロファイルで定義したデータポイントの上下限值、一致不一致でアラーム設定が可能で、条件式を複数 AND/OR 条件で設定することが可能です。条件式は最大 6 個まで設定が可能です。</p> <p>※復帰条件のしきい値は 8 文字以内で入力してください。</p> <p>※イベント型のデータポイントを使用する場合、しきい値には「変換後」のデータを入力してください。イベント変換に関する詳細は、第 13 章をご参照ください。</p> <p>※データ形式が受信ファイルのコマンドは選択できません。</p>
		操作	
⑨	チェックプロセス	操作	<p>アラーム発生や、復帰などを MMCloud/Y's-Cloud で確認し、確認時間、確認者の履歴を残すことをチェックプロセスと呼んでいます。</p> <p>チェックプロセスが必要な場合、☑を入れてください。</p>
⑩	無効	操作	<p>本アラーム条件を無効にする場合、☑を入れてください。</p>
⑪	保存	操作	<p>新規に追加したアラーム条件情報を保存します。</p>
⑫	キャンセル	操作	<p>アラーム条件の追加をキャンセルします。</p>

1 1. 2. 3 無通信検知型アラームの新規追加

機器からの通信が途絶したことを検知すると発生し、通信が復旧すると復帰する、無通信検知型アラームの条件設計方法を説明します。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	アラーム名称	入力	アラームの一意な名称を 64 文字以内で入力します。
②	アラーム種別	操作	"無通信検知型"を選択します。
③	アラームレベル	操作	アラームの重要度レベルを以下から選択します。 "低"/"中"/"高"/"重大" ※デフォルトは"低"です。
④	通信プロファイル名称	操作	アラームで使用する通信プロファイルを選択します。 ※設定済みの通信プロファイルのみ選択できます。
⑤	機器名称 (絞り込み用)	操作	アラームに使用する機器の名称を選択します。 をクリックすると、ツリー図から選択できます。
⑥	監視条件 (現地)	操作	アラーム監視の実施有無、時間帯、曜日を設定します。 ※時間帯は[機器情報]で設定したタイムゾーンで指定する必要があります。
⑦	コマンド名称	操作	無通信と判定する対象のコマンド名称を定義します。 ※通信プロファイル名称にて選択した通信プロファイルに登録済みのコマンドから選択できます。

⑧	無通信判定期間[分]	入力	コマンド名称にて選択したコマンドの通信が受信できず、無通信と判定する期間を定義します。
⑨	再通知間隔[分]	操作	無通信と判定した後も通信が受信できない場合に再通知を行うか、またその期間を定義します。
		入力	
⑩	チェックプロセス	操作	アラーム発生や、復帰などを MMCloud/Y's-Cloud で確認し、確認時間、確認者の履歴を残すことをチェックプロセスと呼んでいます。 チェックプロセスが必要な場合、☑を入れてください。
⑪	無効	操作	本アラーム条件を無効にする場合、☑を入れてください。
⑫	保存	操作	新規に追加したアラーム条件情報を保存します。
⑬	キャンセル	操作	アラーム条件の追加をキャンセルします。

1 1. 3 アラーム条件情報の参照/変更/削除

[アラーム条件一覧]：“アラーム名称”の該当セルをクリックすると、[アラーム条件情報]画面に遷移します。

[アラーム条件情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。

また、以下のボタンのクリックでアラーム条件情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	アラーム条件情報を変更します。以下の変更が可能です。 “アラームレベル”/“監視条件”（監視の有無のみ）/“最短アラーム間隔”/“無通信判定期間”/“再通知間隔”/“チェックプロセス”/“無効” ※他の条件を変更すると過去のログを確認する際、どんな条件で発生したか不明になるので変更できません。必要な場合、別のアラーム条件を作成してください。
②	コピー	操作	アラーム条件の設定をコピーし、新規アラーム条件を作成します。 “アラーム名称”以外の情報がコピーされます。
③	削除	操作	アラーム条件を削除します。

		アラーム条件を削除すると、機器のアラーム通知設定も削除されます。 ※アラーム通知に関する詳細は、第 15.5 章をご参照ください。
--	--	--

11.4 CSV ファイルの出力

[アラーム条件一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれたアラーム条件の情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。

The screenshot shows the 'アラーム条件一覧' (Alarm Condition List) interface. At the top, there are search filters for 'アラーム名称' and '種別'. Below that, there are checkboxes for 'レベル' (High, Medium, Low) and '使用機器有' (Use Device). The '検索条件' (Search Conditions) section shows 'CSV' selected. The main table lists 9 alarm conditions with columns for name, type, level, profile name, occurrence condition, recovery condition, check status, and device count. The 'CSV' button is highlighted with a red dashed box.

アラーム名称	種別	レベル	通信プロファイル名称	発生条件	復帰条件	チェック	無効	使用機器数
CPU使用率...	復帰型	高	Windowsサーバ(プロファイル)	CPU使用率 ≥ 95	CPU使用率 ≤ 80	○	-	1 / 1
温度差上昇	復帰型	高	冷凍車プロファイル	温度差 > 100	温度差 < 100	○	-	1 / 2
温度取得異常	発生型	低	冷凍車プロファイル	庫内温度 < -273.15	-	○	-	1 / 2
電力供給停止	発生型	低	水素ステーション	電力量 ≤ 0	-	○	-	1 / 1
電力量上昇	復帰型	高	水素ステーション	電力量 > 300000...	電力量 < 300000...	○	-	1 / 1
内圧異常上昇	復帰型	重大	水素ステーション	内圧 > 50000000	内圧 < 50000000	○	-	1 / 1
内圧上昇	発生型	中	水素ステーション	内圧 > 10000000	-	○	-	1 / 1
冷凍機能低下	発生型	中	冷凍車プロファイル	庫内温度 > -1	-	-	-	1 / 2
冷凍機能不全	復帰型	重大	冷凍車プロファイル	庫内温度 > 0	庫内温度 < 0	○	-	1 / 2

11.5 CSV ファイルの取り込み

[アラーム条件一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSV ファイルを取り込むことができます。取り込むことができる CSV ファイルのフォーマットは、出力されるファイルと同じ形式です。CSV ファイルの取り込みに関する詳細は、第 5.5 章、及び付録 1.4.7 をご参照ください。

The screenshot shows the same 'アラーム条件一覧' interface as above. In this view, the '取込' (Import) button in the '検索条件' section is highlighted with a red dashed box.

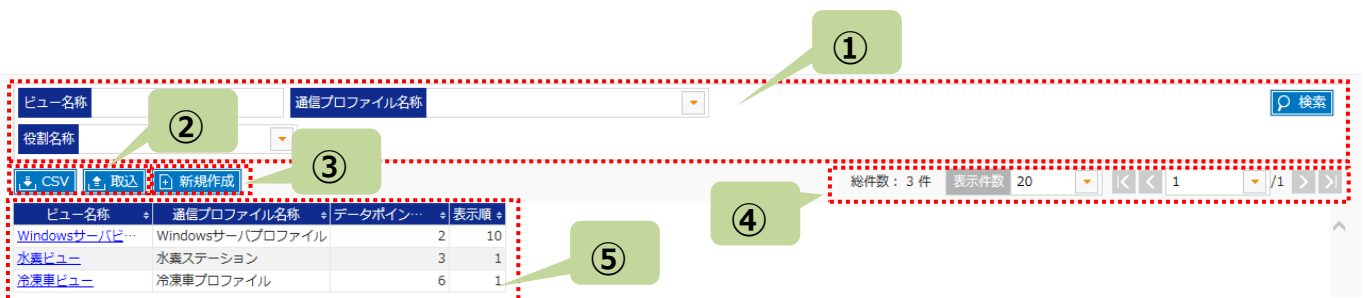
第12章 トレンドビュー一覧/トレンドビュー情報

<設定>⇒<トレンドビュー一覧>からトレンドビューの一覧を確認できます。

[トレンドビュー一覧]から“ビュー名称”の該当セルをクリックすると[トレンドビュー情報]へ遷移します。[トレンドビュー情報]画面で各トレンドビューの情報を入力/閲覧/変更できます。

12.1 トレンドビュー一覧 画面の構成

[トレンドビュー一覧]画面は以下の要素で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	ビュー名称、通信プロファイル名称、役割名称で検索するトレンドビューを絞り込みます。
		操作	
②	CSV 入出力	操作	ビュー名称、通信プロファイルなどのデータの CSV ファイル出力、取り込みを行います。ただし、出力は 10,000 行まで、取り込みは 1,000 行までです。
③	新規追加	操作	新規作成 をクリックすると、新規トレンドビュー作成のための[トレンドビュー情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※デフォルトは"20"です。 また、 ◀ <先頭ページ> / ◀ <1 つ前のページ> / ▶ <1 つ先のページ> / ▶ <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
		操作	
⑤	一覧エリア	表示	ビュー名称、通信プロファイルなどの一覧を表示します。 "ビュー名称"の該当セルをクリックすることで、[トレンドビュー情報]画面に遷移し、トレンドビューに設定された情報を閲覧/変更できます。
		操作	

12.2 トレンドビューの新規追加

[トレンドビュー一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[トレンドビュー情報]画面に遷移します。
この[トレンドビュー情報]画面でトレンドビューの新規作成が行えます。

トレンドビューを設定することで、[機器トレンドモニタ]画面にて表示されるデータポイントの制限を行うことができます。
※ [通信ログ一覧]画面では、すべてのデータポイントが表示されます。役割によりデータポイントの閲覧制限をする場合、役割の設定にご注意ください。役割の設定については、第6章をご参照ください。

The screenshot shows the configuration interface for a new trend view. It includes the following elements:

- 1:** View Name (ビュー名称) input field.
- 2:** Communication Profile Name (通信プロファイル名称) dropdown menu.
- 3:** Command Name (コマンド名称) dropdown menu.
- 4:** Data Point Settings (データポイント設定) dropdown menu and '+ 追加' button.
- Table:** A table with columns: Data Point (データポイント), Unit (単位), Collection Method (集計方法), Display (表示), Axis (軸), Display Range (表示範囲), Graph Type (グラフ種別), and Delete (削除). It lists 'Signal Strength' (電波強度) and 'Communication Specifications' (通信規格).
- 5:** Display Order (表示順) input field.
- 6:** Role (役割) dropdown menu.
- 7-14:** Role selection table with '+ 追加', '- 削除' buttons for System Administrator, Group Administrator, and End User Administrator.
- 15:** '保存' (Save) button.
- 16:** 'キャンセル' (Cancel) button.

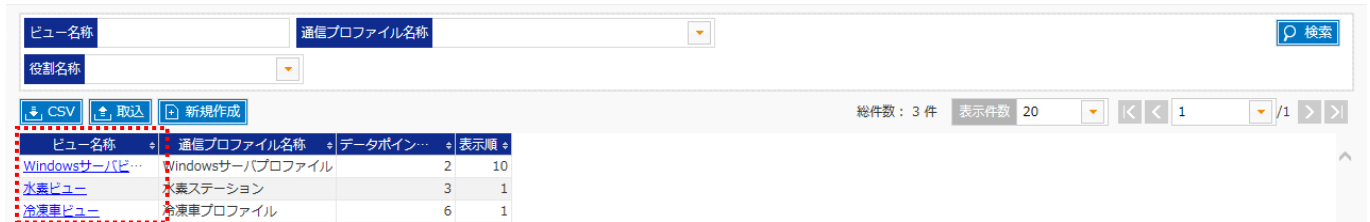
画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	ビュー名称	入力	トレンドビューの一意な名称を 32 文字以内で入力します。
②	通信プロファイル名称	操作	通信プロファイルを選択します。 ※デフォルトは空白です。
③	コマンド名称	操作	②で選択した通信プロファイルに設定されたコマンドを選択します。 ※デフォルトは空白です。
④	データポイント設定	操作	③で選択したコマンドに設定されたデータポイントを選択します。 ※デフォルトは空白です。 + 追加 をクリックすると、データポイントを一覧に追加します。

⑤	データポイント情報	表示	データポイントの名称と単位を表示します。
⑥	集計方法	操作	データの集計方法を以下から選択します。 "平均"/"最大"/"最小"/"合計"/"最新瞬時" ※デフォルトは"最新瞬時"です。
⑦	表示	操作	[機器トレンドモニタ]画面にデフォルトでグラフを表示する場合、 <input type="checkbox"/> を入れてください。
⑧	軸	操作	グラフにY軸を表示する場合、 <input type="checkbox"/> を入れてください。
⑨	表示範囲	入力	グラフのY軸方向の表示下限値、上限値を入力します。
⑩	グラフ種別	操作	表示するグラフの種別を"折れ線"/"棒"から選択します。 ※デフォルトは"折れ線"です。
⑪	削除	操作	選択したデータポイントを一覧から削除します。
⑫	一覧内の行移動	操作	一覧内のデータポイントを上下に移動します。
⑬	表示順	操作	トレンドビューの表示順を入力します。 [機器トレンドモニタ]画面や[機器詳細]画面のトレンドビュープルダウンは、ここで設定した表示順で並びます。 ※[機器トレンドモニタ]画面や[機器詳細]画面に関する詳細は、「操作マニュアル」の第7章、第8章をご参照ください。
⑭	役割	操作	トレンドビューを閲覧できる役割を設定します。 ※デフォルトは空白です。 <input type="button" value="+ 追加"/> をクリックすると、選択した役割を追加します。 <input type="button" value="- 削除"/> をクリックすると、選択した役割を削除します。
⑮	保存	操作	新規に追加したトレンドビュー情報を保存します。
⑯	キャンセル	操作	トレンドビューの追加をキャンセルします。

12.3 トレンドビューの参照/変更/削除

[トレンドビュー一覧]: “ビュー名称”の該当セルをクリックすると、[トレンドビュー情報]画面に遷移します。
この画面で設定内容を参照/変更/削除できます。



また、以下のボタンのクリックでトレンドビュー情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	トレンドビュー情報を変更します。全項目の変更が可能です。
②	コピー	操作	トレンドビューの設定をコピーし、新規トレンドビューを作成します。全項目の情報がコピーされます。
③	削除	操作	トレンドビューを削除します。

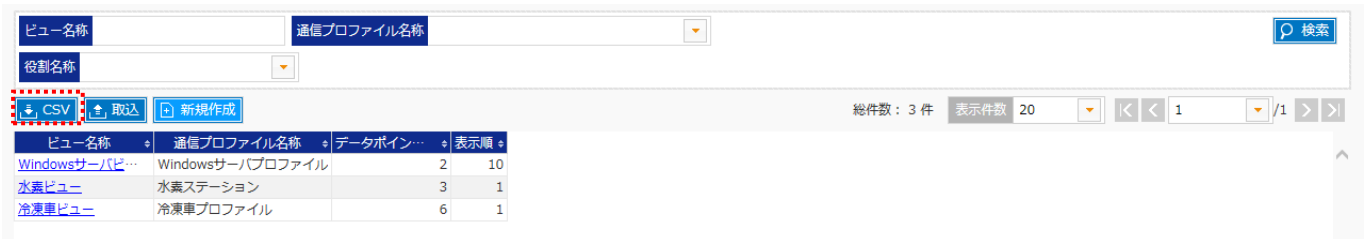
12.3.1 削除された役割の取り扱いについて

トレンドビューに設定されていた役割が削除された場合、以下のように動作します。

- ・トレンドビューの新規作成時
役割名称のプルダウンには、削除済の役割は表示されません。
- ・トレンドビューの参照時
設定された役割のリストに、Ver.3.01.01 以前に削除済の役割名称も表示されます。Ver.4.00.00 以降に削除された役割名称は表示されません。
- ・トレンドビューの変更/コピー時
設定された役割のリスト、及び、役割名称のプルダウンには、削除済の役割は表示されません。

12.4 CSV ファイルの出力

[トレンドビュー一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれたトレンドビューの情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。

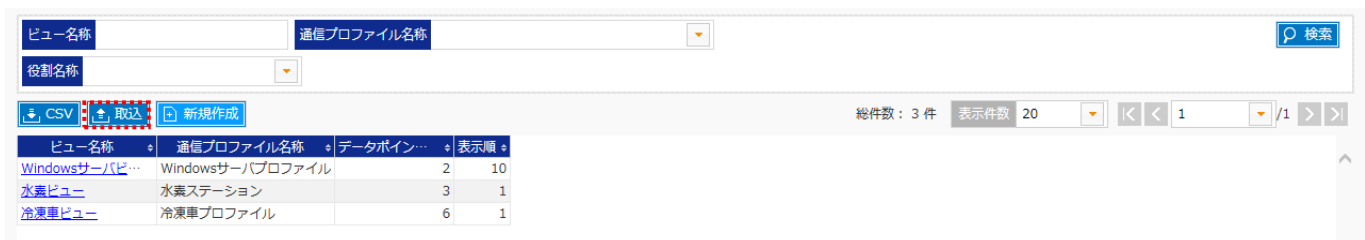


The screenshot shows the 'Trend View List' interface. At the top, there are search filters for 'ビュー名称' and '通信プロファイル名称'. Below these are buttons for 'CSV', '取込', and '新規作成'. The 'CSV' button is highlighted with a red dashed box. To the right, there are controls for '総件数: 3件', '表示件数: 20', and page navigation. Below the buttons is a table with the following data:

ビュー名称	通信プロファイル名称	データポイン...	表示順
Windowsサーバド...	Windowsサーバプロファイル	2	10
水素ビュー	水素ステーション	3	1
冷凍車ビュー	冷凍車プロファイル	6	1

12.5 CSV ファイルの取り込み

[トレンドビュー一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSV ファイルを取り込むことができます。取り込むことができる CSV ファイルのフォーマットは、出力されるファイルと同じ形式です。CSV ファイルの取り込みに関する詳細は、第 5.5 章、及び付録 1.4.8 をご参照ください。



The screenshot shows the 'Trend View List' interface, similar to the previous one. In this view, the '取込' button is highlighted with a red dashed box. The table below the buttons contains the same data as in the previous screenshot:

ビュー名称	通信プロファイル名称	データポイン...	表示順
Windowsサーバド...	Windowsサーバプロファイル	2	10
水素ビュー	水素ステーション	3	1
冷凍車ビュー	冷凍車プロファイル	6	1

第13章 イベント変換一覧/イベント変換情報

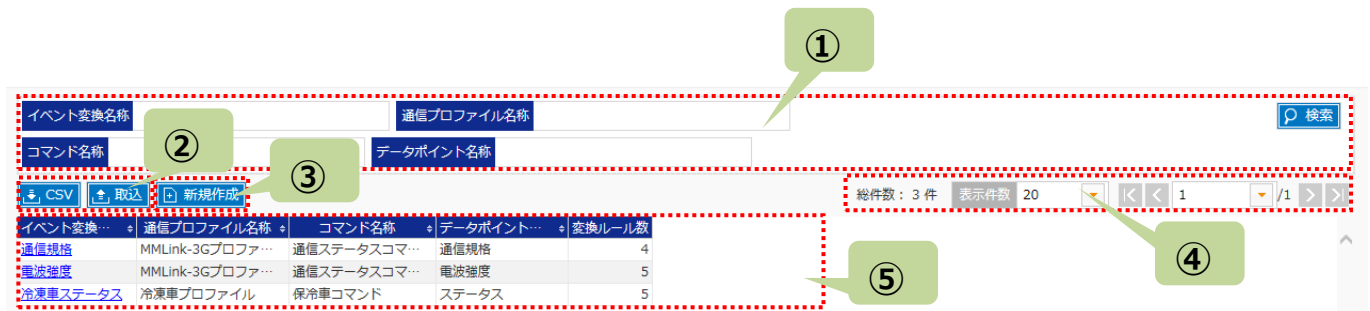
<設定>⇒<イベント変換一覧>からイベント変換の一覧を確認できます。

[イベント変換一覧]から“イベント変換名称”の該当セルをクリックすると[イベント変換情報]に遷移します。

[イベント変換情報]画面で各イベント変換の情報を入力/閲覧/変更します。

13.1 イベント変換一覧 画面の構成

[イベント変換一覧]画面は以下の要素で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力 操作	イベント変換名称、通信プロファイル名称などで検索するイベント変換を絞り込みます。
②	CSV 入出力	操作	イベント変換名称、変換ルールなどのデータの CSV ファイル出力、取り込みを行います。ただし、出力は 10,000 行まで、取り込みは 1,000 行までです。
③	新規追加	操作	新規作成 をクリックすると、新規イベント変換作成のための[イベント変換情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示 操作	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※デフォルトは"20"です。 また、 <先頭ページ> / <1 つ前のページ> / <1 つ先のページ> / <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
⑤	一覧エリア	表示 操作	イベント変換名称、変換ルール数などの一覧を表示します。 “イベント変換名称”の該当セルをクリックすることで、[イベント変換情報]画面に遷移し、イベント変換に設定された情報を閲覧/変更できます。

13.2 イベント変換の新規追加

[イベント変換一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[イベント変換情報]画面に遷移します。この[イベント変換情報]画面でイベント変換の新規作成が行えます。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	イベント変換名称	入力	イベント変換の一意な名称を 256 文字以内で入力します。
②	通信プロファイル名称	操作	通信プロファイルを選択します。 ※デフォルトは空白です。
③	コマンド名称	操作	②で選択した通信プロファイルに設定されたコマンドを選択します。 ※デフォルトは空白です。
④	データポイント名称	操作	③で選択したコマンドに設定されたイベント型データポイントを選択します。 ※デフォルトは空白です。
⑤	比較方法	操作	イベント値の比較方法を "=" / "≠" から選択します。 ※デフォルトは空白です。
⑥	比較値	入力	比較値を 256 文字以内で入力します。 ※比較値として「NULL」「OTHER」を設定することができます、詳細は、第 13.2.2.3 章、及び第 13.2.2.4 章をご参照ください。
⑦	イベントデータ値	入力	イベントデータ値を 10 文字以内で入力します。
⑧	削除	操作	選択した変換ルールを削除します。
⑨	追加	操作	変換ルール入力欄を追加します。最大 5 件まで登録できます。
⑩	保存	操作	新規に追加したイベント変換情報を保存します。
⑪	キャンセル	操作	イベント変換の追加をキャンセルします。

13.2.1 イベント変換 - 変換ルールに関する補足説明

この章では、イベント変換の比較条件に関して、以下の例 1 を用いて補足説明します。

例 1 :

イベント変換名称 * 抵抗表示変換

通信プロファイル名称 * 電源装置プロファイル (60Hz)

コマンド名称 * 電源系統コマンド60

データポイント名称 * 抵抗

変換ルール

比較方法	比較値	イベントデータ値	
① =	0	超伝導	削除
② =	0	抵抗ゼロ	削除
③ =	0	内部抵抗無し	削除
④ =	NULL	データ無し	削除
⑤ =	OTHER	抵抗あり	削除

番号	比較条件	比較値	イベントデータ値
①	=	0 (半角)	超伝導
②	=	0 (半角)	抵抗ゼロ
③	=	0 (全角)	内部抵抗無し
④	=	NULL	データ無し
⑤	=	OTHER	抵抗あり

13.2.1.1 全く同じ比較条件を登録した場合

複数の比較条件を登録した場合、より上の行の条件が優先されます。

例1の①と②では、同じ比較値「0」を登録していますが、より上にある条件①に従ってイベントデータ値への変換が行われません。

13.2.1.2 比較値を全角と半角で登録した場合

受信するデータ値の全角/半角は区別されます。

例1の①と③では、比較値を半角と全角でそれぞれ登録していますが、受信データが半角「0」の場合は条件①、全角「0」の場合は条件③に従って、イベントデータ値への変換が行われます。

13.2.1.3 比較値を NULL にする場合

変換ルールの比較値に「NULL」を設定することができます。

これは「データがない場合」という意味です。

例1の場合、条件④に従ってイベントデータ値への変換が行われます。

13.2.1.4 比較値を OTHER にする場合

変換ルールの最終行では、比較値に「OTHER」を設定することができます。

このとき、比較方法は必ず“=”となります。

最終行以外の条件を満たさなかった場合、「OTHER」の行のルールに従って変換が行われます。

例1の場合、半角「0」と全角「0」以外の NULL でない値に対しては、条件⑤に従ってイベントデータ値への変換が行われません。

13.3 イベント変換の参照/変更/削除

[イベント変換一覧]画面内の<イベント変換名称>をクリックすると、[イベント変換情報]画面に遷移します。

[イベント変換情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。

The screenshot shows the 'Event Conversion List' table with the following data:

イベント変換...	通信プロファイル名称	コマンド名称	データポイント...	変換ルール数
通信規格	MMLink-3Gプロファ...	通信ステータスコマ...	通信規格	4
電波強度	MMLink-3Gプロファ...	通信ステータスコマ...	電波強度	5
冷凍車ステータス	冷凍車プロファイル	保冷車コマンド	ステータス	5

The 'Event Conversion Information' form shows the following details:

- イベント変換名称 *: 水素ステーション稼働Mode
- 通信プロファイル名称 *: 水素ステーション
- コマンド名称 *: 水素コマンド
- データポイント名称 *: モード

The 'Conversion Rules' table is as follows:

比較方法	比較値	イベントデータ値
=	NULL	データ無し
=	0	ターボモード
=	OTHER	通常モード

At the bottom, three buttons are highlighted with green callouts:

- ① 編集 (Edit)
- ② コピー (Copy)
- ③ 削除 (Delete)

また、以下のボタンのクリックでイベント変換情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	イベント変換情報を変更します。以下の項目以外は変更可能です。 "通信プロファイル名称"/"通信コマンド名称"/"データポイント名称"
②	コピー	操作	イベント変換の設定をコピーし、新規イベント変換を作成します。 全項目の情報がコピーされます。
③	削除	操作	イベント変換を削除します。 ※イベント変換を削除しても、イベント型のデータポイントは削除されません。

13.4 CSV ファイルの出力

[イベント変換一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれたイベント変換の情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。



イベント変換...	通信プロファイル名称	コマンド名称	データポイント...	変換ルール数
通信規格	MMLink-3Gプロファ...	通信ステータスコマ...	通信規格	4
電波強度	MMLink-3Gプロファ...	通信ステータスコマ...	電波強度	5
冷凍車ステータス	冷凍車プロファイル	保冷車コマンド	ステータス	5


13.5 CSV ファイルの取り込み

[イベント変換一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSV ファイルを取り込むことができます。取り込むことができる CSV ファイルのフォーマットは、出力されるファイルと同じ形式です。CSV ファイルの取り込みに関する詳細は、第 5.5 章、及び付録 1.4.9 をご参照ください。



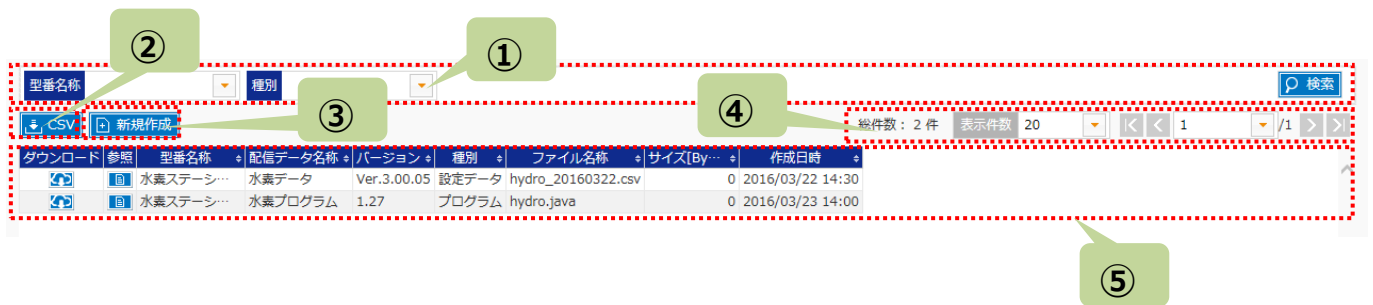
イベント変換...	通信プロファイル名称	コマンド名称	データポイント...	変換ルール数
通信規格	MMLink-3Gプロファ...	通信ステータスコマ...	通信規格	4
電波強度	MMLink-3Gプロファ...	通信ステータスコマ...	電波強度	5
冷凍車ステータス	冷凍車プロファイル	保冷車コマンド	ステータス	5




第14章 配信データ一覧/配信データ情報

<設定>⇒<配信データ一覧>から配信データの一覧を確認できます。各配信データの情報は、[配信データ一覧]から  をクリックし、[配信データ情報]画面で入力/閲覧/変更します。

14.1 配信データ一覧 画面の構成

[配信データ一覧]画面は以下で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	型番名称、種別で検索する配信データを絞り込みます。
		操作	
②	CSV 出力	操作	配信データ名称、種別などのデータの CSV ファイル出力を行います。ただし、出力は 10,000 行までです。
③	新規追加	操作	 をクリックすると、新規配信データ作成のための[配信データ情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※"20"をデフォルトで表示します。
		操作	また、先頭ページ/1 つ前のページ/1 つ先のページ/最終ページボタン押下、またはプルダウンからの選択により、表示するページを指定できます。
⑤	一覧エリア	表示	配信データ名称、種別などの一覧を表示します。  をクリックすることで、[配信データ情報]画面に遷移し、配信データに設定された情報を閲覧/変更できます。
		操作	 をクリックすることで、配信データをダウンロードできます。 ※削除された配信データは、ダウンロードすることができません。

14.2 配信データの新規追加


[配信データ一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[配信データ情報]画面に遷移し、配信データの新規作成が行えます。

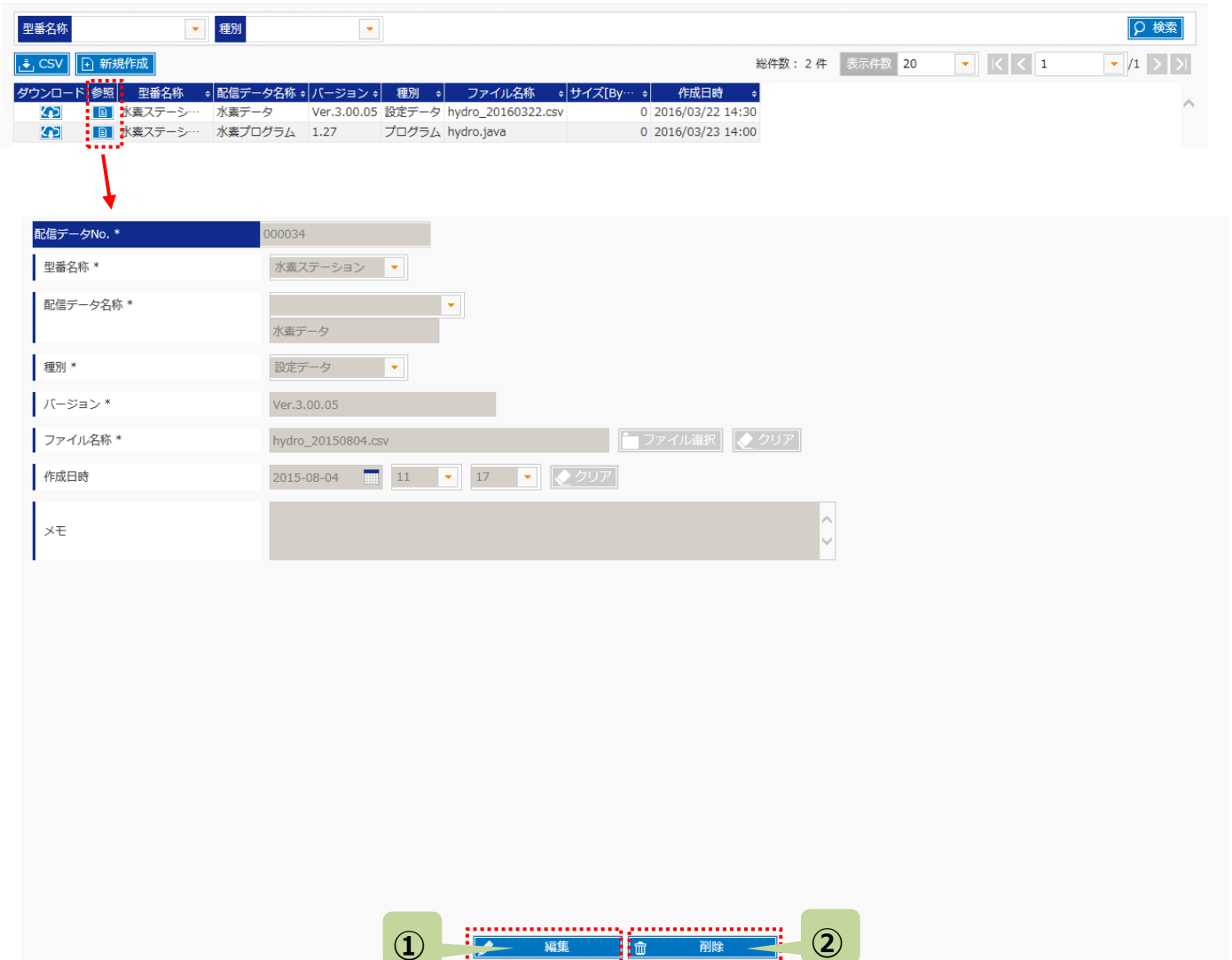
画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	配信データ No.	表示	配信データの番号です。登録の際に自動で生成されます。 ※新規追加時は“自動採番”と表示されます。
②	型番名称	操作	機器の型番を選択します。 型番は[型番一覧]で登録されている中から選択します。 ※空白をデフォルトで表示します。
③	配信データ名称	入力	配信データの名称を 32 文字以内で入力します。
		操作	既に登録された名称をプルダウンから選択することもできます。 ※空白をデフォルトで表示します。
④	種別	操作	配信データの種別を以下から選択します。 “プログラム”/“設定データ”/“コンテンツ”/“その他” ※空白をデフォルトで表示します。
⑤	バージョン	入力	半角英数、記号 32 文字以内で機器のバージョンを入力します。
⑥	ファイル名称	操作	配信データを選択するには、 ファイル選択 をクリックします。 表示されているファイル名を削除するには、 クリア をクリックします。 ※アップロードできるファイルのサイズ上限は 10MB です。 ※0 バイトのファイルをアップロードすることもできます。
		操作	配信データの作成日時を設定します。 表示されている作成日時を削除するには、 クリア をクリックします。

⑧	メモ	入力	配信データに関するメモを 1024 文字以内で入力します。
⑨	保存	操作	新規に追加した配信データの情報を保存します。
⑩	キャンセル	操作	配信データの追加をキャンセルします。

14.3 配信データの参照/変更/削除

[配信データ一覧]画面内の  をクリックすると、[配信データ情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。



また、以下ボタンのクリックで配信データ情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	配信データ情報を変更します。以下の項目以外は変更可能です。 "配信データ No."/"型番名称"/"バージョン"
②	削除	操作	配信データを削除します。 削除対象のバージョンのみ削除されます。他のバージョンが無い場合、配信データ自体が全て削除されます。

14.4 CSV出力

[配信データ一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれた配信データの情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 を参照ください。



ダウンロード	参照	型番名称	配信データ名称	バージョン	種別	ファイル名称	サイズ[By...	作成日時
		水災ステーシ...	水災データ	Ver.3.00.05	設定データ	hydro_20160322.csv	0	2016/03/22 14:30
		水災ステーシ...	水災プログラム	1.27	プログラム	hydro.java	0	2016/03/23 14:00

第15章 機器一覧／機器情報

<設定> ⇒ <機器一覧> から機器の一覧を確認できます。[機器一覧]から“機器 ID”の該当セルをクリックすると[機器情報]画面に遷移します。[機器情報]画面で各機器の情報を入力／閲覧／変更します。

15.1 機器一覧 画面の構成

[機器一覧]画面は以下の要素で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	機器 ID、機器名称、所属グループで検索する機器を絞り込みます。
		操作	+ 詳細設定 をクリックすると更に詳細の検索条件を設定できます。
②	CSV 入出力	操作	機器 ID、機器名称などのデータの CSV ファイル出力、取り込みを行います。ただし、出力は 10,000 行まで、取り込みは 1,000 行までです。
③	新規追加	操作	+ 新規作成 をクリックすると、新規機器作成のための[機器情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※デフォルトは"20"です。
		操作	また、 ◀ <先頭ページ> / ◀ <1 つ前のページ> / ▶ <1 つ先のページ> / ▶ <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。。
⑤	一覧エリア	表示	機器 ID、 機器名称などの一覧を表示します。 "機器 ID"の該当セルをクリックすることで、[機器情報]画面に遷移し、機器に設定された情報を閲覧／変更できます。
		操作	同様に、以下の操作でそれぞれの画面に遷移します。 ・"型番名称"の該当セル ⇒ [型番情報] ・"所属グループ"の該当セル ⇒ [グループ情報]

15.2 機器の新規追加

[機器一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[機器情報]画面に遷移します。この[機器情報]画面で機器の新規作成が行えます。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	機器 ID	入力	一意な機器の ID を半角英数、記号 20 文字以内で入力します。 注意：機器から送信されるデータがプロトコルバージョン 2 の場合、 機器 ID は以下の形式の IPv4 アドレスとしてください。 記載形式：ピリオド(.)なし、各 3 桁固定、前 0 埋め 例：IP アドレスが 192.168.5.10 の場合 192168005010
②	機器名称	入力	機器名称を 32 文字以内で入力します。
③	バージョン	入力	機器のバージョンを半角英数、記号 32 文字以内で入力します。
④	シリアル No	入力	機器を一意に特定できるシリアル番号などを半角英数、記号 32 文字以内で入力

			します。
⑤	型番名称	操作	機器の型番を、[型番一覧]で登録されている中から選択します。 ※デフォルトは空白です。 ※型番を選択すると、型番に紐付くデータ（⑥通信プロファイル名称、⑦所属グループ、⑧位置情報、⑨住所、⑩タイムゾーン、⑪稼働状態）を自動設定します。
⑥	通信プロファイル名称	表示	機器で使用される通信プロファイルを表示します。
⑦	所属グループ	操作	機器が所属するグループを選択します。 ※ログインユーザの所属グループ配下で、かつ⑤で選択された型番のグループ配下のグループのみ選択できます。 ※グループを選択すると、グループの⑨住所、⑩タイムゾーンを自動設定します。（既に設定されている場合、設定の上書きは行いません。）
⑧	位置情報	操作	機器の位置情報の取得方法を選択します。 ・“機器情報より取得”：設定した緯度、経度より静的に取得します。 ・“データポイントより取得”：機器の通信データより取得します。 ※デフォルトは“機器情報より取得”です。
⑨	住所	入力	機器が設置されている住所を入力します。
⑩	タイムゾーン	操作	機器が動作するタイムゾーンを選択します。 ※デフォルトは空白です。
⑪	稼働状態	操作	機器の稼働状態を選択します。以下から選択できます。 “停止状態”/“運転状態”/“メンテナンス中”/“出荷待ち” ※デフォルトは“運転状態”です。 ※⑥の通信プロファイルの稼働状態管理方法が“以下で設定するデータポイントの判定条件に連動”/“通信有無のみに連動”の場合、“運転状態”を表示します。（変更はできません。）
⑫	表示項目	表示	⑤で型番名称を選択している場合のみ表示されます。 選択した型番で表示項目に設定されているデータポイントの名称と、そのデータポイントの“時間積算（カウント）”と“永久積算（カウント）”を表示、変更できます。 ※データ型が“ビット”/“日付”/“イベント”/“座標”/“文字列”/“ワード”の場合、積算値は“-”で表示され、変更できません。（カウントの表示、変更は可能です。）
		入力	また、参照時には“計測日時”が表示されます。 “計測日時”は、時間積算値の最終リセット時刻です。 積算値に関する詳細は第 15.4 章をご参照ください。
⑬	SIM タイプ	操作	機器が属する MMLink の SIM タイプを選択します。以下から選択できます。 “F-VF”/“F-D”/“other” ※デフォルトは空白です。

⑭	IP アドレス	表示	機器が属する MMLink の IP アドレスが自動取得されます。
⑮	ポート番号	入力	機器のポート番号を、40000～49999 の範囲で入力します。
⑯	機器付帯情報	入力	機器付帯情報を入力します。 [型番情報]で“機器付帯情報”の項目を登録していない場合は表示されません。
⑰	アラーム設定	操作	機器で検出するアラームを選択します。 [アラーム一覧]で登録したアラームを選択できます。 また、アラーム発生時の通知先メールアドレスを登録できます。 アラーム設定に関する詳細は、第 15.5 章をご参照ください。
⑱	保存	操作	新規に追加した機器の情報を保存します。
⑲	キャンセル	操作	機器の追加をキャンセルします。

15.3 機器情報の参照/変更/削除

[機器一覧]: “機器 ID”の該当セルをクリックすると、[機器情報]画面に遷移します。

[機器情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。

機器ID	機器名称	バージョン	シリアルNo	型番名称	通信プロファイル名称	所属グループ	位置取得区分	住所	タイムゾーン
DataServer	データサーバ	1.00	DBS-2016-001	Windowsサーバ	Windowsサーバプロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
HydrogenStation001	水素ステーション001	1.0	Hydro-001	水素ステーション	水素ステーション	ALL-安川設計-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Dacca
LCarbon	活性炭フィルタ	1.0	LC123-001	LC123	LC123プロファイル	ALL-安川設計-NY支店	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Mobile001	移動体001	1.0	MB-0001	MMLink-3G	MMLink-3Gプロファイル	ALL-安川情報-タイ...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Dubai
Thermometer001	温度センサ1	1.0	Thermo-1-001	保冷車2t	冷凍車プロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer002	温度センサ2	1.0	Thermo-1-002	保冷車2t	冷凍車プロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer003	温度センサ3	1.0	Thermo-1-003	保冷車4t	冷凍車プロファイル(4t)	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer004	温度センサ4	1.0	Thermo-1-004	保冷車4t	冷凍車プロファイル(4t)	ALL-安川情報-本社...	データポイントより...	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo

機器ID * DataServer

機器名称 * データサーバ

バージョン * 1.00

シリアルNo * DBS-2016-001

型番名称 * Windowsサーバ

通信プロファイル名称 * Windowsサーバプロファイル

所属グループ * ALL-安川情報

位置取得区分 * 機器情報より取得

位置情報 * 緯度 33.8584
経度 130.7582

住所 * 福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15

タイムゾーン * Tokyo

稼働状態 * 運転状態

時積算 (カウント) 永久積算 (カウント)

表示項目1 CPU使用率(CPU) 2016/07/05 10:00:00 20.153 (1) 20.153 (1)

SIMタイプ * F-VF

IPアドレス *

ポート番号 * 40001

アラーム設定

CPU使用率上昇 [+ 追加](#) [メール設定](#)

① [編集](#) [コピー](#) [削除](#) ③

また、以下のボタンのクリックで機器情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	機器情報を変更します。 "機器 ID"、"IP アドレス"以外は変更が可能です。
②	コピー	操作	機器の設定をコピーし、新規機器を作成します。 "機器 ID"以外の情報がコピーされます。
③	削除	操作	機器を削除します。 機器を削除すると、削除対象の機器に紐付けられた収集データ、報告書、資料も削除されます。また、削除対象の機器に対して配信データの設定をしていた場合、配信設定が解除されます。 ※報告書に関する詳細は、「操作マニュアル」の第 10 章をご参照ください。 なお、資料を残して機器を削除した場合、報告書添付資料も削除されずに残ります。 ※資料に関する詳細は、「操作マニュアル」の第 17 章をご参照ください。 なお、資料を残して機器を削除することもできます。

15.4 表示項目の積算値

“時間積算（カウント）”及び“永久積算（カウント）”の初期値を、[機器情報]画面の“表示項目”で設定できます。
これらの設定は[型番情報]画面で表示項目の集計方法を“合計”にした場合に用いられます。

“時間積算（カウント）”は、1時間単位で当該項目に対して取得したデータ値の合計値と取得回数です。
毎時0分にリセットされます。

“永久積算（カウント）”は、データポイント設定後の全期間において当該項目に対して取得したデータ値の合計値と取得回数です。

“時間積算（カウント）”、“永久積算（カウント）”に数字を入力すると、それまでの積算値は削除され、入力した数字がその時点からの初期値として設定されます。

以降の積算値はこの初期値から積算されていきます。

例：

- ①5分ごとにデータを取得
 - ②取得する当該データポイントの値が毎回5であり、
 - ③2016/7/21 11:40に時間積算値 15(3)、永久積算値 35(7)を設定
- 上記の条件の場合、時間ごとの積算値は下表のようになります。

計測時間	時間積算(カウント)	永久積算(カウント)
2016/7/21 11:30	30(6)	70(14)
2016/7/21 11:35	35(7)	75(15)
2016/7/21 11:40	15(3)	35(7)
2016/7/21 11:45	20(4)	40(8)
2016/7/21 11:50	25(5)	45(9)
2016/7/21 11:55	30(6)	50(10)
2016/7/21 12:00	0(0)	55(11)
2016/7/21 12:05	5(1)	60(12)

時間積算値 15(3)
永久積算値 35(7)
を設定

毎時0分
時間積算(カウント)が
リセット

15.5 アラームの通知先と通知テンプレート

[機器情報]画面の“アラーム設定”から、アラームの発生/復帰時のメール連絡先を指定できます。予め設定されたテンプレートを用いて、メールでアラームの発生/復帰を知ることが可能です。

15.5.1 アラーム設定の追加

[アラーム条件情報]画面で機器のアラーム条件を登録すると、[機器情報]画面の“アラーム設定”にリストが表示されます。“アラーム設定”を追加するには、以下の画面操作を行ってください。

機器ID *	COOLCAR4T001		
機器名称 *	保冷車4t		
バージョン *	1.00		
シリアルNo *	0000		
型番名称 *	保冷車 (4 t)		
通信プロフィール名称 *	冷凍庫プロフィール		
所属グループ *	ALL-安川情報-本社工場		
位置取得区分 *	機器情報より取得		
位置情報 *	緯度	33.8584	
	経度	130.7582	
住所 *	Japan		
タイムゾーン *	Tokyo		
稼働状態 *	運転状態		
表示項目1	温度(COOLCAR4...	2016/07/07 13:00:00	0.08255 (1) 18.2245 (241)
SIMタイプ *	other		
IPアドレス			
ポート番号			
アラーム設定			

時間積算 (カウント) 永久積算 (カウント)

編集 コピー 削除

ポート番号 40000~49999の範囲で入力

アラーム設定

酸素アラーム
酸素アラーム2
酸素アラーム3
酸素アラーム4

+ 追加

プルダウンでアラームを選択し、
+ 追加 をクリックすると設定されます。

ポート番号 40000~49999の範囲で入力

アラーム設定

酸素アラーム

メール設定

削除

保存


キャンセル

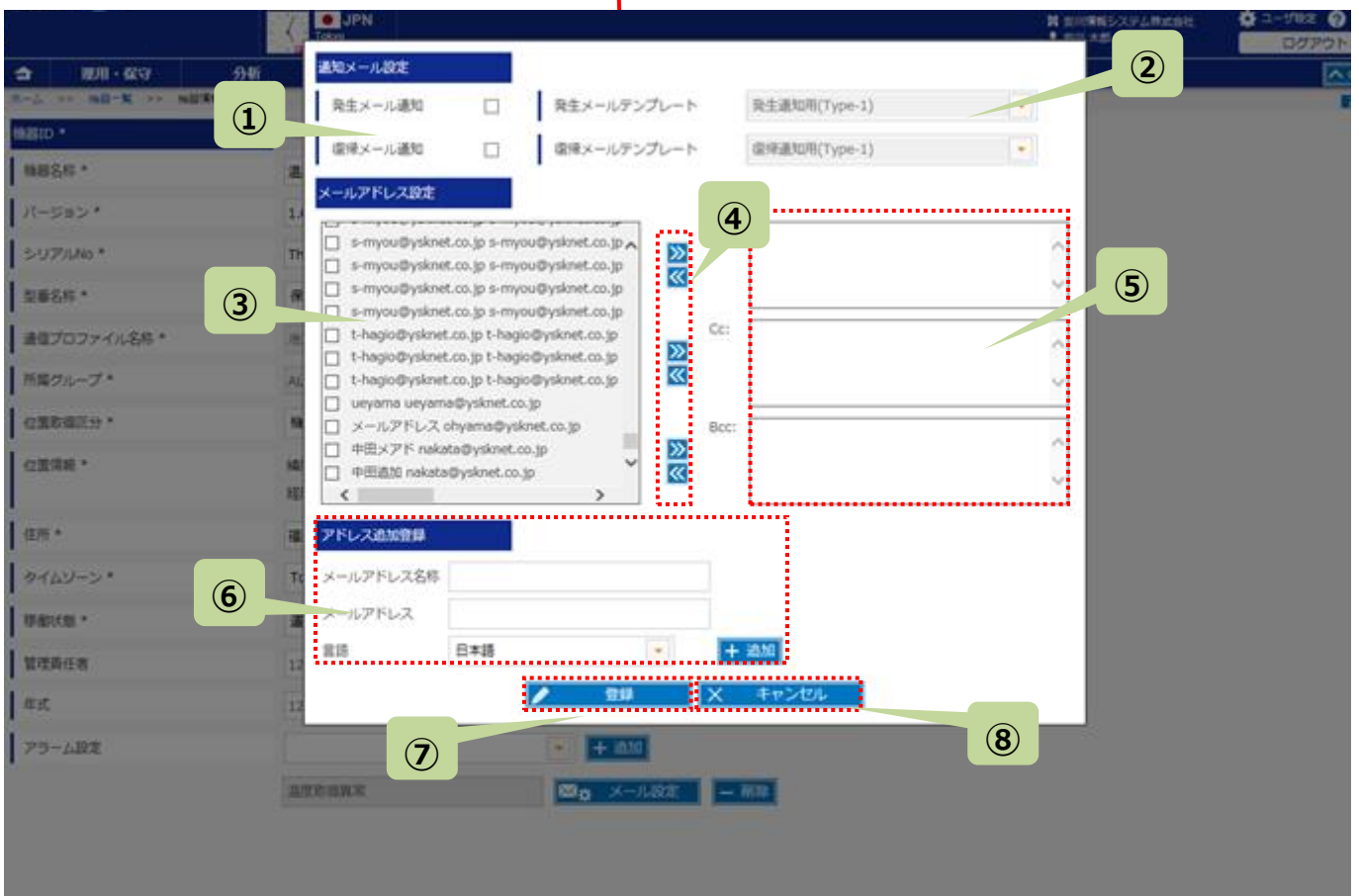
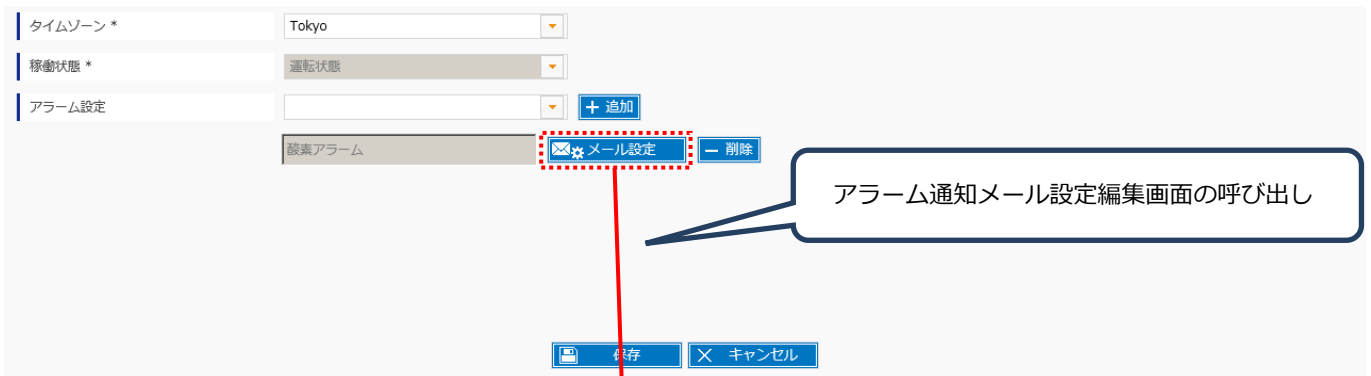
最後に  保存 をクリックするとシステムに保存されます。

【注意事項】

- ・各アラーム設定の判定は通信データを取り込む際に行います、そのため複雑なアラームを多数設定した場合、通信データの取り込みに遅延が発生する可能性があります。






15.5.2 アラーム通知メール設定の参照/変更

設定済みのアラーム通知メール設定は、[機器情報]:「アラーム設定」から  をクリックすると表示されます。



アラーム設定の変更は以下の領域を操作することで行います。

領域	項目名	属性	説明
①	通知種別	操作	通知メールを送信するタイミングを☑で設定します。 発生時/復帰時
②	テンプレートの 選択	操作	送信するメールのテンプレートを以下から選択します。 発生通知用/復帰通知用

			Type-1/Type-2 ※メールの言語は、ユーザの設定言語、及び、メールアドレスの設定言語に基づいて自動的に選択されます。 ※メールテンプレートのタイプに関しては、第 15.5.3.1 章～第 15.5.3.8 章をご参照ください。
③	選択元 メールアドレス	入力	送信できるメールアドレスの一覧です。選択するものに☑を入れてください。
④	メールアドレス 選択	操作	③で選択したメールアドレスを To : /Cc : /Bcc : 別に  (追加) /  (削除) します。
⑤	送信先 メールアドレス	表示	E-Mail の To : /Cc : /Bcc : 欄です。
⑥	新規 メールアドレス	入力	③のメールアドレス設定リストに登録されていないメールアドレスにアラーム通知メールを送信したい場合、メールアドレスを新規登録します。 送信先メールアドレス、言語を入力して、  をクリックすると③に追加されます。 メールアドレスと併せてアドレス名称を登録します。
		操作	
⑦	登録	操作	 をクリックすると、アラーム通知設定を一時的に保存し、[機器情報]画面に戻ります。 完全に保存するには[機器情報]画面で  をクリックします。
⑧	キャンセル	操作	アラーム設定の変更をキャンセルします。

※参照モードのときは、閲覧のみ可能です。(<キャンセル> 以外のボタン操作はできません。)

15.5.3 通知テンプレート

メールアドレスでの通知テンプレートは以下の8種類が準備されています。

No.	通知タイミング	言語	テンプレート名称	Type
1	アラーム発生時	日本語	発生通知用	Type-1
2		日本語	発生通知用	Type-2
3		英語	Occurrence notification	Type-1
4		英語	Occurrence notification	Type-2
5	アラーム復帰時	日本語	復帰通知用	Type-1
6		日本語	復帰通知用	Type-2
7		英語	Recovery notification	Type-1
8		英語	Recovery notification	Type-2

通知テンプレートには2種類のTypeがあります。Type-1は本サービス名「MMCloud」が表示されますが、Type-2では表示されません。メールの言語は、ユーザの設定言語、及び、メールアドレスの設定言語に基づいて自動的に選択されます。

※メールテンプレートのタイプに関しては、第15.5.3.1章～第15.5.3.8章をご参照ください。

※メーラーによっては正しく改行されない場合があります。

15. 5. 3. 1 通知テンプレート：発生通知用(Type-1)

記載の凡例：

- 黒文字 → テンプレートの固定文字列
- 青太文字 → 機器、アラーム毎に異なる文字列
- 赤太文字 → 時刻、データポイントの値など発生状況により異なる文字列

Subject: 【発生】MMCloud のアラーム通知について

担当者様

MMCloud からのお知らせです。

以下のアラームが発生しましたので、ご報告いたします。

アラーム名称：燃料切れアラーム

判定日時：2014/10/02 16:10:49

発生日時：2014/10/02 16:10:46

グループ：root-アジア-日本

機器名称：移動体 100(CAR100)

燃料(int1)：5L

URL にアクセスして詳細を確認してください。

[https:// mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3](https://mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3)

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

以上です。

15. 5. 3. 2 通知テンプレート：発生通知用(Type-2)

記載の凡例：

- 黒文字 → テンプレートの固定文字列
- 青太文字 → 機器、アラーム毎に異なる文字列
- 赤太文字 → 時刻、データポイントの値など発生状況により異なる文字列

Subject: 【発生】アラーム通知について

担当者様

以下のアラームが発生しましたので、ご報告いたします。

アラーム名称：燃料切れアラーム

判定日時：2014/10/02 16:10:49

発生日時：2014/10/02 16:10:46

グループ：root-アジア-日本

機器名称：移動体 100(CAR100)

燃料(int1)：5L

URL にアクセスして詳細を確認してください。

[https:// mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3](https://mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3)

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

以上です。

15. 5. 3. 3 通知テンプレート : Occurrence notification(Type-1)

記載の凡例 :

- 黒文字 → テンプレートの固定文字列
- 青太文字 → 機器、アラーム毎に異なる文字列
- 赤太文字 → 時刻、データポイントの値など発生状況により異なる文字列

Subject: [Occurrence]Alarm notification from MMCloud

Dear user,

An alarm has been reported as following.

Alarm Name: **低温異常アラーム2**

Detection Date/Time: **2014/10/02 16:15:01**

Occurrence Date/Time: **2014/10/02 16:14:57**

Group: **root-アジア-日本**

Device Name: **移動体 100(CAR100)**

Fuel(decimal1) : 6.26448L

For more information please follow the link below.

[https:// mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3](https://mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3)

Please do not reply to this email.

This is a send-only address, and replies to this email cannot be responded.

15. 5. 3. 4 通知テンプレート : Occurrence notification(Type-2)

記載の凡例 :

- 黒文字 → テンプレートの固定文字列
- 青太文字 → 機器、アラーム毎に異なる文字列
- 赤太文字 → 時刻、データポイントの値など発生状況により異なる文字列

Subject: [Occurrence]Alarm notification

Dear user,

An alarm has been reported as following.

Alarm Name: **低温異常アラーム2**

Detection Date/Time: **2014/10/02 16:15:01**

Occurrence Date/Time: **2014/10/02 16:14:57**

Group: **root-アジア-日本**

Device Name: **移動体 100(CAR100)**

Fuel(decimal1) : 6.26448L

For more information please follow the link below.

[https:// mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3](https://mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3)

Please do not reply to this email.

This is a send-only address, and replies to this email cannot be responded.

15. 5. 3. 5 通知テンプレート：復帰通知用(Type-1)

記載の凡例：

- 黒文字 → テンプレートの固定文字列
- 青太文字 → 機器、アラーム毎に異なる文字列
- 赤太文字 → 時刻、データポイントの値など発生状況により異なる文字列

Subject: 【復帰】MMCloud のアラーム通知について

担当者様

MMCloud からのお知らせです。

以下のアラームが復帰しましたので、ご報告いたします。

アラーム名称：燃料切れアラーム

判定日時：2014/10/02 16:10:28

発生日時：2014/10/02 16:09:53

復帰日時：2014/10/02 16:10:25

グループ：root-アジア-日本

機器名称：移動体 100(CAR100)

燃料(int1)：94L

URL にアクセスして詳細を確認してください。

[https:// mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3](https://mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3)

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

以上です。

15. 5. 3. 6 通知テンプレート：復帰通知用(Type-2)

記載の凡例：

- 黒文字 → テンプレートの固定文字列
- 青太文字 → 機器、アラーム毎に異なる文字列
- 赤太文字 → 時刻、データポイントの値など発生状況により異なる文字列

Subject: 【復帰】アラーム通知について

担当者様

以下のアラームが復帰しましたので、ご報告いたします。

アラーム名称：燃料切れアラーム

判定日時：2014/10/02 16:10:28

発生日時：2014/10/02 16:09:53

復帰日時：2014/10/02 16:10:25

グループ：root-アジア-日本

機器名称：移動体 100(CAR100)

燃料(int1)：94L

URL にアクセスして詳細を確認してください。

[https:// mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3](https://mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3)

このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

このアドレスに返信頂いてもお答えできませんのでご了承ください。

以上です。

15. 5. 3. 7 通知テンプレート : Recovery notification(Type-1)

記載の凡例 :

- 黒文字 → テンプレートの固定文字列
- 青太文字 → 機器、アラーム毎に異なる文字列
- 赤太文字 → 時刻、データポイントの値など発生状況により異なる文字列

Subject: [Recovery]Alarm notification from MMCloud

Dear user,

A recovery from an alarm has been reported as following.

Alarm Name: **低温異常アラーム2**

Detection Date/Time: **2014/10/02 16:15:01**

Occurrence Date/Time: **2014/10/02 16:14:57**

Recovery Date/Time: **2014/10/02 17:23:13**

Group: **root-アジア-日本**

Device Name: **移動体 100(CAR100)**

Fuel(decimal1) : 6.26448L

For more information please follow the link below.

[https:// mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3](https://mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3)

Please do not reply to this email.

This is a send-only address, and replies to this email cannot be responded.

15. 5. 3. 8 通知テンプレート : Recovery notification(Type-2)

記載の凡例 :

- 黒文字 → テンプレートの固定文字列
- 青太文字 → 機器、アラーム毎に異なる文字列
- 赤太文字 → 時刻、データポイントの値など発生状況により異なる文字列

Subject: [Recovery]Alarm notification

Dear user,

A recovery from an alarm has been reported as following.

Alarm Name: **低温異常アラーム2**

Detection Date/Time: **2014/10/02 16:15:01**

Occurrence Date/Time: **2014/10/02 16:14:57**

Recovery Date/Time: **2014/10/02 17:23:13**

Group: **root-アジア-日本**

Device Name: **移動体 100(CAR100)**

Fuel(decimal1) : 6.26448L

For more information please follow the link below.

[https:// mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3](https://mmcloud.jp/MMCloudWeb/?pageid=A01-0070&deviceSid=3)

Please do not reply to this email.

This is a send-only address, and replies to this email cannot be responded.

15. 6 CSV ファイルの出力

[機器一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれた機器の情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。



検索条件: CSV (選択), 取込, 新規作成

総件数: 8 件 表示件数: 20

機器ID	機器名称	バージョン	シリアルNo	型番名称	通信プロファイル名称	所属グループ	位置取得区分	住所	タイムゾーン
DataServer	データサーバ	1.00	DBS-2016-001	Windowsサーバ	Windowsサーバプロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
HydrogenStation001	水素ステーション001	1.0	Hydro-001	水素ステーション	水素ステーション	ALL-安川商社-本社	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Dacca
LCarbon	活性炭フィルタ	1.0	LC123-001	LC123	LC123プロファイル	ALL-安川商社-NY支店	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Mobile001	移動体001	1.0	MB-0001	MMLink-3G	MMLink-3Gプロファイル	ALL-安川情報-タイ...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Dubai
Thermometer001	温度センサ1	1.0	Thermo-1-001	保冷重2t	冷凍車プロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer002	温度センサ2	1.0	Thermo-1-002	保冷重2t	冷凍車プロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer003	温度センサ3	1.0	Thermo-1-003	保冷重4t	冷凍車プロファイル(4t)	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer004	温度センサ4	1.0	Thermo-1-004	保冷重4t	冷凍車プロファイル(4t)	ALL-安川情報-本社...	データポイントより...	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo

15. 7 CSV ファイルの取り込み

[機器一覧]画面内の<取込>をクリックすると、CSV ファイルを取り込むことができます。取り込むことができる CSV ファイルのフォーマットは、出力されるファイルと同じ形式です。CSV ファイルの取り込みに関する詳細は、第 5.5 章、及び付録 1.4.10 をご参照ください。





検索条件: CSV, 取込 (選択), 新規作成

総件数: 8 件 表示件数: 20

機器ID	機器名称	バージョン	シリアルNo	型番名称	通信プロファイル名称	所属グループ	位置取得区分	住所	タイムゾーン
DataServer	データサーバ	1.00	DBS-2016-001	Windowsサーバ	Windowsサーバプロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
HydrogenStation001	水素ステーション001	1.0	Hydro-001	水素ステーション	水素ステーション	ALL-安川商社-本社	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Dacca
LCarbon	活性炭フィルタ	1.0	LC123-001	LC123	LC123プロファイル	ALL-安川商社-NY支店	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Mobile001	移動体001	1.0	MB-0001	MMLink-3G	MMLink-3Gプロファイル	ALL-安川情報-タイ...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Dubai
Thermometer001	温度センサ1	1.0	Thermo-1-001	保冷重2t	冷凍車プロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer002	温度センサ2	1.0	Thermo-1-002	保冷重2t	冷凍車プロファイル	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer003	温度センサ3	1.0	Thermo-1-003	保冷重4t	冷凍車プロファイル(4t)	ALL-安川情報-本社...	機器情報より取得	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo
Thermometer004	温度センサ4	1.0	Thermo-1-004	保冷重4t	冷凍車プロファイル(4t)	ALL-安川情報-本社...	データポイントより...	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-...	Tokyo








第 16 章 お知らせ一覧／お知らせ情報

MMCloud/Y's-Cloud の使用ユーザへ各種連絡を通知するために、[ホーム]画面に「システム管理者からのお知らせ」欄があります。お知らせの情報は[お知らせ ]から  をクリックし、[お知らせ情報]で入力／閲覧／変更します。

16.1 お知らせ一覧 画面の構成

[お知らせ一覧]画面は以下の要素で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	お知らせ種別、公開区分などで検索するお知らせを絞り込みます。
		操作	 詳細設定 をクリックすると、更に詳細の検索条件を設定できます。
②	CSV 出力	操作	お知らせ種別、お知らせ内容などのデータの CSV ファイル出力を行います。ただし、出力は 10,000 行までです。
③	新規追加	操作	 新規作成 をクリックすると、新規お知らせ作成のための[お知らせ情報]画面を表示します。
④	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※デフォルトは"20"です。
		操作	また、  <先頭ページ> /  <1 つ前のページ> /  <1 つ先のページ> /  <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
⑤	一覧エリア	表示	お知らせ種別、お知らせ内容などの一覧を表示します。
		操作	 をクリックすることで、[お知らせ情報]画面に遷移し、お知らせに設定された情報を閲覧／変更できます。


16.2 お知らせ情報の新規追加

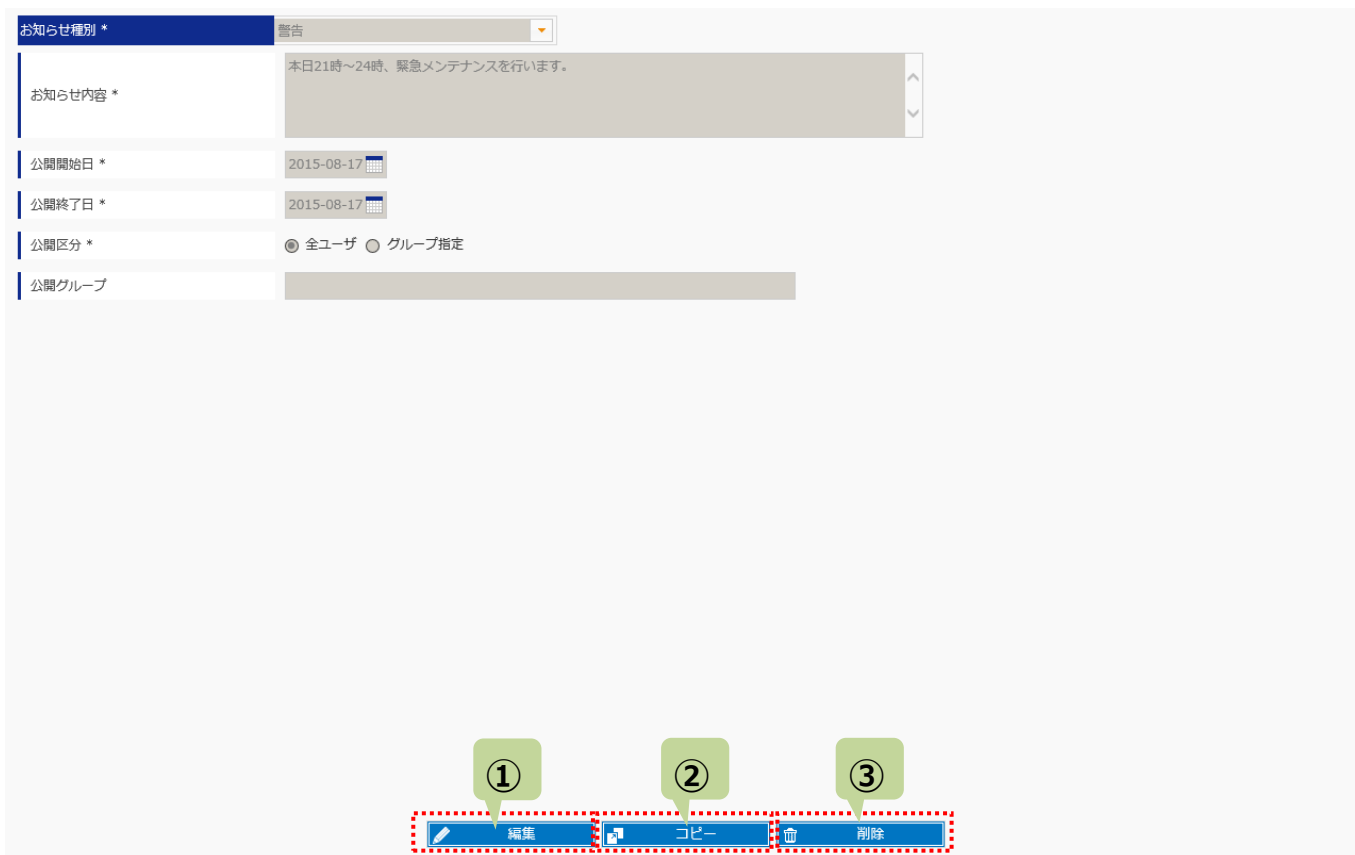
[お知らせ一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[お知らせ情報]画面に遷移します。
この画面でお知らせの新規作成が行えます。

画面上*がついている項目は、入力必須な項目です。

領域	項目名	属性	説明
①	お知らせ種別	操作	通知する内容の種別を選択します。以下の種別から選択可能です。 "通常"/"警告"/"重要" ※デフォルトは"通常"です。
②	お知らせ内容	入力	通知する内容を 256 文字以内で入力します。
③	公開期間	操作	開始と終了の日付を選択し、通知の掲載期間を決めます。 ※デフォルトは空白です。 ※標準時を基準とします。
④	公開区分	操作	お知らせを公開する範囲を以下から選択します。 "全ユーザ"/"グループ指定" ※"グループ指定"を選択した場合、ルートグループのユーザにはお知らせは公開されません。
⑤	公開グループ	操作	公開区分が"グループ指定"の場合、公開するグループを選択します。
⑥	保存	操作	通知を保存します。公開期間になると自動で掲載されます。
⑦	キャンセル	操作	通知の登録をキャンセルします。

16.3 お知らせ情報の参照/変更/削除

[お知らせ一覧]画面内の  をクリックすると、[お知らせ情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。



お知らせ種別 * 警告

お知らせ内容 * 本日21時~24時、緊急メンテナンスを行います。

公開開始日 * 2015-08-17

公開終了日 * 2015-08-17

公開区分 * 全ユーザ グループ指定

公開グループ


① 編集 ② コピー ③ 削除

また、以下のボタンのクリックでお知らせ情報を操作できます。

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	お知らせ情報を変更します。
②	コピー	操作	お知らせの設定をコピーし、新規お知らせを作成します。
③	削除	操作	お知らせを削除します。 ※公開期間中のお知らせを削除した場合、ホーム画面に表示されなくなります。

16.4 CSV出力

[お知らせ一覧]画面内の<CSV>をクリックすると、検索条件で絞り込まれた配信データの情報を CSV 形式で出力します。CSV ファイルの出力に関する詳細は、第 5.4 章、及び付録 1 をご参照ください。



The screenshot shows the MMCloud interface with search filters and a table of notices. The 'CSV' button in the search conditions section is highlighted with a red dashed box. The table below shows the data that would be exported.

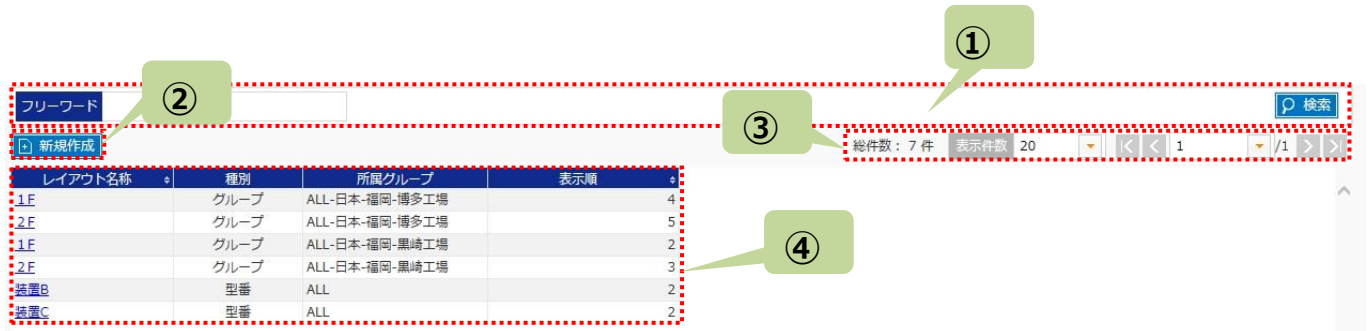
参照	お知らせ種別	お知らせ内容	公開開始日	公開終了日	公開区分	公開グループ	公開状態
	警告	2016/03/26 (土) 10:00~13:00に、...	2016/03/23	2016/03/26	全ユーザ	-	公開中
	重要	本日18時から、緊急メンテナンスを實...	2016/03/23	2016/03/23	全ユーザ	-	公開中
	通常	2016/04/29--05/08, the head offic...	2016/03/21	2016/05/08	グループ指定	ALL-安川商社-NY支店	公開中

第 17 章 レイアウト一覧/レイアウト情報/表示項目情報

<設定>⇒<レイアウト一覧>からレイアウトの一覧を確認できます。[レイアウト一覧]から“レイアウト名称”の該当セルをクリックすると[レイアウト情報]画面に遷移します。[レイアウト情報]画面で各レイアウトの情報を入力/参照/変更します。

17.1 レイアウト一覧 画面の構成

[レイアウト一覧]画面は以下の要素で構成されています。



領域	項目名	属性	説明
①	検索条件エリア	入力	フリーワードで検索するレイアウトを絞り込みます。
		操作	
②	新規追加	操作	新規作成 をクリックすると、新規レイアウト作成のための[レイアウト情報]画面を表示します。
③	表示件数	表示	検索結果の総件数を表示します。 一覧表の 1 ページ分の表示件数を以下から選択します。 "10"/"20"/"50"/"100"/"200" ※デフォルトは"20"です。
		操作	また、 <先頭ページ> / <1 つ前のページ> / <1 つ先のページ> / <最終ページ> を押下するか、またはプルダウンから選択することにより、表示するページを指定できます。
④	一覧エリア	表示	レイアウト名称、レイアウト種別などの一覧を表示します。 “レイアウト名称”をクリックすることで、[レイアウト情報]画面に遷移し、レイアウトの情報を閲覧/変更できます。

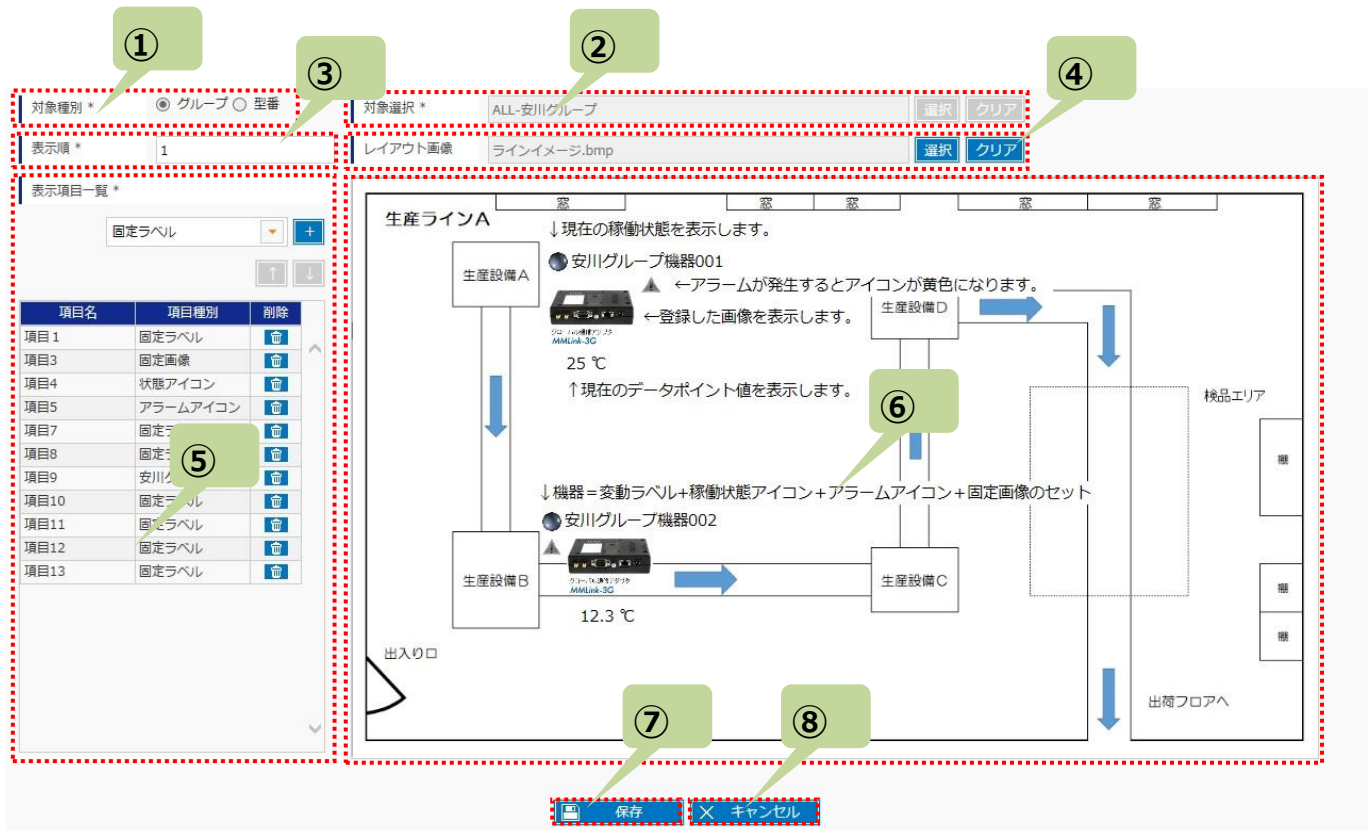
17.2 レイアウトの新規追加

[レイアウト一覧]画面から、**新規作成** をクリックすることで、[レイアウト情報]画面に遷移します。







本画面でレイアウトの新規作成が行えます。

[レイアウト情報]画面から“項目名”もしくは、“項目種別”をクリックすると[表示項目情報]画面に遷移します。

[表示項目情報]画面で各表示項目の情報を入力/閲覧/変更します。



領域	項目名	属性	説明
①	対象種別	操作	レイアウトがグループに紐づくものか、型番に紐づくものかを選択します。
②	対象選択	操作	選択 をクリックすると、レイアウトを紐づけるための対象を選択します。 “対象種別”で“グループ”を選択している場合は、選択ダイアログにグループの一覧を表示します。“型番”を選択している場合は、選択ダイアログに型番の一覧を表示します。 クリア をクリックすると、現在選択している対象をクリアします。
③	表示順	入力	[レイアウト監視]画面に表示する順番を入力します。
④	レイアウト画像	操作	選択 をクリックすると、レイアウトの背景画像を選択できます。 レイアウト画像は、“対象選択”で対象を選択するまでは設定できません。 クリア をクリックすると、現在選択しているレイアウト画像をクリアします。 ※レイアウト画像の拡張子は jpg/jpeg/bmp/gif/png のみ登録可能です。

			<p>※ファイルサイズの上限は 10Mbyte です。</p> <p>※推奨のタテ×ヨコ比は 3 : 5 です。推奨の比率でない場合、確認メッセージが表示されます。</p>
⑤	表示項目一覧	操作	<p>レイアウト配置エリアに表示する表示項目の閲覧/追加/変更できます。</p> <p> をクリックすると、プルダウンで選択している項目が、一覧とレイアウト配置エリアに追加されます。</p> <p> をクリックすると、一覧の表示が 1 行下がります。</p> <p> をクリックすると、一覧の表示が 1 行上がります。</p> <p> をクリックすると、選択行の項目が一覧とレイアウト配置エリアから削除されます。</p> <p>※一覧での表示はレイアウト配置領域で表示項目が重なった際の表示順に影響します。一覧で下の行にある項目ほど、表示項目が重なったとき、上に表示されます。</p>
⑥	レイアウト配置 エリア	操作	<p>表示項目一覧で追加した表示項目を自由に配置できます。</p> <p>表示項目をドラックすることでレイアウト配置エリア内を移動させることができます。配置したい位置で表示項目をドロップすると表示項目を配置できます。</p>
⑦	保存	操作	<p> 保存 をクリックすると、上記で設定した内容でレイアウトを登録します。</p>
⑧	キャンセル	操作	<p> キャンセル をクリックすると、上記で設定した内容を破棄し、[レイアウト一覧]画面へ遷移します。</p>

レイアウトに設定できる表示項目の一覧と説明を下記に示します。

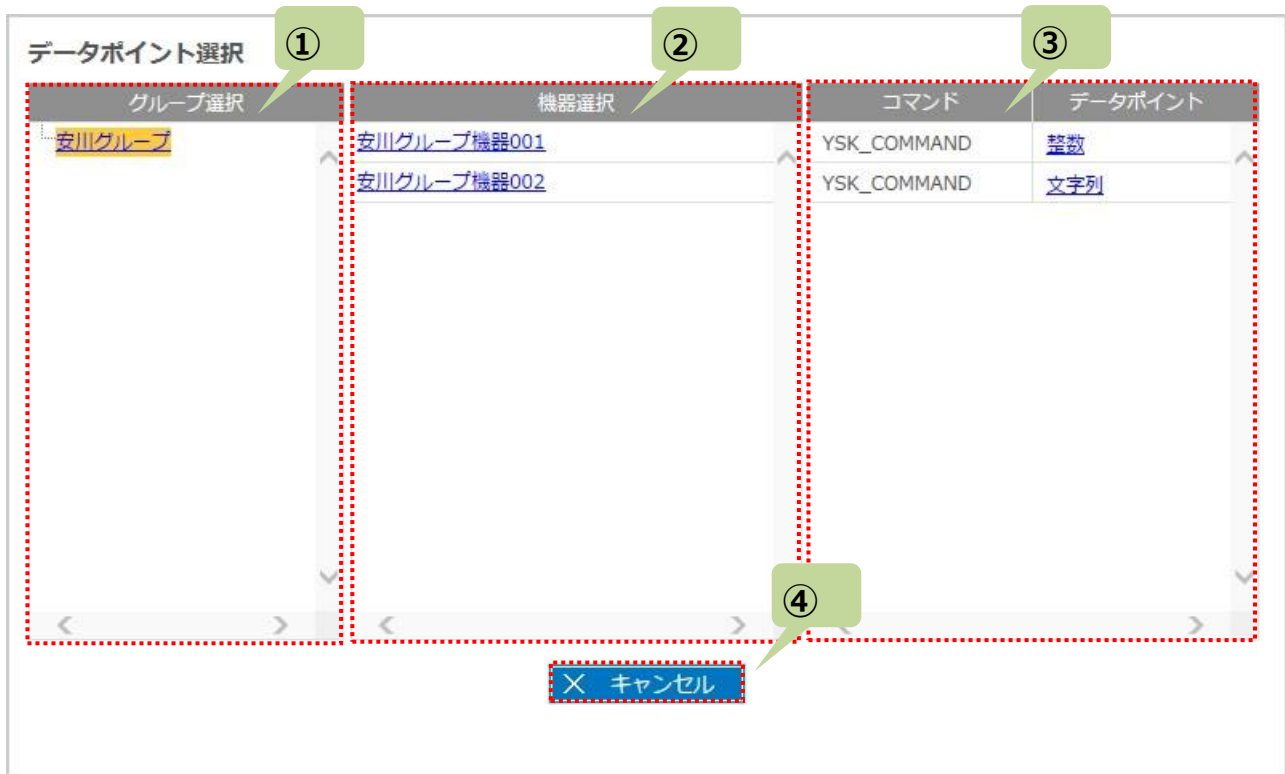
表示項目名	説明
固定ラベル	固定長の文字列を設定できます。文字列の色と文字列の背景色を設定できます。
変動ラベル	通信プロファイルで設定したデータポイントの最新値を表示するラベルを設定できます。
固定画像	<p>画像ファイルを設定できます。</p> <p>※固定画像の拡張子は jpg/jpeg/bmp/gif/png のみ登録可能です。</p>
状態アイコン	機器の現在の稼働状態を表すアイコンを設定できます。機器の稼働状態は、[機器情報]画面で設定した機器の稼働状態と連動します。
アラームアイコン	機器にアラームが発生した際に表示されるアイコンを設定できます。
機器	<p>固定画像、変動ラベル、状態アイコン、アラームアイコンを 1 セットとした項目を設定できます。</p> <p>レイアウトに機器を設定した後、[機器情報]画面から機器削除した場合、下記の動作をします。</p> <p>[レイアウト情報]画面：表示項目一覧の項目名に「削除済み(N)」と表示されます。</p> <p>※(N)はシステムが自動的に採番した内部処理用の数値</p> <p>[レイアウト監視]画面：機器が表示されなくなります。</p>

17.2.1 変動ラベルの新規追加

[レイアウト情報]画面の“表示項目一覧”で変動ラベルを選択し、**+** をクリックすると、下記のデータポイント選択ダイアログが表示されます。データポイントを選択し、レイアウトに表示するデータを設定してください。

17.2.1.1 対象種別がグループの場合

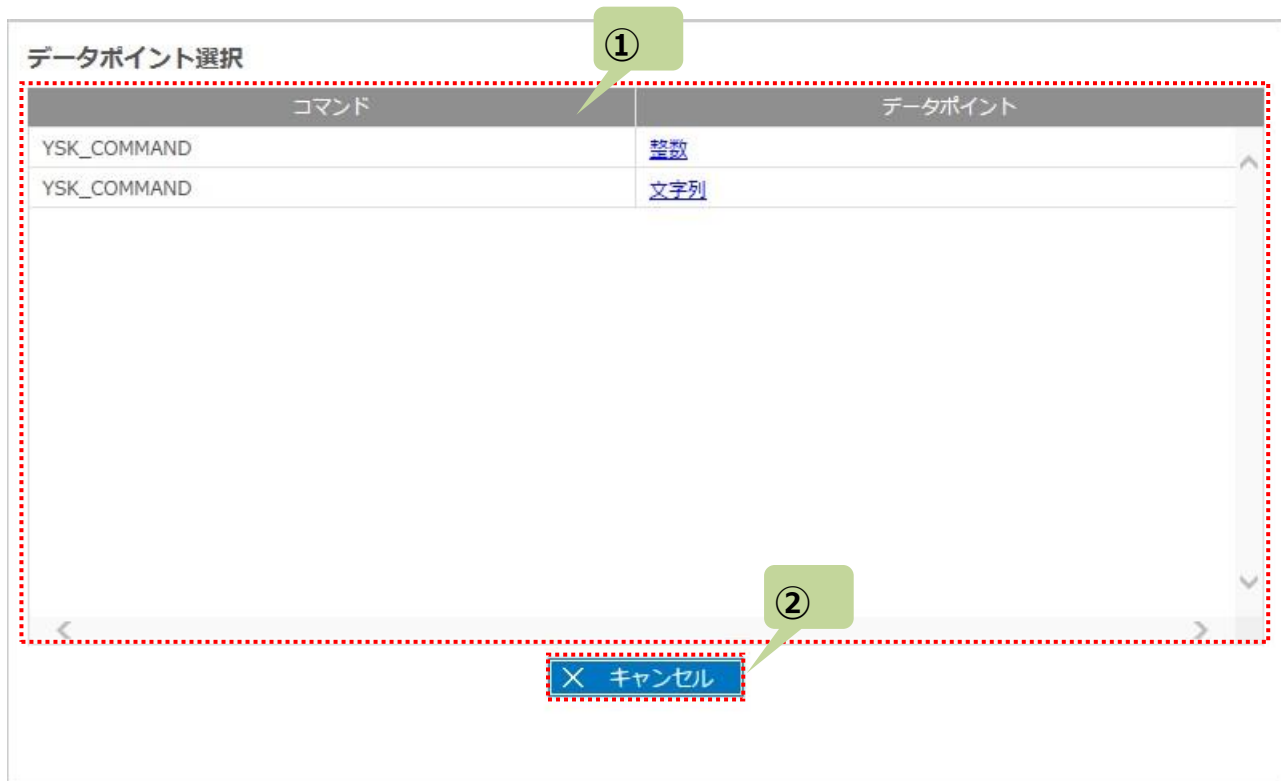
“対象種別”でグループを選択している場合は、下記のダイアログが表示されます。



領域	項目名	属性	説明
①	グループ選択	操作	“対象選択”で選択したグループ配下のグループ一覧を表示します。グループ名をクリックすると、“機器選択”に選択したグループに紐づく機器の一覧を表示します。
②	機器選択	操作	“グループ選択”で選択したグループに紐づく機器の一覧を表示します。機器名称をクリックすると、“コマンド”、“データポイント”に機器の通信プロファイルに紐づくコマンド名称とデータポイント名称の一覧を表示します。
③	コマンド/データポイント	操作	“機器選択”で選択した機器に紐づく通信プロファイルのコマンド名称とデータポイント名称の一覧を表示します。データポイント名称をクリックすると、変動ラベルに表示するデータポイントを設定します。
④	キャンセル	操作	データポイント選択ダイアログを閉じます。

17.2.1.2 対象種別が型番の場合

“対象種別”でグループを選択している場合は、下記のダイアログが表示されます。



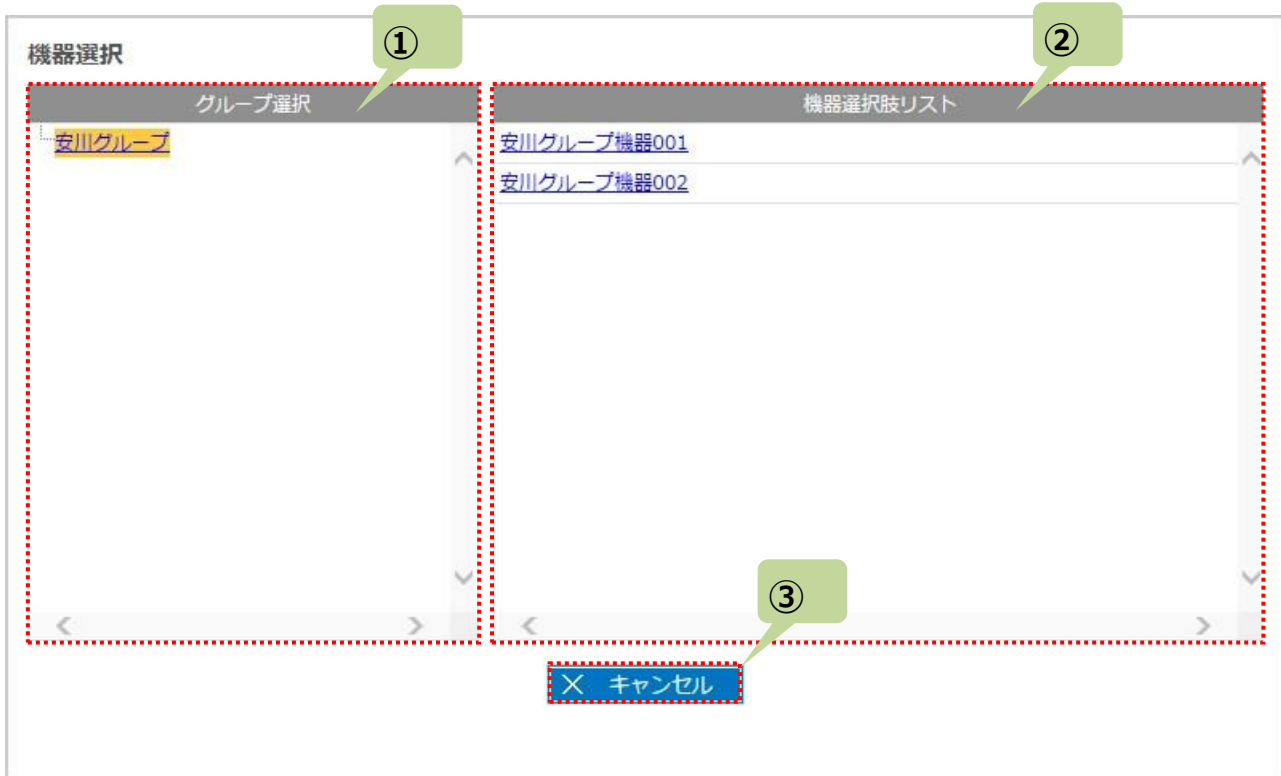
領域	項目名	属性	説明
①	コマンド/データポイント	操作	“対象選択”で選択した型番に紐づく通信プロファイルのコマンド名称とデータポイント名称を一覧表示します。データポイント名称をクリックすると、変動ラベルに表示するデータポイントを設定します。
②	キャンセル	操作	データポイント選択ダイアログを閉じます。

17.2.2 状態アイコンの新規追加

[レイアウト情報]画面の“表示項目一覧”で状態アイコンを選択し、 をクリックすると、下記の機器選択ダイアログが表示されます。機器を選択し、レイアウトに表示するデータを設定してください。

17.2.2.1 対象種別がグループの場合

“対象種別”でグループを選択している場合は、下記のダイアログが表示されます。




領域	項目名	属性	説明
①	グループ選択	操作	“対象選択”で選択したグループ配下のグループ一覧を表示します。グループ名をクリックすると、“機器選択肢リスト”に、選択したグループに紐づく機器の一覧を表示します。
②	機器選択肢リスト	操作	“グループ選択”で選択したグループに紐づく機器の一覧を表示します。機器名称をクリックすると、クリックした機器の稼働状態を、状態アイコンで表示します。

17.2.2.2 対象種別が型番の場合

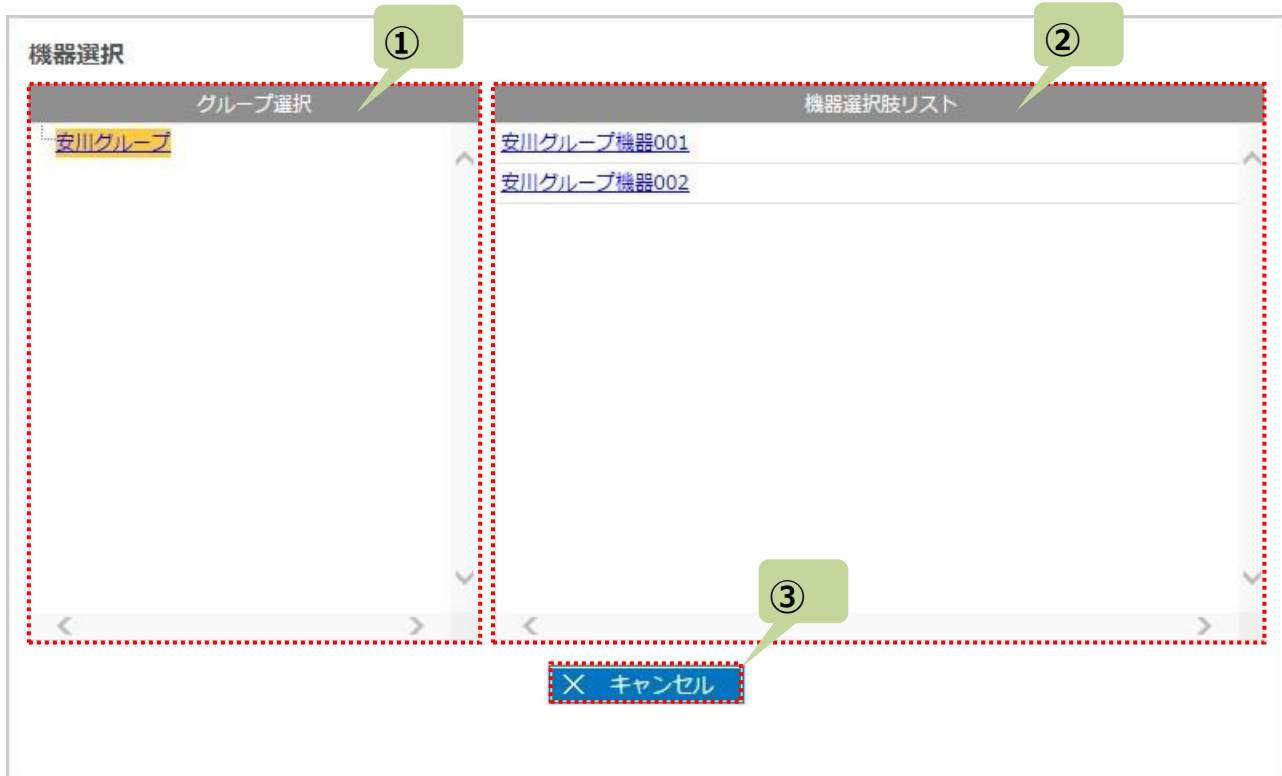
“対象種別”で型番を選択している場合は、機器選択ダイアログは表示されません。

17.2.3 アラームアイコンの新規追加

[レイアウト情報]画面の“表示項目一覧”でアラームアイコンを選択し、 をクリックすると、下記の機器選択ダイアログが表示されます。機器を選択し、レイアウトに表示するデータを設定してください。

17.2.3.1 対象種別がグループの場合

“対象種別”でグループを選択している場合は、下記のダイアログが表示されます。



領域	項目名	属性	説明
①	グループ選択	操作	“対象選択”で選択したグループ配下のグループ一覧を表示します。グループ名をクリックすると、“機器選択肢リスト”に、選択したグループに紐づく機器の一覧を表示します。
②	機器選択肢リスト	操作	“グループ選択”で選択したグループに紐づく機器の一覧を表示します。機器名称をクリックすると、クリックした機器のアラーム状況を、アラームアイコンで表示します。

17.2.3.2 対象種別が型番の場合

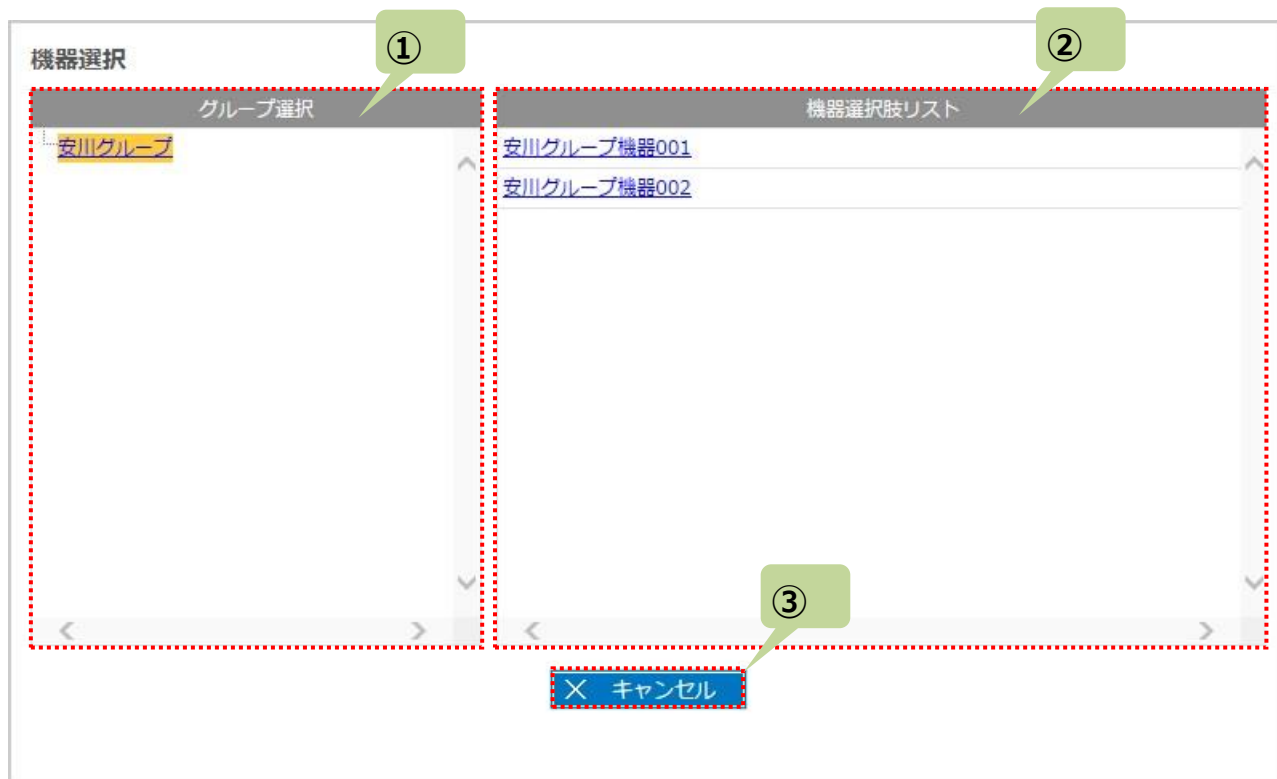
“対象種別”で型番を選択している場合は、機器選択ダイアログは表示されません。

17.2.4 機器の新規追加

[レイアウト情報]画面の“表示項目一覧”で機器を選択し、**+** をクリックすると、下記の機器選択ダイアログが表示されます。機器を選択し、レイアウトに表示するデータを設定してください。

17.2.4.1 対象種別がグループの場合

“対象種別”でグループを選択している場合は、下記のダイアログが表示されます。



領域	項目名	属性	説明
①	グループ選択	操作	“対象選択”で選択したグループ配下のグループ一覧を表示します。グループ名をクリックすると、“機器選択肢リスト”に、選択したグループに紐づく機器の一覧を表示します。
②	機器選択肢リスト	操作	“グループ選択”で選択したグループに紐づく機器名称の一覧を表示します。機器名称をクリックすると、クリックした機器の稼働状態/アラーム/データポイント値をレイアウトに表示します。

17.2.3.2 対象種別が型番の場合

“対象種別”で型番を選択している場合は、機器の追加は行えません。

17.3 レイアウト情報の参照/変更/削除

[レイアウト一覧]：“レイアウト名称”の該当セルをクリックすると、[レイアウト情報]画面に遷移します。
この[レイアウト情報]画面で設定内容を参照/変更/削除できます。

The screenshot displays the 'レイアウト情報' (Layout Information) management screen. At the top, there is a search bar and a table listing layouts. The table has columns for 'レイアウト名称' (Layout Name), '種別' (Type), '所属グループ' (Group), and '表示順' (Display Order). A red dashed box highlights the first four rows, and a red arrow points from the first row to the main layout diagram below.

The main layout diagram, titled '生産ラインA', shows a flow of production equipment: 生産設備A (Machine 001), 生産設備B (Machine 002), 生産設備C, and 生産設備D. It includes temperature readings (25 °C and 12.3 °C) and status icons. Callout 1 points to the '項目名' and '項目種別' columns in the left-hand list. Callout 2 points to the '編集' (Edit) button at the bottom, and callout 3 points to the '削除' (Delete) button.

領域	項目名	属性	説明
①	項目名/項目種別	操作	リンク表示となっている“項目名”、“項目種別”をクリックすると[表示項目情報]画面へ遷移し各表示項目の詳細を設定できます。
②	編集	操作	レイアウト情報を変更します。以下の項目以外は変更可能です。 “対象種別”/“対象選択”
③	削除	操作	レイアウト情報を削除します。

17.4 表示項目情報の参照/変更

[レイアウト情報]：“項目名”もしくは“項目種別”の該当セルをクリックすると、[表示項目情報]画面に遷移します。
この[表示項目情報]画面でレイアウトに配置する表示項目の詳細を参照/変更できます。

対象種別 * グループ 型番 | 対象選択 * ALL-安川グループ | 選択 | クリア

表示順 * 1 | レイアウト画像 ラインイメージ.bmp | 選択 | クリア

表示項目一覧 *

項目名	項目種別	削除
項目1	固定ラベル	
項目3	固定画像	
項目4	状態アイコン	
項目5	アラームアイコン	
項目7	固定ラベル	
項目8	固定ラベル	
項目9	安川グループ型	
項目10	固定ラベル	
項目11	固定ラベル	
項目12	固定ラベル	
項目13	固定ラベル	

生産ラインA

↓現在の稼働状態を表示します。
安川グループ機器001
←アラームが発生するとアイコンが黄色になります。
←登録した画像を表示します。
25 °C
↑現在のデータポイント値を表示します。

↓機器=変動ラベル+稼働状態アイコン+アラームアイコン+固定画像のセット
安川グループ機器002
12.3 °C

検査エリア
出荷フロアへ

編集 | 削除

項目名称 * 項目1 | 項目1

項目種別 * 固定ラベル

表示テキスト * 項目1

文字サイズ * 大 中 小

文字色 *


背景色 * 指定なし

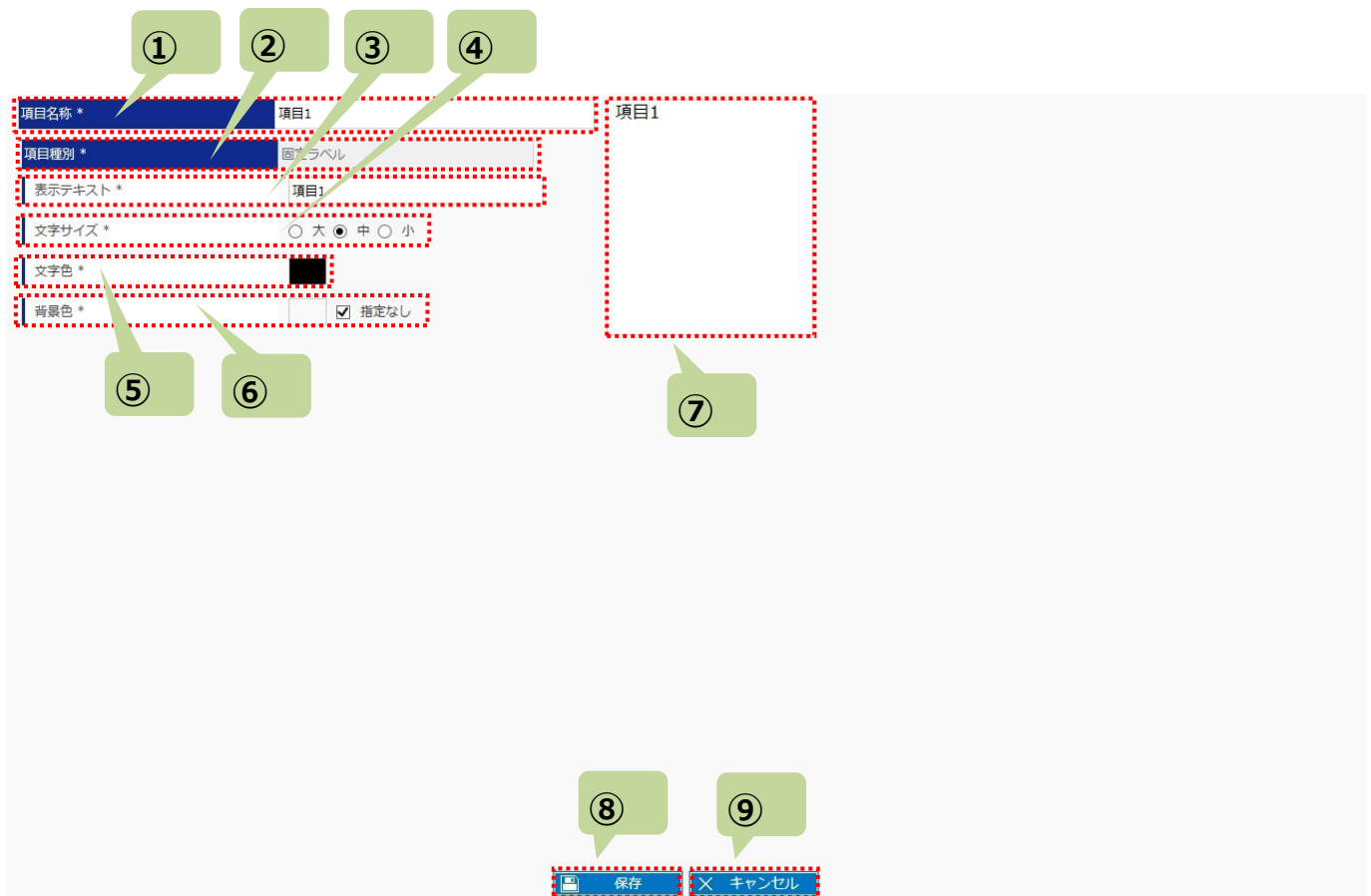
①

編集

領域	項目名	属性	説明
①	編集	操作	各表示項目の詳細を設定できます。各表示項目の内容は第 17.4.1 章以降を参照ください。


17.4.1 固定ラベルの変更

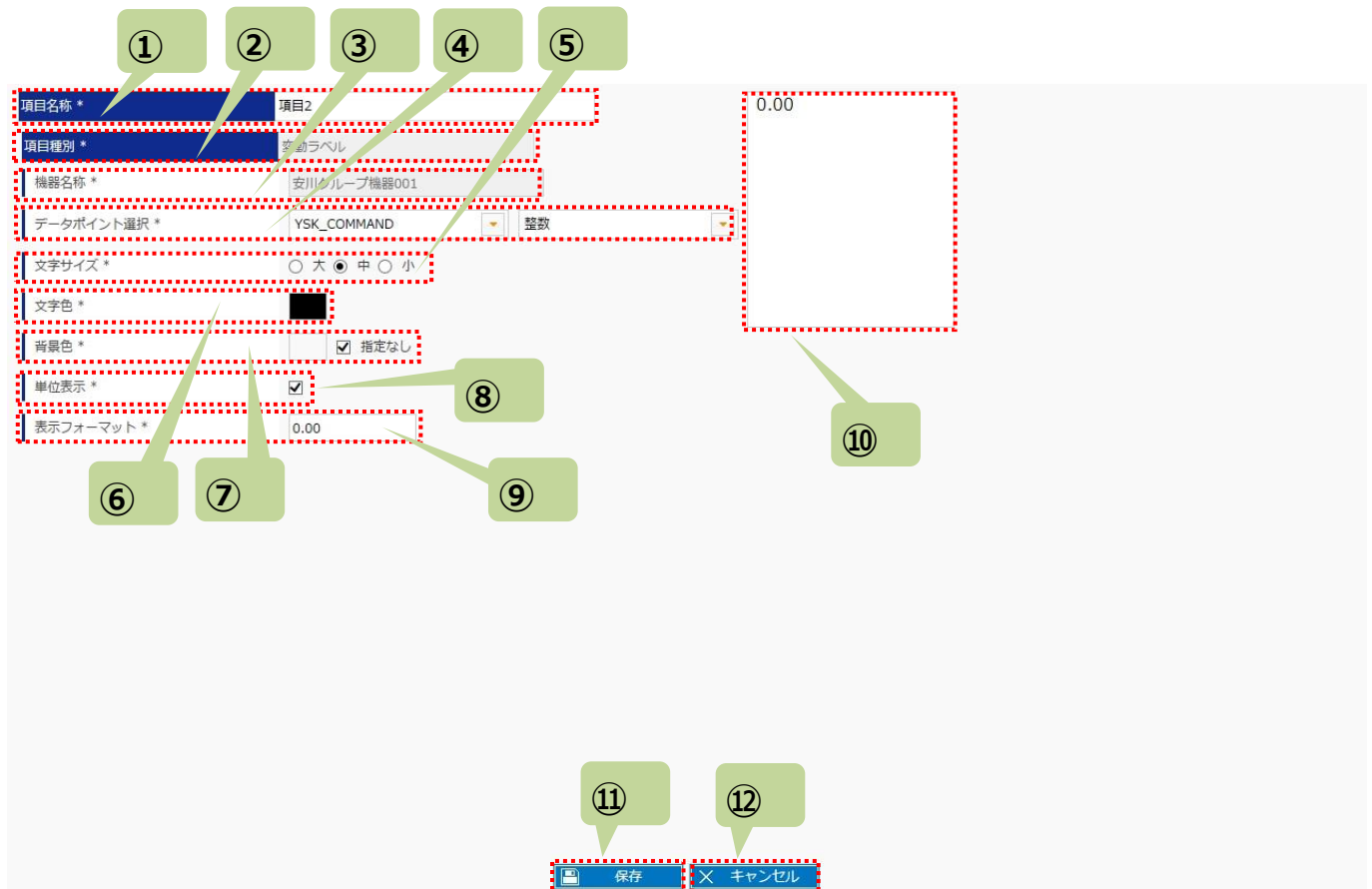
[レイアウト情報]画面より、“固定ラベル”の項目名をクリックすると、[表示項目情報]画面へ遷移します。[表示項目情報]画面の  をクリックすることで、固定ラベルの詳細情報を変更できます。



領域	項目名	属性	説明
①	項目名称	入力	[レイアウト情報]画面で表示項目を識別するための名称を変更できます。 ※入力可能な文字数は 256 文字までです。
②	項目種別	表示	表示項目の種別を表示します。本項目は変更できません。
③	表示テキスト	入力	レイアウトに表示するラベルの文字列を変更できます。 ※入力可能な文字数は 256 文字までです。
④	文字サイズ	操作	レイアウトに表示する文字の大きさを、大/中/小の中から 1 つ選択できます。初期設定は“中”です。
⑤	文字色	操作	レイアウトに表示する文字の色を変更できます。初期設定は“黒”です。
⑥	背景色	操作	レイアウトに表示する文字の背景色を変更できます。“指定なし”にチェックが入っている場合は、背景色を設定しません。初期設定は“指定なし”です。
⑦	プレビュー	表示	レイアウトに表示する固定ラベルのサンプルを表示します。
⑧	保存	操作	上記で設定した内容で固定ラベルの情報を登録します。
⑨	キャンセル	操作	処理を中断します。入力した内容は破棄され、編集を行う前の設定情報を表示します。

17.4.2 変動ラベルの変更


[レイアウト情報]画面より、“変動ラベル”の項目名をクリックすると、[表示項目情報]画面へ遷移します。[表示項目情報]画面の  をクリックすることで、変動ラベルの詳細情報を変更できます。

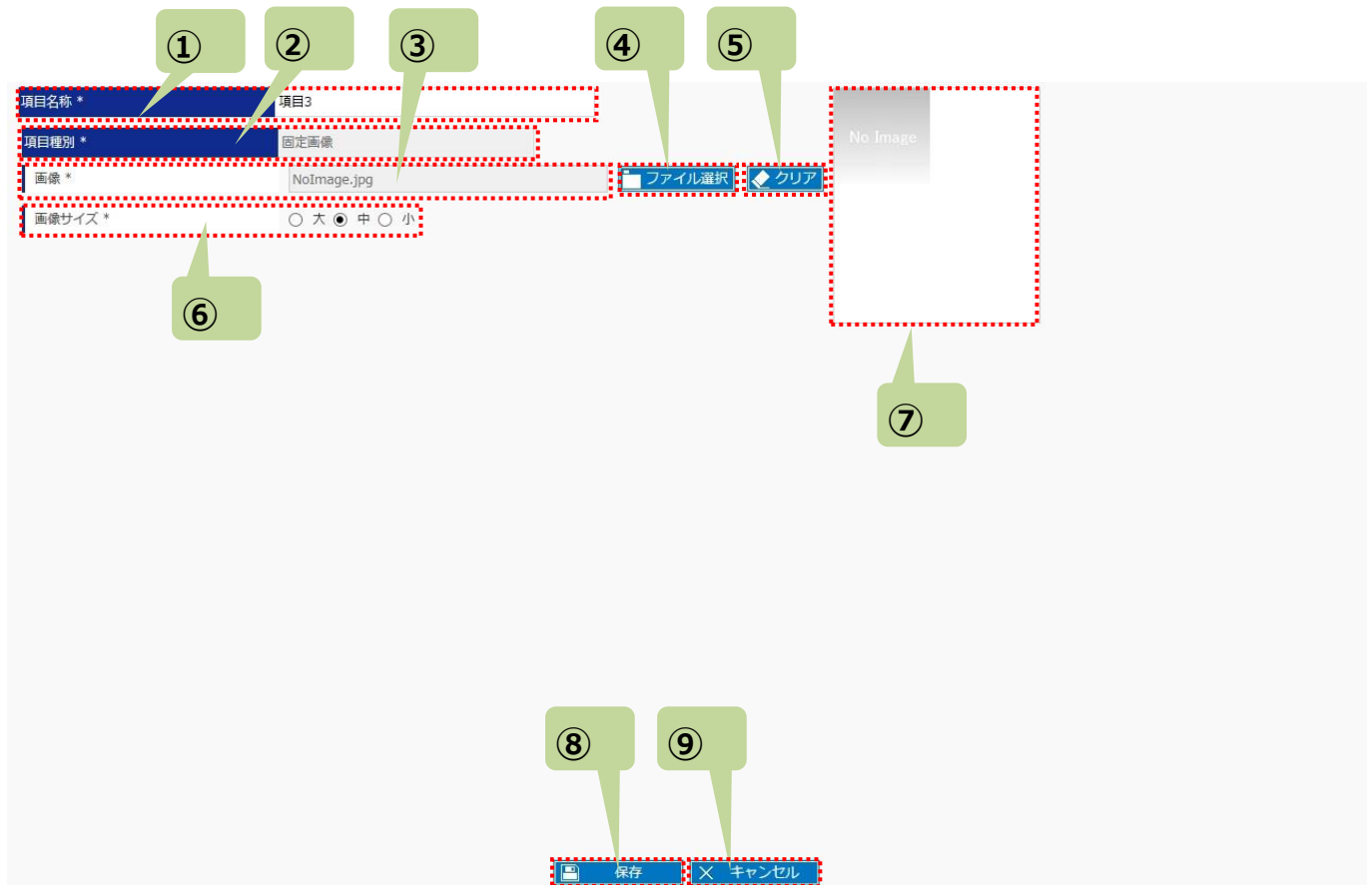


領域	項目名	属性	説明
①	項目名称	入力	[レイアウト情報]画面で表示項目を識別するための名称を変更できます。 ※入力可能な文字数は256文字までです。
②	項目種別	表示	表示項目の種別を表示します。本項目は変更できません。
③	機器名称	表示	[レイアウト情報]画面で選択した機器の名称を表示します。本項目は変更できません。
④	データポイント 選択	操作	変動ラベルに表示するデータポイントを選択します。[レイアウト情報]画面で選択した機器に紐づく通信プロファイルのコマンドとデータポイントをプルダウンで選択します。
⑤	文字サイズ	操作	レイアウトに表示する文字の大きさを、大/中/小の中から1つ選択できます。初期設定は“中”です。
⑥	文字色	操作	レイアウトに表示する文字の色を変更できます。初期設定は“黒”です。
⑦	背景色	操作	レイアウトに表示する文字の背景色を変更できます。“指定なし”にチェックが入っている場合は、背景色を設定しません。(背景は透明です) 初期設定は“指定なし”です。

⑧	単位表示	操作	レイアウトに表示するデータポイントの値の末尾に単位を表示するかどうかの選択ができます。初期設定は <input checked="" type="checkbox"/> です。
⑨	表示フォーマット	入力	選択したデータポイントが、整数型/実数型/符号なし整数型の場合、レイアウトに表示するデータの表示フォーマットを指定できます。 ※小数点以下 5 桁まで指定できます。
⑩	プレビュー	表示	レイアウトに表示する変動ラベルのサンプルを表示します。
⑪	保存	操作	上記で設定した内容で変動ラベルの情報を登録します。
⑫	キャンセル	操作	処理を中断します。入力した内容は破棄され、編集を行う前の設定情報を表示します。


17.4.3 固定画像の変更

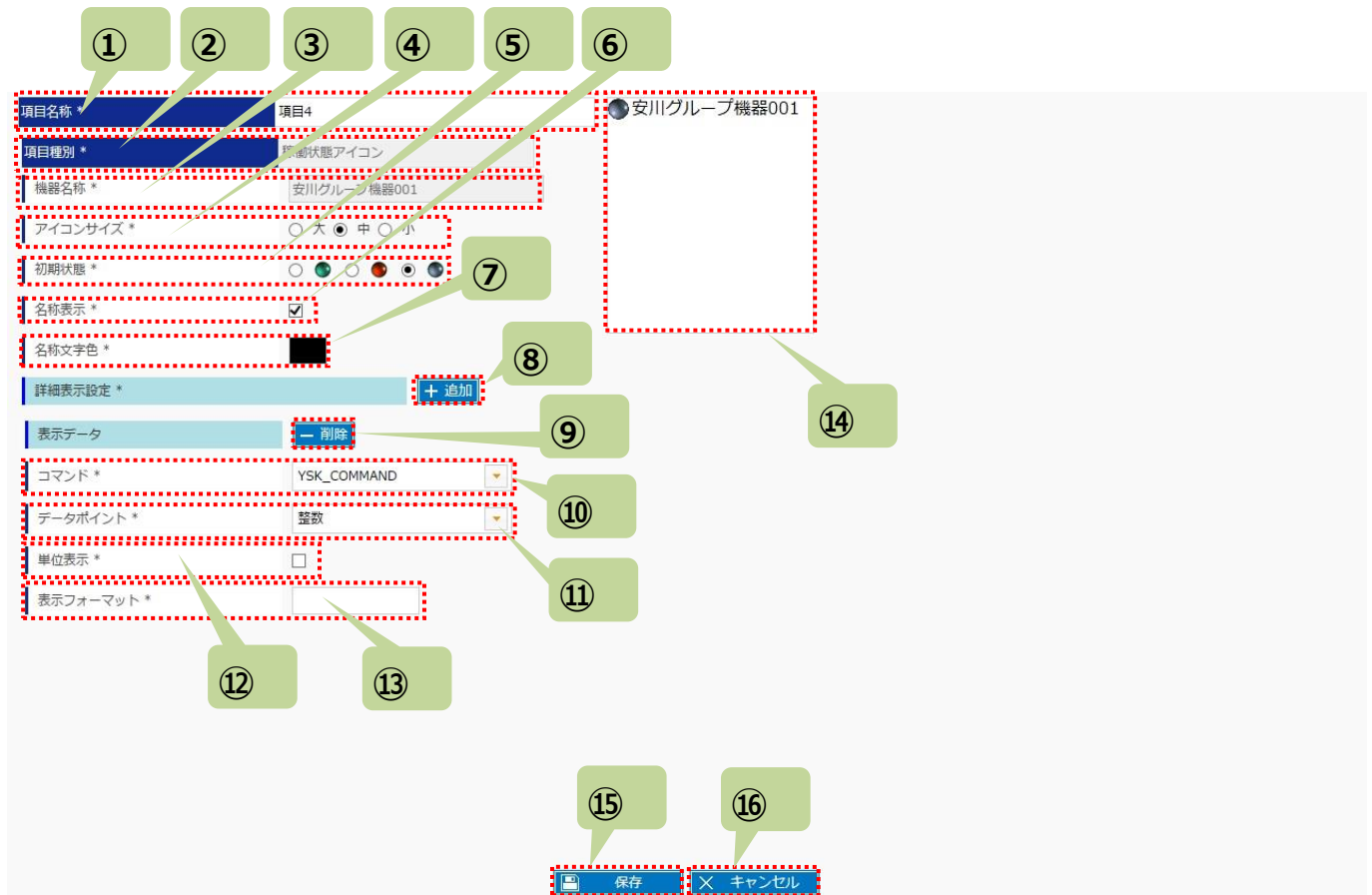
[レイアウト情報]画面より、“固定画像”の項目名をクリックすると、[表示項目情報]画面へ遷移します。[表示項目情報]画面の  をクリックすることで、固定画像の詳細情報を変更できます。







領域	項目名	属性	説明
①	項目名称	入力	[レイアウト情報]画面で表示項目を識別するための名称を変更できます。 ※入力可能な文字数は256文字までです。
②	項目種別	表示	表示項目の種別を表示します。本項目は変更できません。
③	画像	表示	設定した画像のファイル名を表示します。初期設定は“NoImage.jpg”です。
④	ファイル選択	操作	レイアウトに表示する固定画像を選択します。 ※固定画像の拡張子はjpg/jpeg/bmp/gif/pngのみ登録可能です。 ※ファイルサイズの上限は1Mbyteです。
⑤	クリア	操作	現在設定されているファイルの選択をクリアします。クリアすると、“NoImage.jpg”が設定されます。
⑩	プレビュー	表示	レイアウトに表示する固定画像のサンプルを表示します。
⑪	保存	操作	上記で設定した内容で固定画像の情報を登録します。
⑫	キャンセル	操作	処理を中断します。入力した内容は破棄され、編集を行う前の設定情報を表示します。

17.4.4 稼働状態アイコンの変更


[レイアウト情報]画面より、“稼働状態アイコン”の項目名をクリックすると、[表示項目情報]画面へ遷移します。[表示項目情報]画面の  をクリックすることで、稼働状態アイコンの詳細情報を変更できます。

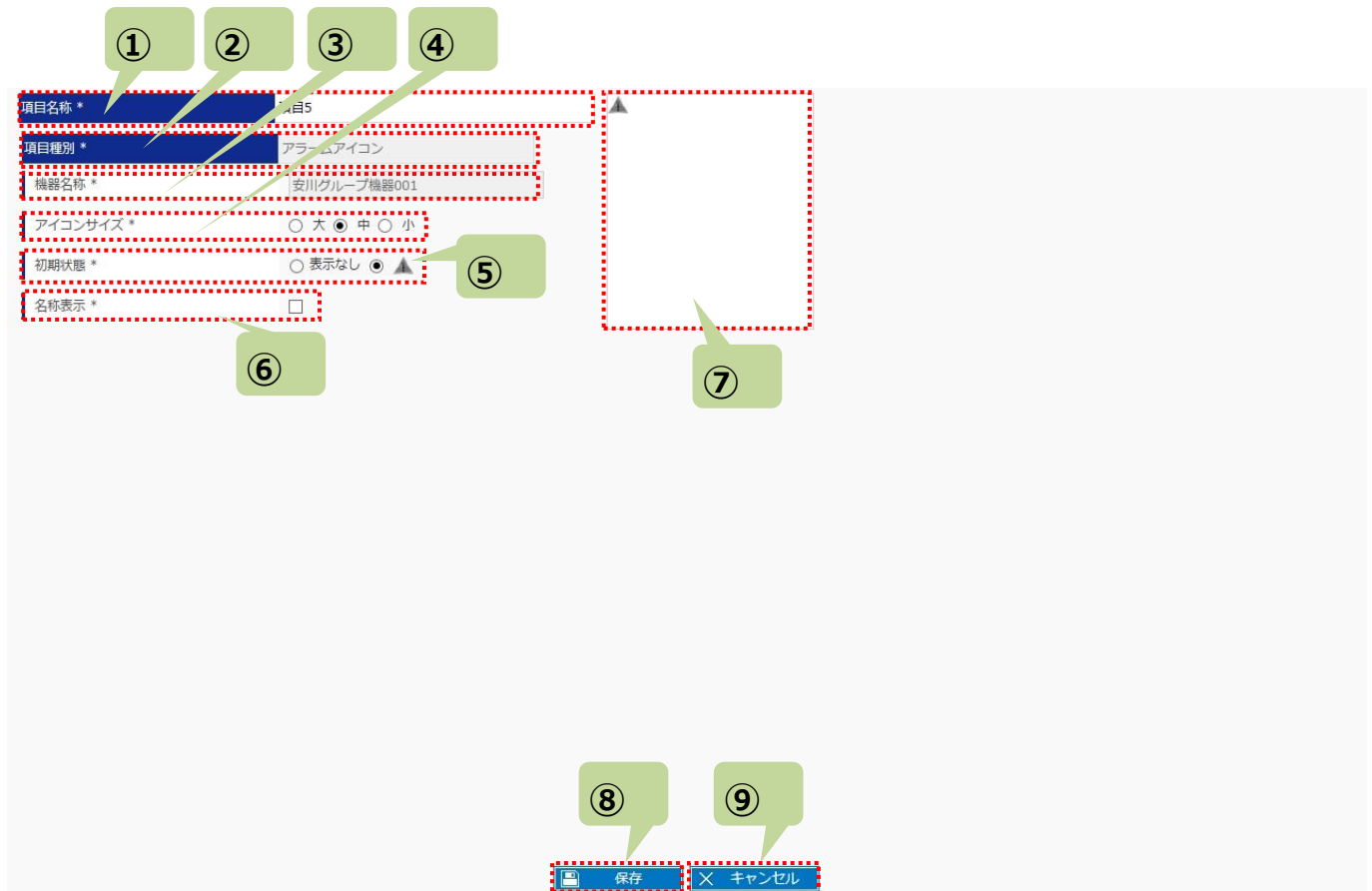


領域	項目名	属性	説明
①	項目名称	入力	[レイアウト情報]画面で表示項目を識別するための名称を変更できます。 ※入力可能な文字数は256文字までです。
②	項目種別	表示	表示項目の種別を表示します。本項目は変更できません。
③	機器名称	表示	[レイアウト情報]画面で選択した機器の名称を表示します。本項目は変更できません。
④	アイコンサイズ	操作	レイアウトに表示するアイコンの大きさを、大/中/小の中から1つ選択できます。初期設定は“中”です。
⑤	初期状態	操作	稼働状態の初期表示を、  /  /  の中から1つ選択できます。初期設定は  です。
⑥	名称表示	操作	稼働状態アイコンの横に機器名称を表示するかどうかを設定できます。初期設定では <input checked="" type="checkbox"/> です。
⑦	名称文字色	操作	レイアウトに表示する文字色を変更できます。初期設定は“黒”です。
⑧	追加	操作	稼働状態アイコンにマウスオーバした際の詳細表示の表示データを追加します。

			※表示データは最大で3つ追加できます。 ※表示データが1つもない場合は、マウスオーバーしても詳細表示は表示されません。
⑨	削除	操作	表示データを削除します。
⑩	コマンド	表示	[レイアウト情報]画面で選択した機器に紐づく通信プロファイルのコマンドをプルダウンで選択します。
⑪	データポイント	操作	[レイアウト情報]画面で選択した機器に紐づく通信プロファイルのデータポイントをプルダウンで選択します。
⑫	単位表示	操作	レイアウトに表示するデータポイント値の末尾に単位を表示するかどうかの選択ができます。初期設定は <input type="checkbox"/> です。
⑬	表示フォーマット	入力	選択したデータポイントが、整数型/実数型/符号なし整数型の場合、レイアウトに表示するデータの表示フォーマットを指定できます。 ※小数点以下5桁まで指定できます。
⑭	プレビュー	表示	レイアウトに表示する稼働状態アイコンのサンプルを表示します。
⑮	保存	操作	上記で設定した内容で稼働状態アイコンの情報を登録します。
⑯	キャンセル	操作	処理を中断します。入力した内容は破棄され、編集を行う前の設定情報を表示します。

17.4.5 アラームアイコンの変更


[レイアウト情報]画面より、“アラームアイコン”の項目名をクリックすると、[表示項目情報]画面へ遷移します。[表示項目情報]画面の  をクリックすることで、アラームアイコンの詳細情報を変更できます。



領域	項目名	属性	説明
①	項目名称	入力	[レイアウト情報]画面で表示項目を識別するための名称を変更できます。 ※入力可能な文字数は256文字までです。
②	項目種別	表示	表示項目の種別を表示します。本項目は変更できません。
③	機器名称	表示	[レイアウト情報]画面で選択した機器の名称を表示します。本項目は変更できません。
④	アイコンサイズ	操作	レイアウトに表示するアイコンの大きさを、大/中/小の中から1つ選択できます。初期設定は“中”です。
⑤	初期状態	操作	アラームアイコンの初期表示を、“表示なし”/ ▲ の中から1つ選択できます。初期設定は ▲ です。
⑥	名称表示	操作	アラームアイコンの横に機器名称を表示するかどうかを設定できます。初期設定では <input type="checkbox"/> です。
⑦	プレビュー	表示	レイアウトに表示するアラームアイコンのサンプルを表示します。

⑧	保存	操作	上記で設定した内容でアラームアイコンの情報を登録します。
⑨	キャンセル	操作	処理を中断します。入力した内容は破棄され、編集を行う前の設定情報を表示します。

17.4.6 機器の変更

[レイアウト情報]画面より、“機器”の項目種別をクリックすると、[表示項目情報]画面へ遷移します。[表示項目情報]画面の  をクリックすることで、機器の詳細情報を変更できます。

The screenshot shows the '表示項目情報' (Display Item Information) screen with the following fields and callouts:

- 1**: 項目名称 * (Item Name) - 項目6
- 2**: 項目種別 * (Item Type) - 固定画像
- 画像 * (Image) - NoImage.jpg
- 画像サイズ * (Image Size) - 大 中 小
- 3**: 項目種別 * (Item Type) - アラームアイコン
- 機器名称 * (Device Name) - 安川グループ機器001
- アイコンサイズ * (Icon Size) - 大 中 小
- 初期状態 * (Initial State) - 表示なし 上向き
- 名称表示 * (Name Display) -
- 4**: 項目種別 * (Item Type) - 稼働状態アイコン
- 機器名称 * (Device Name) - 安川グループ機器001
- アイコンサイズ * (Icon Size) - 大 中 小
- 初期状態 * (Initial State) - 緑 赤 黒 白
- 名称表示 * (Name Display) -
- 名称文字色 * (Name Text Color) - 黒
- 詳細表示設定 * (Detailed Display Settings) - + 追加
- 表示データ (Display Data) - - 削除
- コマンド * (Command) - [Dropdown]
- データポイント * (Data Point) - [Dropdown]
- 単位表示 * (Unit Display) -
- 表示フォーマット * (Display Format) - [Text Field]
- 5**: 項目種別 * (Item Type) - 変動ラベル
- 機器名称 * (Device Name) - 安川グループ機器001
- データポイント選択 * (Data Point Selection) - [Dropdown] [Dropdown]
- 文字サイズ * (Text Size) - 大 中 小
- 文字色 * (Text Color) - 黒
- 背景色 * (Background Color) - 指定なし
- 単位表示 * (Unit Display) -
- 表示フォーマット * (Display Format) - [Text Field]
- 6**: 安川グループ機器001 (No Image placeholder)
- 7**: 保存 (Save)
- 8**: キャンセル (Cancel)

領域	項目名	属性	説明
①	項目名称	入力	[レイアウト情報]画面で表示項目を識別するための名称を変更できます。 ※入力可能な文字数は 256 文字までです。
②	固定画像設定	表示 操作	機器に表示する固定画像の情報を設定します。各項目の詳細は、第 17.4.3 章をご参照ください。
③	アラームアイコン 設定	表示 操作	機器に表示するアラームアイコンの情報を設定します。各項目の詳細は、第 17.4.5 章をご参照ください。
④	稼働状態アイコン 設定	表示 操作 入力	機器に表示する稼働状態アイコンの情報を設定します。各項目の詳細は、第 17.4.4 章をご参照ください。
⑤	変動ラベル設定	表示 操作 入力	機器に表示する変動ラベルの情報を設定します。各項目の詳細は、第 17.4.2 章をご参照ください。
⑥	名称表示	操作	アラームアイコンの横に機器名称を表示するかどうかを設定できます。初期設定では <input type="checkbox"/> です。
⑦	プレビュー	表示	レイアウトに表示する機器のサンプルを表示します。
⑧	保存	操作	上記で設定した内容で機器の情報を登録します。
⑨	キャンセル	操作	処理を中断します。入力した内容は破棄され、編集を行う前の設定情報を表示します。

付録 1 CSV 入出力

CSV の入出力機能について、詳細な仕様を記載します。

CSV は、様々なデータをカンマで区切って記述するファイル形式です。出力される CSV ファイルの文字コードは SJIS 形式です。テキストエディタで開くと下図のように表示されます。

```

0      1      2      3      4      5      6      7      8      9
1 ファイル名,出力日時,システムバージョン,,,,,↵
2 GroupList_20160323171459.csv,2016/3/23 17:14,4.00.00,,,,,↵
3 処理区分,グループID,グループ名称,グループ階層,親グループ,緯度,経度,住所,タイムゾーン↵
4 ,0,ALL,ALL,,33.8584,130.7582,福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15,Tokyo↵
5 ,3,NY支店,ALL-安川商社-NY支店,1,33.8584,130.7582,福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15,Tokyo↵
6 ,6,タイ工場,ALL-安川情報-タイ工場,4,33.8584,130.7582,福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15,Tokyo↵
7 ,1,安川商社,ALL-安川商社,0,33.8584,130.7582,福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15,Tokyo↵
8 ,4,安川情報,ALL-安川情報,0,33.8584,130.7582,福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15,Tokyo↵
9 ,2,本社,ALL-安川商社-本社,1,33.8584,130.7582,福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15,Tokyo↵
10 ,5,本社工場,ALL-安川情報-本社工場,4,33.8584,130.7582,福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15,Tokyo↵
[EOF]
    
```

本マニュアルでは、CSV ファイルの内容を掲載する際、便宜上、Excel で開いたときの画面イメージを使用します。

※CSV ファイルを Excel で開く際の注意点は、付録 1.1.1 をご参照ください。

CSV ファイルのうち、3 行目までは「ヘッダ部」、4 行目以降は「データ部」です。また、「ヘッダ部」の 3 行目はデータ部の項目名です。

ファイル名	出力日時	システムバージョン							
GroupList_20160323171459.csv	2016/3/23 17:14	4.00.00							
処理区分	グループID	グループ名	グループ階層	親グループ	緯度	経度	住所	タイムゾーン	
0	ALL	ALL			33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo	
3		NY支店	ALL-安川商社-NY支店	1	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo	
6		タイ工場	ALL-安川情報-タイ工場	4	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo	
1		安川商社	ALL-安川商社	0	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo	
4		安川情報	ALL-安川情報	0	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo	
2		本社	ALL-安川商社-本社	1	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo	
5		本社工場	ALL-安川情報-本社工場	4	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo	

領域	項目名	説明
①	ヘッダ部	<p>ファイル名/出力日時/システムバージョンは、CSV ファイルを出力する際に自動的に生成されます。</p> <p>3 行目は、ファイルに出力するデータの項目名です。画面ごとに設定されています。取り込みを行う際は、出力時と同じ内容にしてください。(項目の内容に関する詳細は、付録 1.4.2~付録 1.4.10 をご参照ください)</p> <p>一番左の列“処理区分”は、CSV ファイル取り込み時に新規登録/編集を区別するために使用します。詳細は、付録 1.2 をご参照ください。</p> <p>※ヘッダ部は取り込みの対象となりませんが、削除しないでください。</p>
②	データ部	<p>取り込むデータを記述します。</p> <p>記述方法に関する詳細は、付録 1.4.2~付録 1.4.10 をご参照ください。</p>

付録 1. 1 入出力する CSV ファイルについて

付録 1. 1. 1 CSV ファイルを Excel で開く方法

この章では、CSV ファイルを Excel で開く手順の一例を説明します。

※画面イメージは Excel2013 です。

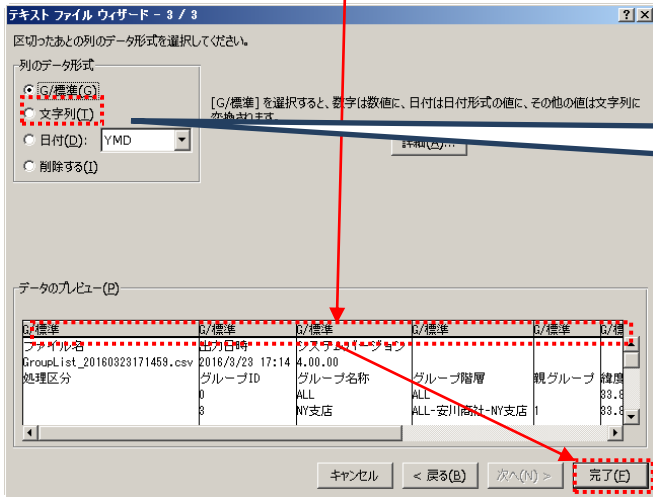
Excel を起動し、空白のシートを開きます。

「データ」→「テキストファイル」からファイル選択ダイアログを開きます。

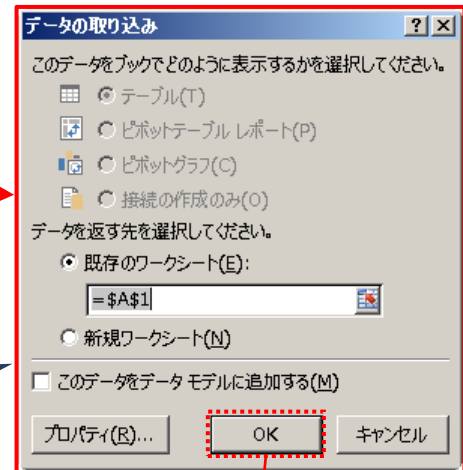
Excel で開きたいファイルを選択し、<インポート>をクリックします。

「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択し、<次へ>をクリックします。

区切り文字「カンマ」を選びます。
(プレビューで表示を確認できます。)



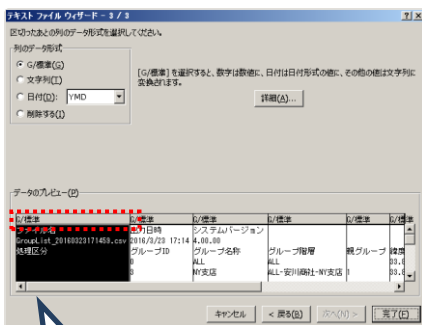
全ての列のデータ形式を「文字列」にします。



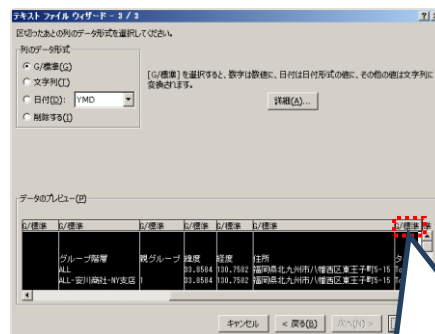
表示場所などの設定を行います。
(デフォルトのままでも構いません。)
<OK>をクリックすると、
ExcelでCSVを読み込みます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	ファイル名	出力日時	システムバージョン							
2	GroupList_20160323171459.csv	2016/3/23 17:14	4.00.00							
3	処理区分	グループID	グループ名	グループ階層	親グループ	緯度	経度	住所	タイムゾーン	
4			0	ALL	ALL	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo	
5			3	NY支店	ALL-安川商社-NY支店	1	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
6			6	タイ工場	ALL-安川情報-タイ工場	4	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
7			1	安川商社	ALL-安川商社	0	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
8			4	安川情報	ALL-安川情報	0	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
9			2	本社	ALL-安川商社-本社	1	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
10			5	本社工場	ALL-安川情報-本社工場	4	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
11										
12										

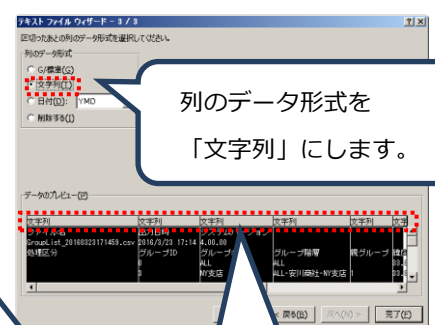
※列のデータ形式は、以下のように一括で設定することができます。



一番左の列のヘッダをクリックします。



Shiftキーを押しながら
一番右の列のヘッダをクリックします。
(プレビュー全体が黒く表示されます。)



列のデータ形式を
「文字列」にします。

全ての列が一括で
設定されます。

付録 1. 1. 2 出力に関する注意事項

出力対象のデータが多い場合、CSV には制限行数までしか出力されません。

※型番/通信プロファイル/アラーム条件/トレンドビュー/イベント変換/機器に関しては、CSV ファイルでは複数行で 1 件のデータを記述する場合があります。その際、1 件のデータの途中で制限行数に達した場合、このデータは出力されません。(直前のデータまで出力されます。下記の例をご参照ください。)

例：下図のように、9,976 行目~9,988 行目にデータ A、9,989 行目~10,005 行目にデータ B が出力されるとします。

	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	
1									
2									
3	演算式	データ型	イベント 変換名称	値範囲(最大値)	値範囲(最小値)	稼働状態管理方法	継続状態時間	状態値名称	種
4		イベント	活性炭状態						
5		実数				通信有無のみに連動	10	運転状態	種
6									
中略									
9976		実数		1000	0				
9977		イベント	温度表示変換						
9978	Voltage/Current	実数							
9979		実数							
9980		実数		1000000	0				
9981		日時		1000	0				
9982		実数							
9983		イベント							
9984		実数		1000000	0				
9985						機器情報の稼働状態設定値に連動	10	停止状態	停
9986								運転状態	稼
9987								メンテナンス中	停
9988								出荷待ち	停
9989		座標							
9990		実数		100	-100				
9991	Temperature*“1.8”+“32”	実数		212	-148				
9992						以下で設定するデータポイントの判定条件に連動	10	氷点	稼
9993								温度上昇	稼
9994									
9995								温度上限	稼
9996								温度上限超え	稼
9997								温度やや上昇	稼
9998									
9999								標準稼働	稼
10000									
10001								標準稼働(低温)	稼
10002									
10003								温度下限	稼
10004								温度低下	稼
10005								停止中	停
10006									

1 件のデータを 13 行で記述 (データ A)

1 件のデータを 17 行で記述 (データ B)

制限行数 = 10,000 行

CSV ファイルの出力制限は 10,000 行ですが、この例ではデータ B の途中で制限に達します。そのため、データ A までは正常に出力されますが、データ B は一切出力しません。(ヘッダ部の 3 行は制限行数に含まれません。)

付録 1. 1. 3 取り込みに関する注意事項

CSV ファイルのファイル名は任意です。

取り込むことができる CSV ファイルの文字コードは SJIS 形式です。SJIS 形式以外の文字コードで保存された CSV ファイルを取り込むと、正しい情報が入力されている場合でもエラーになるか、もしくは文字化けする場合があります。ご注意ください。

データは半角引用符「"」で囲んで記入してください。データを空白にする場合、半角引用符 2 つ「""」で表記してください。

例：グループ名称「YE DIGITAL」、グループ階層「(空白)」、親グループ「ALL」の順で書く場合、

「"YE DIGITAL";"";"ALL"」と記入してください。

CSV 取り込みによる新規作成／編集は、ログインユーザの権限による制約があります。画面上の操作で新規作成／編集できない場合、CSV 取り込みによる新規作成／編集もできません。

取り込むことができる CSV ファイルは、データ部が 1,000 行以内のものです。1,000 行を超えるファイルを取り込もうとした場合、エラーとなり処理を中断します。また、データは決められた順序で記述する必要があります。項目名、記載順に関する詳細は、付録 1.4.2～付録 1.4.10 をご参照ください。(取り込む CSV ファイルの項目名、記載順は、出力される CSV ファイルと同じ項目、順序です。)

前バージョンの CSV ファイルで取り込みを行うと、自動で現バージョンにコンバートし取り込まれます。

なお、取り込み時にエラーが発生した場合は、現バージョンの項目名で表示されるため、CSV ファイル内の項目名と一致しない場合があります。ご了承ください。※CSV フォーマットのコンバート処理に関する詳細は、付録 1.4.2～付録 1.4.10 をご参照ください。

※画面別の CSV フォーマット取り込み可否については下表の通りです。

画面	バージョン	取り込み可否
グループ一覧	Ver.4.00.00 以降	取り込めます
	Ver.4.00.00 より前	取り込めません
役割一覧	Ver.4.00.00 以降	取り込めます
	Ver.4.00.00 より前	取り込めません
ユーザー一覧	Ver.4.00.00 以降	取り込めます
	Ver.4.00.00 より前	取り込めません
型番一覧	Ver.4.00.00 以降	取り込めます
	Ver.4.00.00 より前	取り込めません
通信プロファイル一覧	全バージョン	取り込めます
アラーム条件一覧	Ver.4.00.00 以降	取り込めます
	Ver.4.00.00 より前	取り込めません
トレンドビュー一覧	全バージョン	取り込めます
イベント変換一覧	全バージョン	取り込めます
機器一覧	Ver.4.00.00 以降	取り込めます
	Ver.4.00.00 より前	取り込めません

付録 1. 2 処理区分について

“処理区分”の列は、出力時は空白ですが、取り込み時に新規登録／編集を区別するために使用します。CSV ファイルの取り込みを行う際には、“処理区分”を設定してください。

※処理区分は大文字でも小文字でも構いません。本マニュアルでは大文字の I/U で記述します。

※1 件のデータを複数行にわたって記述する場合、処理区分は 1 件のデータ内で I/U のいずれかに統一してください。複数行でデータを記述する方法は付録 1.4.5～付録 1.4.10 をご参照ください。

処理区分	説明
I	データを新規登録します。
U	登録済みのデータを更新します。
空白	処理を行いません。

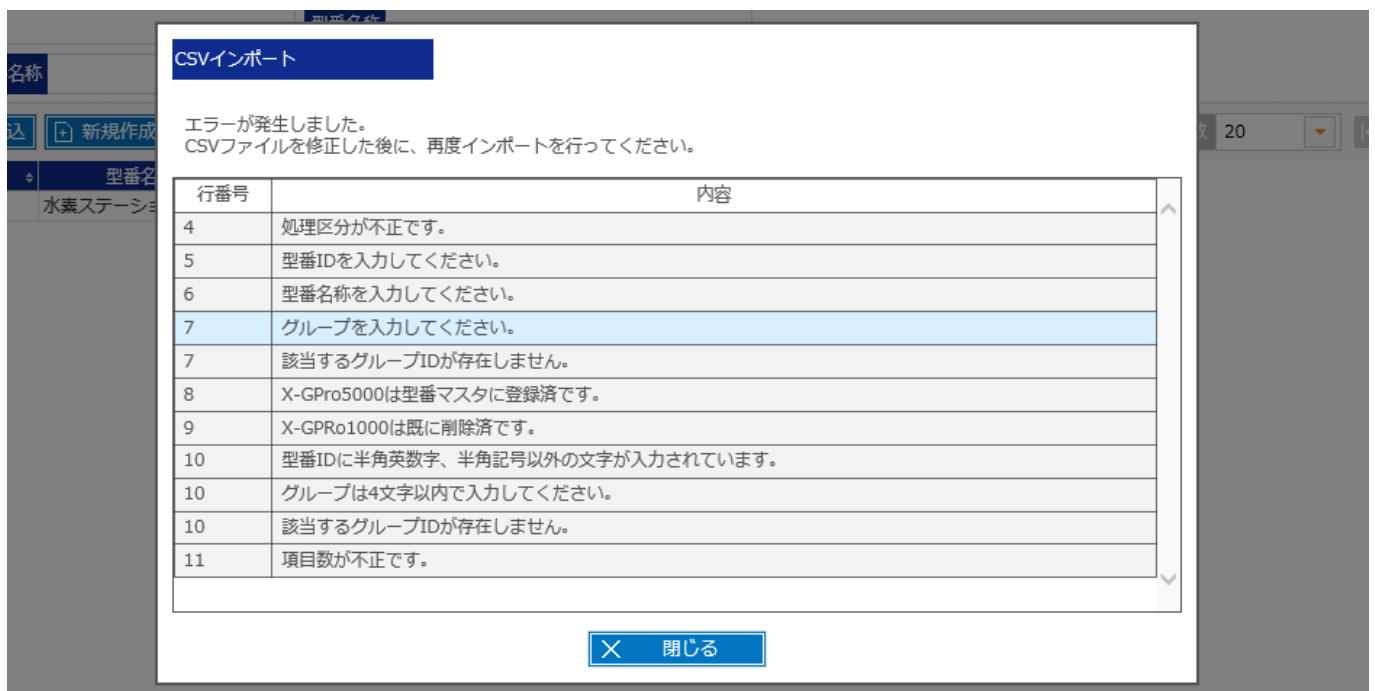
A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	ファイル名	出力日時	システムバージョン					
2	GroupList_20160323171459.csv	2016/3/23 17:14	4.00.00					
3	処理区分	グループID	グループ名グループ階層	親グループ	緯度	経度	住所	タイムゾーン
4	I	0	ALL ALL		33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
5	U	3	NY支店 ALL-安川商社-NY支店	1	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
6	D	6	タイ工場 ALL-安川情報-タイ工場	4	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
7	Z	1	安川商社 ALL-安川商社	0	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
8	IDU	4	安川情報 ALL-安川情報	0	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
9	M	2	本社 ALL-安川商社-本社	1	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo
10	R	5	本社工場 ALL-安川情報-本社工場	4	33.8584	130.7582	福岡県北九州市八幡西区東王子町5-15	Tokyo

ファイル名が出力されます。

I/U 以外の文字や、複数の文字を記入した場合、エラーとなります。

付録 1. 3 CSV ファイルの取り込み - エラーメッセージについて

CSV ファイルを取り込む際、正常でないデータを記述した場合、以下のようなエラーメッセージが表示されます。



主なメッセージ、対応方法は下表の通りです。(各画面固有のメッセージに関しては、メッセージ先頭に画面名を記載します。)

※入力チェックに関する詳細は、付録 1.4 をご参照ください。

No.	メッセージ例	説明
1	処理区分が不正です。	処理区分に I/U/空白以外の文字が入力されているか、もしくは複数行にわたるデータで処理区分が統一されていません。処理区分が正しいことを確認してください。 ※処理区分に関する詳細は、付録 1.2 をご参照ください。
2	〇〇を入力してください。	必須項目が入力されていません。
3	該当する〇〇が存在しません。	対象データが登録されていません。記入しているデータが登録内容と一致しているかを確認してください。
4	〇〇は●●に登録済です。	データの名称、ID などが重複しています。データを修正してください。
5	〇〇が入力されています。	文字の種類、文字数が不正です。指定された文字の種類、文字数で入力
6	〇〇は●●で入力してください。	し直してください。
7	項目数が不正です。	CSV の列の数が、出力されるファイルと一致していません。データ項目の過不足が無いことを確認してください。 ※何も書かれていない行がデータ部にあると、項目数不正となります。 (データ部の最後の行に限り、空白行は 1 行のみ許容されます。)
8	〇〇はマスタに登録されていません。	マスタに登録されていないデータが入力されています。整合性チェックを行う項目の入力データが正しいことを確認してください。
9	〇〇に禁則文字が含まれています。	使用できない文字を含んでいます。禁則文字を使わないデータに修正し

		てください。 ※使用可能な文字に関しては、付録 2 をご参照ください。
10	メールアドレスが不正です。	入力されたメールアドレスが正しくありません。(全角文字や「/」は使用できません。) メールアドレスを修正してください。
11	不正なメールアドレスです。	
12	緯度と経度を設定する場合は両方入力して下さい。	緯度、経度の片方のみを登録することはできません。緯度、経度の項目は、両方とも入力するか、もしくは両方とも空白にしてください。
13	[グループ一覧] 親グループは入力値が不正です。	存在しないグループ ID が親グループに指定されていないか確認してください。 ※CSV ファイルは上から順に取り込むため、階層順に記述してください。(親グループが下側の行に書かれると「親グループ不正」となります。) ※グループ ID が“0000”のグループは CSV 取り込みができません。 ※CSV ファイルを Excel で編集する場合、「0000」が「0」に書き換わる可能性がありますのでご注意ください。
14	[役割一覧] ユーザに割り当てられているため、ユーザ公開フラグを変更できません。	ユーザ公開フラグがセットされている役割が現在使用されている場合、ユーザ公開フラグを“公開しない”に変更することはできません。
15	[ユーザー一覧] 連絡メールが設定されていません。	連絡メールが 1 件も設定されていません。送信チェック 1～送信チェック 10 のうち、少なくとも 1 つは「TRUE」で設定してください。
16	[型番一覧] 既に通信プロファイルが割り当てられているため、変更できません。	[型番一覧]画面の CSV 取り込みによる編集では、通信プロファイルの変更はできません。
17	[通信プロファイル一覧] コマンドコードは 0x1000～0x1FFF でなければなりません。	コマンドコードは 4 桁の 16 進数のうち、「1」または「20」で始まるもののみ設定可能です。コマンドコードを修正してください。 ※16 進数で使用できるのは、「0」～「9」及び「A」～「F」です。 ※データ形式ごとのコマンドコードの指定方法に関しては、第 9.2 章をご参照ください。
18	[通信プロファイル一覧] 受信フォーマットに不正な値が使用されています。	日時のフォーマットを修正してください。 ※日時フォーマットの記入方法に関する詳細は、付録 1.4.6 及び「通信設定マニュアル」をご参照ください。
19	[通信プロファイル一覧] 演算式に不正な値が使用されています。	使用できない定数が書かれています。演算式を修正してください。 ※演算式の記入方法に関する詳細は、第 9.2.2 章をご参照ください。
20	[通信プロファイル一覧] 複数の ON ビット指定はできません。	ビット演算が正しくありません。演算式を修正してください。 ※データ型が“ビット”のときは、ビット演算と定数の記述のみ可能です。四則演算や文字列連結はできません。 ※ビット型の演算式の記入方法、使用可能な定数など、詳細は、第 9.2.2.3 章をご参照ください。
21	[通信プロファイル一覧] 複数のビット指定はできません。	
22	[通信プロファイル一覧] ビット指定以外は指定できません。	
23	[通信プロファイル一覧]	

	ビット数は0から15まで指定してください。	
24	[通信プロファイル一覧] ワード型以外は指定できません。	データ型が“ビット”のとき、演算に使うことができるデータポイントはワード型のみです。データポイントを変更してください。
25	[通信プロファイル一覧] 稼働状態設定は1つのみ設定可能です。	1件の通信プロファイルに複数の通信コマンドを設定した場合でも、稼働状態を別個に定義することはできません。1件の通信プロファイルに対して稼働状態設定が1件のみになるよう修正してください。 ※1件の稼働状態設定の中で、複数の状態値を定義することはできません。稼働状態に関する詳細は、第10章をご参照ください。
26	[アラーム条件一覧] 発生条件の入力に不備があります。	アラームの発生条件/復帰条件が正しくありません。以下の点に注意して修正してください。
27	[アラーム条件一覧] 復帰条件の入力に不備があります。	<ul style="list-style-type: none"> 1件のアラームに対して複数の発生条件/復帰条件を設定する場合、連結子(“AND”/“OR”)を必ず記入してください。 データポイントによって、使用可能な比較演算子が異なります。詳細は付録1.4.7をご参照ください。
28	[イベント変換一覧] イベント変換に設定できないデータポイントが使用されています。	イベント変換で設定できるのは、“計測日時”が「FALSE」、”保存する”が「TRUE」で、かつデータ型が「イベント」のもので、この条件を満たすデータポイントを指定してください。
29	[イベント変換一覧] 入力した通信プロファイル、通信コマンド、データポイントは既に登録済みです。	既にイベント変換が定義されたデータポイントを使用して、新しいイベント変換を定義することはできません。他のデータポイントを指定してください。
30	[イベント変換一覧] 変換ルールの入力に不備があります。	<p>イベント変換の変換ルール(比較方法/比較値/イベントデータ値)が正しくありません。以下の点に注意して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較方法は“=”/“≠”のみ入力できます。 比較値に「OTHER」を指定する場合、1件のイベント変換の最後の行に記述してください。 <p>※変換ルールに関する詳細は、第13.2.1章をご参照ください。</p>
31	[機器一覧] アラームのメール設定に誤りがあります。メール設定を確認してください。	<p>アラームの発生メール/復帰メールの設定が正しくありません。メールテンプレートやメールアドレスが正しいことを確認してください。</p> <p>※記入方法に関する詳細は、付録1.4.10をご参照ください。</p>

付録 1. 4 取り込む CSV ファイルの作り方

付録 1. 4. 1 共通

CSV ファイルを取り込む際、データ部に関して以下のチェックが行われます。チェックの対象項目に関する詳細は、付録 1.4.2～付録 1.4.10 をご参照ください。

表記	チェック項目	説明
(必須)	必須チェック	必須項目です。空白の場合、エラーとなります。
(重複)	重複チェック	既に登録されているデータと名称などが重複している場合、エラーとなります。
(存在)	存在チェック	既に登録されているデータが存在しない場合(CSV に記載されている名称などが登録されていない場合)、エラーとなります。
(整合性)	整合性チェック	特定の文字以外が入力された場合、エラーとなります。 ※入力可能な文字は各項目の説明に記載します。
-	なし	新規作成：記載内容に関わらず、無視されます。 編集：新規作成時のチェックと同様のチェックを行います。

※編集時には、上の表で挙げたチェック項目以外に、画面上で保存ボタンクリック時と同様の入力チェックを行います。

※上の表の他にも、無視される項目を除き、使用できる文字の種類や文字数のチェックを行います。また、画面から入力/変更できないデータは、CSV ファイル取り込みによる入力/変更もできません。入力/変更の制限に関しては、各画面の章を併せてご参照ください。

付録 1.4.2～付録 1.4.10 の入力チェック一覧表の No.は、ヘッダ部、データ項目の左から何番目のデータかを表します。例えば、次ページの[グループ一覧]画面の No.2 はグループ ID なので、[グループ一覧]画面で取り込む CSV ファイルの左から 2 番目にはグループ ID を記入します。

付録 1. 4. 2 グループ一覧

[グループ一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は () で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

※グループ ID が“0000”のグループは CSV 取り込みができません。

No.	項目名	新規作成	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	グループ ID	(必須) (重複)	(必須) (存在)	
3	グループ名称	(必須)	-	
4	グループ階層	-	-	
5	親グループ	(必須) (存在)	-	登録済みのグループ ID でない場合、エラーとなります。
6	緯度	(整合性)	-	半角数字と半角マイナス「-」、半角ピリオド「.」のみ入力できます。 例：北緯 61.8 度の場合は「61.8」、 南緯 3.5 度の場合は「-3.5」と記入してください。
7	経度	(整合性)	-	半角数字と半角マイナス「-」、半角ピリオド「.」のみ入力できます。 例：東経 130.8 度の場合は「130.8」、 西経 9.2 度の場合は「-9.2」と記入してください。
8	住所	-	-	
9	タイムゾーン	(必須) (整合性)	-	※1

※1：画面上から選択可能なタイムゾーンのみ入力可能です。(例：“Tokyo”/“London”/“New_York”/“Moscow”など)

【CSV ファイル例】

ファイル名	出力日時	システムバージョン							
GroupList_20180100000000.csv	2018/1/1 0:00	4.01.00							
処理区分	グループID	グループ名称	グループ階層	親グループ	緯度	経度	住所	タイムゾーン	
I	0000	TOP	TOP					Tokyo	
I	0001	安川商社	TOP-安川商社	0000	33.858	130.758	福岡県北九州市八幡西区	Tokyo	
I	0002	本社	TOP-安川商社-本社	0001	33.858	130.758	福岡県北九州市八幡西区	Tokyo	
I	0003	NY支店	TOP-安川商社-NY支店	0001			New York	New_York	
I	0004	安川情報	TOP-安川情報	0000	33.858	130.758	福岡県北九州市八幡西区	Tokyo	
I	0005	本社工場	TOP-安川情報-本社工場	0004	33.858	130.758	福岡県北九州市八幡西区	Tokyo	
I	0006	タイ工場	TOP-安川情報-タイ工場	0004			バンコク市	Bangkok	

【古いフォーマットの CSV を取り込むときの動作】

- ・「削除」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。

付録 1. 4. 3 役割一覧

[役割一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は()で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

No.	項目名	新規作成	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	役割名称	(必須) (重複)	(必須) (存在)	
3	ユーザ公開設定	(必須) (整合性)	-	公開する：1 公開しない：0
4	デフォルトフラグ	(必須) (整合性)	-	デフォルト：1 デフォルトでない：0
5	表示順	(必須)	-	0~2,147,483,647 の整数が入力できます。
6	機器稼働状況一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
7	機器トレンドモニタ	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
8	機器詳細	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
9	コマンド実行	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
10	点検保守状況	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
11	報告書	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
12	アラーム履歴	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
13	通信状況一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
14	機器稼働時間一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
15	配信状況一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
16	通信ログ一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
17	稼働状況分析	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
18	アラーム状況分析	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。

19	資料一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
20	資料情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
21	システム設定	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。 ※1
22	グループ一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。 ※1
23	グループ情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。 ※1
24	役割一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。 ※1
25	役割情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。 ※1
26	ユーザー一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
27	ユーザ情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
28	型番一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
29	型番情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
30	通信プロファイル一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
31	通信プロファイル情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
32	稼働状態設定情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
33	アラーム条件一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
34	アラーム条件情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
35	トレンドビュー一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
36	トレンドビュー情報	(必須)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できま

		(整合性)		す。
37	イベント変換一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
38	イベント変換情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
39	配信データ一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
40	配信データ情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
41	機器一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
42	機器情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。
43	お知らせ一覧	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。 ※1
44	お知らせ情報	(必須) (整合性)	-	"利用不可"/"閲覧可能"/"更新可能"のみ入力できます。 ※1

※1：“利用不可”/“閲覧可能”を指定しても“更新可能”として登録されます。

【CSV ファイル例】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	ファイル名	出力日時	システムバージョン						
2	RoleList_20160323184656.csv	2016/03/23 18:46:56	4.00.00						
3	処理区分	役割名称	ユーザ公開設定	デフォルトフラグ	表示順	機器稼働状況一覧	機器トレンドモニタ	機器詳細	点検保守状況
4	I	エンドユーザー管理者	1	0	3	更新可能	更新可能	更新可能	閲覧可能
5	I	グループ管理者	0	0	2	更新可能	更新可能	更新可能	更新可能
6	I	システム管理者	0	0	1	更新可能	更新可能	更新可能	更新可能

【古いフォーマットの CSV を取り込むときの動作】

- ・「削除」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。

付録 1. 4. 4 ユーザー一覧

[ユーザー一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は()で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

No.	項目名	新規追加	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	ユーザ ID	(必須) (重複)	(必須) (存在)	
3	ユーザ名 (姓)	(必須)	-	
4	ユーザ名 (名)	(必須)	-	
5	ユーザ名 (セイ)	-	-	
6	ユーザ名 (メイ)	-	-	
7	ユーザ権限	(必須) (整合性)	-	"システム管理者"/"ユーザ"のみ入力可能です。
8	役割	(必須) (存在)	-	登録済みの役割でない場合、エラーとなります。
9	グループ区分	-	-	(将来用)
10	グループ ID	(必須) (存在)	-	登録済みのグループ ID でない場合、エラーとなります。
11	担当グループ	-	-	
12	タイムゾーン	(必須) (整合性)	-	※1
13	言語	(必須) (整合性)	-	"日本語"/"英語"のみ入力可能です。
14	テーマカラー	(必須) (整合性)	-	"ブルー (Default)"/"ホワイト×ブルー"/ "ブラック"/"スカイブルー"/"オレンジ"/ "グリーン"のみ入力可能です。
15	時計表示タイムゾーン 1	(整合性)	-	※1
16	時計表示タイムゾーン 2	(整合性)	-	※1
17	時計表示	(必須) (整合性)	-	"アナログ"/"デジタル"のみ入力可能です。
18	無効	(整合性)	-	"有効"/"無効"のみ入力可能です。
19	送信チェック 1	(必須) (整合性)	-	送信する : TRUE 送信しない : FALSE ※送信チェック 1~送信チェック 10 のいずれかを 「TRUE」で設定してください。
20	メールアドレス名 1	(必須) (重複)	-	同一ユーザ内に同じメールアドレス名が無いことをチェックします。

21	メールアドレス 1	(必須) (重複)	-	同一ユーザ内に同じメールアドレスが無いことをチェックします。
22	送信チェック 2	(整合性)	-	No.19 送信チェック 1 が「TRUE」の場合、空白でも構いません。 同一ユーザ内に同じメールアドレス名/メールアドレスが無いことをチェックします。
23	メールアドレス名 2	(重複)	-	
24	メールアドレス 2	(重複)	-	
25	送信チェック 3	No.22 送信チェック 2~No.24 メールアドレス 2 と同様です。		
26	メールアドレス名 3			
27	メールアドレス 3			
28	送信チェック 4	No.22 送信チェック 2~No.24 メールアドレス 2 と同様です。		
29	メールアドレス名 4			
30	メールアドレス 4			
31	送信チェック 5	No.22 送信チェック 2~No.24 メールアドレス 2 と同様です。		
32	メールアドレス名 5			
33	メールアドレス 5			
34	送信チェック 6	No.22 送信チェック 2~No.24 メールアドレス 2 と同様です。		
35	メールアドレス名 6			
36	メールアドレス 6			
37	送信チェック 7	No.22 送信チェック 2~No.24 メールアドレス 2 と同様です。		
38	メールアドレス名 7			
39	メールアドレス 7			
40	送信チェック 8	No.22 送信チェック 2~No.24 メールアドレス 2 と同様です。		
41	メールアドレス名 8			
42	メールアドレス 8			
43	送信チェック 9	No.22 送信チェック 2~No.24 メールアドレス 2 と同様です。		
44	メールアドレス名 9			
45	メールアドレス 9			
46	送信チェック 10	No.22 送信チェック 2~No.24 メールアドレス 2 と同様です。		
47	メールアドレス名 10			
48	メールアドレス 10			

※1：画面上から選択可能なタイムゾーンのみ入力可能です。(例：“Tokyo”/“London”/“New_York”/“Moscow”など)

【CSV ファイル例】

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	ファイル名	出力日時	システムバージョン					
2	UserList_20160323184903.csv	2016/03/23 18:49:03	4.00.00					
3	処理区分	ユーザID	ユーザ名(姓)	ユーザ名(名)	ユーザ名(セイ)	ユーザ名(メイ)	ユーザ権限	役割
4	I	yaskawa001	安川	太郎	ヤスカワ	タロウ	システム管理者	システム管理者
5	I	yaskawa002	安川	次郎	ヤスカワ	ジロウ	ユーザ	エンドユーザー管理者
6	I	yaskawa003	安川	三郎	ヤスカワ	サブロウ	ユーザ	エンドユーザー管理者
7	I	yaskawa004	安川	四郎	ヤスカワ	シロウ	ユーザ	貸出アカウント

【古いフォーマットの CSV を取り込むときの動作】

- ・「削除」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。

付録 1. 4. 5 型番一覧

[型番一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は()で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

No.	項目名	新規作成	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	型番 ID	(必須) (重複)	(必須) (存在)	
3	型番名称	(必須)	-	
4	グループ ID	(必須)	-	
5	グループ	-	-	
6	通信プロファイル名称	-	-	
7	コマンド名称 1	-	(存在)	通信プロファイル名称で設定されている通信プロファイルに登録済のコマンド名称のみ入力できます。
8	データポイント名称 1	-	(必須) (重複) (存在)	※1 コマンド名称で入力されたコマンドに登録済のデータポイントのみ入力できます。 同一型番内で同じデータポイントが使用されていないことをチェックします。
9	単位 1	-	-	
10	集計方法 1	-	(必須) (整合性)	※1 データポイントのデータ型が"整数"/"実数"/"ビット"/"符号なし整数"の場合は、"平均"/"合計"/"最新瞬時"のみ入力できます。 データポイントのデータ型が"ワード"/"日時"/"座標"/"文字列"/"イベント"の場合は"最新瞬時"のみ入力できます。
11	集計期間 1	-	(必須) (整合性)	※1 "集計方法"が"平均"/"合計"の場合は、"Raw"/"1 時間"/"1 日"/"1 週間"/"1 ヶ月"/"永久"のみ入力できます。 "集計方法"が"最新瞬時"の場合は"Raw"のみ入力できます。
12	単位表示 1	-	(必須) (整合性)	※1 表示する…TRUE 表示しない…FALSE
13	コマンド名称 2	No.7 コマンド名称 1 ~ No.12 単位表示 1 と同様です。		
14	データポイント名称 2			
15	単位 2			
16	集計方法 2			

17	集計期間 2			
18	単位表示 2			
19	コマンド名称 3	No.7 コマンド名称 1 ~ No.12 単位表示 1 と同様です。		
20	データポイント名称 3			
21	単位 3			
22	集計方法 3			
23	集計期間 3			
24	単位表示 3			
25	コマンド名称 4	No.7 コマンド名称 1 ~ No.12 単位表示 1 と同様です。		
26	データポイント名称 4			
27	単位 4			
28	集計方法 4			
29	集計期間 4			
30	単位表示 4			
31	コマンド名称 5	No.7 コマンド名称 1 ~ No.12 単位表示 1 と同様です。		
32	データポイント名称 5			
33	単位 5			
34	集計方法 5			
35	集計期間 5			
36	単位表示 5			
37	機器付帯情報	-	(存在)	編集のとき、登録済みの機器付帯情報が無い場合、または、登録されていない機器付帯情報が書かれている場合はエラーとなります。

※1：同一番号のコマンド名称を入力している場合のみ必須です。

【注意事項】

- ・1件の型番に対して複数の機器付帯情報を設定する場合、No.7 機器付帯情報を必要な行数だけ入力してください。このときの2行目以降は、他の列は空白にしてください。

例：機器付帯情報を3件登録する場合、下の図のようにCSVファイルを作成します。

機器付帯情報以外のデータは、2行目以降は空白にしてください。(下図①)

機器付帯情報は1~3行目に記入してください。(下図②)

※更に他の型番を登録する場合、4行目以降に記入してください。

【CSV ファイル例】

	A	B	C	D	E	F	G	AI	AJ	AK
1	ファイル名出力日時		システムバージョン							
2	ModelList	2016/7/14 15:38	4.00.00							
3	処理区分	型番ID	型番名称	グループ	グループ	通信プロファイル名称	コマンド名称1	集計期間5	単位表示5	機器付帯情報
4	I	WindowsServer	Windowsサーバ	0000	ALL	Windowsサーバ用プロファイル	定周期通知	Raw	FALSE	備考1 OS
5	I									備考2 CPU
6	I									備考3 メモリ
7										

- ・ CSV 取り込みによる更新では、「機器付帯情報の追加・削除」はできません。画面から操作を行ってください。

【古いフォーマットの CSV を取り込むときの動作】

- ・ 「削除」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。
- ・ 「機器付帯情報」は未設定として、一律で機器付帯情報 0 件として取り込みます。

付録 1. 4. 6 通信プロファイル一覧

[通信プロファイル一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は () で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

※[通信プロファイル一覧]画面での CSV 取り込みで、稼働状態設定の編集を行うことができます。

No.	項目名	新規作成	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	通信プロファイル名称	(必須) (重複)	(必須) (存在)	
3	型番	-	-	
4	型番 ID	(必須) (存在)	-	通信プロファイル未設定の型番のみ入力できます。
5	グループパス	-	-	
6	コマンドコード	(必須) (重複)	-	同一プロファイル内に同じコマンドコードが無いことをチェックします。
7	コマンド名称	(必須)	-	
8	通信方式	(必須) (整合性)	-	"TCP"/"FTP"/"MMLP"のみ入力できます。
9	データ形式	(必須) (整合性)	-	"XML"/"CSV"/"固定長"/"単一"/"ファイル"のみ入力できます。
10	エンコード種別	(必須) (整合性)	-	"UTF-8"/"SJIS"のみ入力できます。
11	ヘッダ行数	(必須)	-	データ形式が"CSV"の場合のみ必須です。
12	改行コード	(必須) (整合性)	-	データ形式が"XML"/"CSV"の場合のみ必須です。 "CR+LF"/"CR"/"LF"のみ入力できます。
13	繰返し XPATH	(必須)	-	データ形式が"XML"の場合のみ必須です。
14	繰返しデータ長	(必須)	-	データ形式が"固定長"の場合のみ必須です。
15	データポイント数	-	-	
16	使用機器数	-	-	
17	コード	(必須) (重複)	-	同一コマンド内に同じデータポイントコードが無いことがチェックされます。
18	項目番号	(必須)	-	データ形式が"CSV"、かつ"演算する"が「FALSE」の場合のみ必須です。
19	XPATH	(必須)	-	データ形式が"XML"、かつ"演算する"が「FALSE」の場合のみ必須です。
20	開始位置	(必須)	-	データ形式が"固定長"の場合のみ必須です。
21	データ長	(必須)	-	データ形式が"固定長"の場合のみ必須です。

22	計測日時	(必須)	-	計測する：TRUE 計測しない：FALSE
23	受信フォーマット	(必須)	-	※1
24	計測日時区分	(必須) (整合性)	-	"計測日時"が「TRUE」の場合、及び、データ形式が"受信ファイル"の場合は必須です。 "標準日時"/"タイムゾーン日時"のみ入力できます。
25	保存する	(必須) (整合性)	-	保存する：TRUE 保存しない：FALSE ※データ形式が"受信ファイル"の場合、必須ではありません。
26	名称	(必須)	-	"保存する"が「TRUE」の場合、及び、データ形式が"受信ファイル"の場合は必須です。
27	単位	-	-	
28	計測日時コード	(存在)	-	同一コマンド内の計測日時データポイントコードのみ入力できます。
29	無効	(必須) (整合性)	-	無効：1 有効：0
30	有効期限(分)	(必須)	-	"保存する"が「TRUE」の場合、及び、データ形式が"受信ファイル"の場合は必須です。
31	演算する	(必須) (整合性)	-	演算する：TRUE 演算しない：FALSE ※データ形式が"受信ファイル"の場合、必須ではありません。
32	演算式	(必須)	-	"演算する"が「TRUE」の場合のみ必須です。 演算式の書き方に関する詳細は、第9.2.2章をご参照ください。
33	データ型	(必須) (整合性)	-	"ワード"/"整数"/"実数"/"日時"/"座標"/"ビット"/"文字列"/"イベント"/"符号なし整数"のみ入力できます。 "計測日時"と"保存する"の両方が「TRUE」の場合、"日時"で登録されます。 ※データ形式が"受信ファイル"の場合、必須ではありません。
34	イベント変換名称	-	-	
35	値範囲(最大値)	(整合性)	-	数値のみ入力できます。
36	値範囲(最小値)	(整合性)	-	数値のみ入力できます。値範囲(最大値)の値を超える場合、エラーとなります。
37	稼働状態管理方法	(必須) (整合性)	-	"機器情報の稼働状態設定値に連動"/"以下で設定するデータポイントの判定条件に連動"/"通信有無のみに連動"のみ入力できます。
38	継続状態時間	(必須)	-	
39	状態値名称	(必須) (重複) ※2	-	同一コマンド内に同じ状態値名称が無いことをチェックします。

40	稼働停止分類	(必須) (整合性)	-	"稼働状態"/"停止状態"のみ入力できます。
41	画面表示色	(必須) (重複) (整合性)	-	同一コマンド内に同じ画面表示色が無いことをチェックします。 ※3
42	判定条件:コマンド名称	※5	-	データ形式が"受信ファイル"のコマンドは使用できません。
43	判定条件:データポイントコード	※5	-	
44	判定条件:データポイント名称	※5	-	
45	判定条件:比較演算子	(整合性) ※4	-	データ型が整数/実数/ビット/符号なし整数の場合、"="/ "≠"/"≥"/">"/"≤"/"<"のみ入力できます。 データ型がワード/日時/座標/文字列/イベントの場合、"="/ "≠"/"含む"/"含まない"のみ入力できます。
46	判定条件:閾値	※4	-	
47	判定条件:条件結合区分	(整合性)	-	"AND"/"OR"のみ入力できます。











※1 : No.22 計測日時が「TRUE」の場合のみ必須です。日時のフォーマットで使用可能な文字は下表の通りです。詳細な記述方法に関する詳細は、「通信設定マニュアル」の第 2.5 章をご参照ください。

年	y	時 (0~23 時)	H	分	m
月	M	時 (1~24 時)	k	秒	s
日	d			ミリ秒	S

※2 : No.37 稼働状態管理方法が"機器情報の稼働状態設定値に連動"の場合、"停止状態"/"運転状態"/"メンテナンス中"/"出荷待ち"の 4 件を入力してください。(これら以外を入力した場合や、いずれかが不足している場合、エラーとなります。)

No.37 稼働状態管理方法が"通信有無のみに連動"の場合、"運転状態"のみ入力できます。

※3 : 画面表示色は下表の色コードのみ入力可能です。

色コード	表示色	色コード	表示色	色コード	表示色	色コード	表示色	色コード	表示色
#FF2800		#35A16B		#FF9900		#808080		#0041FF	
#FF99A0		#66CCFF		#9A0079		#663300		#FAD700	

※4 : No.37 稼働状態管理方法が"以下で設定するデータポイントの判定条件に連動"の場合のみ、必須チェックを行います。

※5 : No.37 稼働状態管理方法が"以下で設定するデータポイントの判定条件に連動"の場合のみ、必須チェックを行います。また、同一プロファイル内で、同じコマンド、同じデータポイントが判定条件に指定されていることをチェックします。

【注意事項】

- No.26 名称/No.27 単位/No.39 状態値名称に関しては、未登録のものを入力した場合、名称/単位/状態値が新規追加されます。このとき、全ての言語に対して同じ名称/単位/状態値名称が登録されます。
- 1件のプロファイルに対して複数件のコマンドを登録する場合、コマンド2件目以降はNo.2 通信プロファイル名称～No.5 グループバスを空白にしてください。

【CSV ファイル例】

	A	B	C	D	E	F	G
1	ファイル名	出力日時	システムバージョン				
2	CommandProfileList_20160323191127.csv	2016/03/23 19:11:27	4.00.00				
3	処理区分	通信プロファイル名称	型番	型番ID	グループバス	コマンドコード	コマンド名称
4	I	LC123プロファイル	LC123	lc123	ALL-安川商社-NY支店	1001	活性炭コマンド
5	I						
6	I						
7	I						
8	I					1010	炭素コマンド
9	I						

- 1件のコマンドに対してデータポイントは最大 100 件まで登録可能です。データポイント2件目以降はNo.2 通信プロファイル名称～No.16 使用機器数を空白にしてください。

【CSV ファイル例】

3	データ形式	エンコード種別	ヘッダ行数	改行コード	繰返しXPath	繰返しデータ長	データポイント数	使用機器数	コード	項目番号	XPATH
4	XML	UTF-8		CR+LF	/data/record		3	1	date		/record/measureDate
5									Temperature		/record/temperature
6									Switch		/record/switch
7									Mode		/record/mode
8	XML	UTF-8		CR+LF	/data/record		1	1	carbon		/data/carbon
9											
10											

- ・コマンド/データポイントを記述する行は、No.37 稼働状態管理方法～No.47 判定条件:条件結合区分は空白にしてください。No.37 稼働状態管理方法～No.47 判定条件:条件結合区分は、プロファイルの最後のコマンド/データポイントの次の行から記述します。稼働状態を記述する行は No.2 通信プロファイル名称～No.36 値範囲(最小値)は空白にしてください(※下図①)。また、状態 2 件目以降は No.37 稼働状態管理方法/No.38 継続状態時間も空白にしてください(※下図②)。

【CSV ファイル例】

	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	
1									
2									
3	値範囲(最大値)	値範囲(最小値)	稼働状態管理方法	継続時間	状態値名称	稼働停止分類	画面表示色	判定条件:コマンド名称	判定条件
4									
5	100	-100							
6	212	-148							
7			以下で設定するデータポイントの判定条件に連動	10 氷点	稼働状態	稼働状態	#35A16B	冷凍車コマンド	Temp2
8				温度上昇	稼働状態	稼働状態	#9A0079	冷凍車コマンド	Temp2
9									
10				温度上限	稼働状態	稼働状態	#663300	冷凍車コマンド	Temp2
11				温度上限超え	稼働状態	稼働状態	#FF2800	冷凍車コマンド	Temp2
12				温度やや上昇	稼働状態	稼働状態	#FF99A0	冷凍車コマンド	Temp2
13									
14				標準稼働	稼働状態	稼働状態	#FF9900	冷凍車コマンド	Temp2
15									
16				標準稼働(低温)	稼働状態	稼働状態	#FAD700	冷凍車コマンド	Temp2
17									
18				温度下限	稼働状態	稼働状態	#66CCFF	冷凍車コマンド	Temp2
19				温度低下	稼働状態	稼働状態	#0041FF	冷凍車コマンド	Temp2
20				停止中	停止状態	停止状態	#808080	冷凍車コマンド	Temp2
21									
22									

- ・ No.37 稼働状態管理方法が“以下で設定するデータポイントの判定条件に連動”の場合、1 件のプロファイルに対して状態値名称は最大 10 件まで登録可能です。また、各状態値の判定条件は最大 3 件まで登録可能です。(複数の判定条件は条件結合区分で連結してください。判定条件 2 件目以降は No.2 通信プロファイル名称～No.44 判定条件:データポイント名称を空白にしてください。)

【CSV ファイル例】

	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
1								
2								
3	稼働停止分類	画面表示色	判定条件:コマンド名称	判定条件:データポイントコード	判定条件:データポイント名称	判定条件:比較演算子	判定条件:閾値	判定条件:条件結合区分
4								
5								
6								
7	稼働状態	#35A16B	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	=	32	
8	稼働状態	#9A0079	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	>	32 AND	
9							50	
10	稼働状態	#663300	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	=	50	
11	稼働状態	#FF2800	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	>	50	
12	稼働状態	#FF99A0	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	<	32 AND	
13							23	
14	稼働状態	#FF9900	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	≧	23 AND	
15							14	
16	稼働状態	#FAD700	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	≧	14 AND	
17							5	
18	稼働状態	#66CCFF	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	=	5	
19	稼働状態	#0041FF	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	<	5	
20	停止状態	#808080	冷凍車コマンド	Temp2	華氏温度	=	NULL	
21								

- ・登録済みの通信プロファイルに対してコマンドやデータポイントを追加する場合は、処理区分は“U”を設定してください（※下図①）。削除する場合も同様に処理区分は“U”を設定して、CSVファイル上から削除したいコマンドやデータポイントを削除して取り込むことで削除されます（※下図②）。ただし、通信プロファイルの削除はCSV取り込みではできませんので、画面から削除してください。

【CSV ファイル例】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	ファイル名	出力日時	システムバージョン							
2	CommandProfileList_20170114152103.csv	2017/1/14 15:21	4.01.00							
3	処理区分	通信プロファイル名称	型番	型番ID	グループバス	コマンドコード	コマンド名称	通信方式	データ形式	エンコード種別
4	U	MMLink-Profile	MMLink-3G(温度)	MMLink-3G-Temp	root	1000	温度送信コマンド	TCP	固定長	UTF-8
5	U									
6	U					1500	位置送信コマンド	TCP	固定長	UTF-8
7	U									
8	U									
9	U									
10	U									
11	U									
12	U					1600	気温送信コマンド	TCP	固定長	UTF-8
13	U									

上記CSVファイル例内の「位置送信コマンド」を削除

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	ファイル名	出力日時	システムバージョン							
2	CommandProfileList_20170114152103.csv	2017/1/14 15:21	4.01.00							
3	処理区分	通信プロファイル名称	型番	型番ID	グループバス	コマンドコード	コマンド名称	通信方式	データ形式	エンコード種別
4	U	MMLink-Profile	MMLink-3G(温度)	MMLink-3G-Temp	root	1000	温度送信コマンド	TCP	固定長	UTF-8
5	U									
6	U					1600	気温送信コマンド	TCP	固定長	UTF-8
7	U									

【古いフォーマットのCSVを取り込むときの動作】

- ・「削除」「削除(コマンド)」「削除(データポイント)」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。

付録 1. 4. 7 アラーム条件一覧

[アラーム条件一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は()で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

No.	項目名	新規作成	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	アラーム名称	(必須) (重複)	(必須) (存在)	
3	種別	(必須) (整合性)	-	"発生型"/"復帰型"/"無通信検知型"のみ入力できます。
4	レベル	(必須) (整合性)	-	"低"/"中"/"高"/"重大"のみ入力できます。
5	通信プロファイル名称	(必須) (存在)	-	登録済みの通信プロファイル名称でない場合、エラーとなります。
6	監視条件	(必須) (整合性)	-	"監視する"/"監視しない"のみ入力できます。
7	開始 (時:分)	(必須) (整合性)	-	「HH:mm」形式のみ入力できます。開始時間が終了時間を超える場合、エラーとなります。
8	終了 (時:分)	(必須) (整合性)	-	「HH:mm」形式のみ入力できます。開始時間が終了時間を超える場合、エラーとなります。
9	曜日	(必須) (整合性)	-	※1
10	発生条件:コマンド名称	(必須) (存在)	※2	No.5 の通信プロファイルに設定されたコマンド名称でない場合、エラーとなります。
11	発生条件:データポイントコード	(必須) (存在)	※2	No.10 の通信コマンドに設定されたデータポイントコードでない場合、エラーとなります。
12	発生条件:データポイント名称	(必須) (存在)	※2	No.10 の通信コマンドに設定されたデータポイント名称でない場合、エラーとなります。
13	発生条件:比較演算子	(必須) (整合性)	※2	データ型が整数/実数/ビット/符号なし整数の場合、"="/" ≠"/"≥"/">"/"≤"/"<"のみ入力できます。 データ型がワード/日時/座標/文字列/イベントの場合、 "="/"≠"/"含む"/"含まない"のみ入力できます。
14	発生条件:比較値	(必須)	※2	
15	発生条件:連結子	(整合性)	※2	"AND"/"OR"のみ入力できます。
16	復帰条件:コマンド名称	※3	※2	
17	復帰条件:データポイントコード	※3	※2	

18	復帰条件:データポイント 名称	※3	※2	
19	復帰条件:比較演算子	※3	※2	
20	復帰条件:比較値	※3	※2	
21	復帰条件:連結子	※3	※2	
22	最短アラーム間隔[秒]	(整合性)	-	半角数字のみ入力できます。
23	無通信判定条件:コマンド 名称	(必須) (存在)	※2	No.5の通信プロファイルに設定されたコマンド名称でない場合、エラーとなります。
24	無通信判定期間[分]	(整合性)	-	半角数字のみ入力できます。
25	再通知条件	(必須) (整合性)	-	"再通知する"/"再通知しない"のみ入力できます。
26	再通知間隔[分]	(整合性)	-	半角数字のみ入力できます。
27	チェックプロセス	(必須) (整合性)	-	自動的に確認: TRUE 手動で確認: FALSE
28	無効	(必須) (整合性)	-	"有効"/"無効"のみ入力できます。
29	使用機器数	-	-	

※1: "月"/"火"/"水"/"木"/"金"/"土"/"日"のみ入力できます。複数の曜日を設定する場合、スペースや記号を挟まず、並べて書いてください。(例: 水曜日/金曜日以外で設定する場合 ⇒ 「月火木土日」と書いてください。)

※2: 変更できない項目です。編集時には入力チェックを行いません。編集前と異なる内容が記入されても、取り込み時には無視されます。

※3: 種別が「復帰型」の場合、No.10 発生条件:コマンド名称~No.15 発生条件:連結子と同様の入力チェックを行います。

【注意事項】

- ・1件のアラーム条件に対して複数の発生条件を設定する場合、No.10 発生条件:コマンド名称~No.15 発生条件:連結子を必要な行数だけ入力してください。複数の復帰条件を設定する場合、No.16 復帰条件:コマンド名称~No.21 復帰条件:連結子を必要な行数だけ入力してください。また、このときの2行目以降は、他の列は空白にしてください。

例: 発生条件を2件、復帰条件を4件登録する場合、下の図のようにCSVファイルを作成します。

発生条件/復帰条件以外のデータは、2行目以降は空白にしてください。(下図①/④)

発生条件は、1行目~2行目に記入し、3行目~4行目は空白にしてください。(下図②)

復帰条件は1行目~4行目に記入してください。(下図③)

※更に他のアラーム条件を登録する場合、5行目以降に記入してください。

【CSV ファイル例】

	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
1														
2														
3	曜日	発生条件:コ	発生条件:子	発生条件:子	発生条件:比	発生条件:比	発生条件:連	復帰条件:コ	復帰条件:子	復帰条件:子	復帰条件:比	復帰条件:比	復帰条件:連	最短アラームチ
4	月火水木金土日	電源系統コマ	Voltage	電圧	≥	100000	AND	電源系統コマ	Voltage	電圧	<	100000	OR	0
5		電源系統コマ	Current	電流	≥	1000		電源系統コマ	Current	電流	<	1000	AND	
6								電源系統コマ	Voltage	電圧	>	0	AND	
7								電源系統コマ	Current	電流	>	0		
8														

①

②

③

④

・ CSV の取り込みでは「1 件のアラーム条件に対し、2 行目以降の条件のみの登録・更新・削除」はできません。画面から操作を行ってください。

【古いフォーマットの CSV を取り込むときの動作】

・「削除」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。

付録 1. 4. 8 トレンドビュー一覧

[トレンドビュー一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は()で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

No.	項目名	新規追加	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	トレンドビュー名称	(必須) (重複)	(必須) (存在)	
3	通信プロファイル名称	(必須) (存在)	-	登録済みの通信プロファイル名称でない場合、エラーとなります。
4	コマンドコード	(必須) (存在)	-	No.4 の通信プロファイルに設定されたコマンドコードでない場合、エラーとなります。
5	コマンド名称	-	-	
6	データポイントコード	(必須) (存在)	-	No.6 の通信コマンドに設定されたデータポイントコードでない場合、エラーとなります。
7	データポイント名称	-	-	
8	グラフ表示	(必須) (整合性)	-	表示：TRUE 非表示：FALSE
9	集計方法	(必須) (整合性)	-	"平均"/"最大"/"最小"/"合計"/"最新瞬時"のみ入力できます。
10	軸	(必須) (整合性)	-	表示：TRUE 非表示：FALSE ※1
11	表示範囲 (始点)	(整合性)	-	半角数字のみ入力できます。 ※1、※2
12	表示範囲 (終点)	(整合性)	-	半角数字のみ入力できます。 ※1、※2
13	グラフ種別	(必須) (整合性)	-	"折れ線"/"棒"のみ入力できます。 ※1
14	表示順	(必須)	-	0~2,147,483,647 の整数が入力できます。
15	役割名称	(必須) (整合性)	-	
16	データポイント数	-	-	

※1：データ形式が受信ファイル又は、データ型がワード/日時/座標/文字列/イベントのとき、入力内容は無視されます。ただし、必須/整合性チェックは行います。

※2：データ型が整数/実数/ビット/符号なし整数で、終点より始点のほうが大きい数の場合、エラーとなります。データ形式が受信ファイル又はデータ型がワード/日時/座標/文字列/イベントのときは、始点と終点の大小関係が不正でも無視されます。

【注意事項】

- ・1件のトレンドビューに対して複数のデータポイントを設定する場合、No.4 コマンドコード～No.13 グラフ種別を必要な行数だけ入力してください。複数の役割を設定する場合、No.15 役割名称を必要な行数だけ入力してください。このときの2行目以降は、他の列は空白にしてください。

例：データポイントを2件、役割を4件登録する場合、下の図のようにCSVファイルを作成します。

データポイント/役割以外のデータは、2行目以降は空白にしてください。(下図①/④)

データポイントは、1行目～2行目に記入し、3行目～4行目は空白にしてください。(下図②)

役割は1行目～4行目に記入してください。(下図③)

※更に他のトレンドビューを登録する場合、5行目以降に記入してください。

【CSV ファイル例】

	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1													
2													
3	通信プロファイル名称	コマンドコード	コマンド名称	データポ	データポ	グラフ表示	集計方法	軸	表示範囲	表示範囲	グラフ種別	役割名称	データポイント数
4	電源装置プロファイル(60Hz)	1001	電源系統コマンド60	Voltage	電圧	TRUE	最新瞬時	TRUE	0	10000	折れ線	システム管理者	2
5		1001	電源系統コマンド60	Current	電流	TRUE	平均	FALSE	0	500	棒	エンドユーザ管理者	
6												ユーザ公開用	
7												ユーザ閲覧用	
8													
9													

①

②

③

④

- ・CSVの取り込みでは「コマンド・データポイントのみの登録・更新・削除」はできません。画面から操作を行ってください。

【古いフォーマットのCSVを取り込むときの動作】

- ・「削除」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。
- ・「表示順」は未設定として、一律で「0」として取り込みます。

付録 1. 4. 9 イベント変換一覧

[イベント変換一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は()で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

No.	項目名	新規作成	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	イベント変換名称	(必須) (重複)	(必須) (重複)	
3	通信プロファイル名称	(必須) (存在)	(必須) (存在) ※1	登録済みの通信プロファイル名称でない場合、エラーとなります。
4	コマンド名称	(必須) (存在)	(必須) (存在) ※1	No.4 の通信プロファイルに設定されたコマンドコードでない場合、エラーとなります。
5	データポイントコード	(必須) (存在)	(必須) (存在) ※1	No.5 の通信コマンドに設定されたデータポイントコードでない場合、エラーとなります。
6	データポイント名称	-	-	
7	変換ルール数	-	-	
8	比較方法	(必須) (整合性)	-	"="/"≠"のみ入力できます。
9	比較値	(必須)	-	
10	イベントデータ値	(必須)	-	

※1 : No.3 通信プロファイル名称～No.5 データポイントコードが全て登録内容と一致したときのみ、指定した No.2 イベント変換名称の編集を行います。

【注意事項】

- ・編集時は通信プロファイル名称、コマンド名称、データポイントコードで指定されたイベント変換について、編集を行います
- ・1件のイベント変換に対して複数の変換ルールを設定する場合、No.8 比較方法～No.10 イベントデータ値を必要な行数だけ入力してください。このときの2行目以降は、他の列は空白にしてください。

例：イベント変換ルールを4件登録する場合、下の図のようにCSVファイルを作成します。

変換ルール以外のデータは、2行目以降は空白にしてください。(下図①)

変換ルールは1行目～4行目に記入してください。(下図②)

※更に他のイベント変換を登録する場合、5行目以降に記入してください。

【CSV ファイル例】

	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	出力日時	システムバージョン							
2	2016/3/23 19:18	4.00.00							
3	イベント変換名称	通信プロファイル名称	コマンド名称	データポイントコード	データポイント名称	変換ルール数	比較方法	比較値	イベントデータ値
4	通信規格	MMLink-3Gプロファイル	通信ステータスコマンド	standard	通信規格	4	=	3 3G	
5							=	4 4G (LTE)	
6							=	NULL	通信不可
7							=	OTHER	不明

- ・CSVの取り込みでは「変換ルールのみ」の登録・更新・削除はできません。画面から操作を行ってください。

【古いフォーマットのCSVを取り込むときの動作】

- ・「削除」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。

付録 1. 4. 10 機器一覧

[機器一覧]画面で取り込む CSV に関して、以下のような入力チェックを行います。チェック内容は()で表記します。それぞれのチェックの説明は付録 1.4.1 をご参照ください。

No.	項目名	新規追加	編集	備考
1	処理区分	I	U	付録 1.2 をご参照ください。
2	機器 ID	(必須) (重複)	(必須) (存在)	
3	機器名称	(必須)	-	
4	バージョン	(必須)	-	
5	シリアル No	(必須)	-	
6	型番 ID	(必須) (存在)	-	
7	型番名称	-	-	
8	通信プロファイル名称	-	-	
9	所属グループ ID	(必須) (存在)	-	登録済みのグループ ID でない場合、エラーとなります。
10	所属グループ	-	-	
11	位置取得区分	(必須) (整合性)	-	"機器情報より取得"/"データポイントより取得"のみ入力できます。
12	緯度	(必須) (整合性)	-	位置取得区分が"機器情報より取得"の場合のみ、必須です。 半角数字と半角マイナス「-」、半角ピリオド「.」のみ入力できます。 例：北緯 61.8 度の場合「61.8」、 南緯 3.5 度の場合「-3.5」と記入してください。
13	経度	(必須) (整合性)	-	位置取得区分が"機器情報より取得"の場合のみ、必須です。 半角数字と半角マイナス「-」、半角ピリオド「.」のみ入力できます。 例：東経 130.8 度の場合「130.8」、 西経 9.2 度の場合「-9.2」と記入してください。
14	住所	(必須)	-	位置取得区分が"機器情報より取得"の場合のみ、必須です。
15	タイムゾーン	(必須) (整合性)	-	※1

16	稼働状態	(必須) (整合性)	-	“停止状態”/“運転状態”/“メンテナンス中” /“出荷待ち”のみ入力できます。 No.9 の通信プロファイルの稼働状態管理方法が「機器情報の稼働状態設定値に連動」でない場合、“運転状態”で登録されます。
17	SIM タイプ	(必須) (整合性)	-	“F-VF” / “F-D” / “other”のみ入力できます。
18	IP アドレス	-	-	
19	ポート番号	(必須) (整合性)	-	40000~49999 の数字のみ入力できます。
20	計測日時	-	-	
21	表示項目 1 (データポイント)	-	-	
22	表示項目 1 (積算値)	-	-	
23	表示項目 1 (カウント)	-	-	
24	表示項目 1 (永久積算値)	-	-	
25	表示項目 1 (永久カウント)	-	-	
26	表示項目 2 (データポイント)	No.21 表示項目 1 (データポイント) ~ No.25 表示項目 1 (永久カウント) と同様です。		
27	表示項目 2 (積算値)			
28	表示項目 2 (カウント)			
29	表示項目 2 (永久積算値)			
30	表示項目 2 (永久カウント)			
31	表示項目 3 (データポイント)	No.21 表示項目 1 (データポイント) ~ No.25 表示項目 1 (永久カウント) と同様です。		
32	表示項目 3 (積算値)			
33	表示項目 3 (カウント)			
34	表示項目 3 (永久積算値)			
35	表示項目 3 (永久カウント)			
36	表示項目 4 (データポイント)	No.21 表示項目 1 (データポイント) ~ No.25 表示項目 1 (永久カウント) と同様です。		
37	表示項目 4 (積算値)			
38	表示項目 4 (カウント)			
39	表示項目 4 (永久積算値)			
40	表示項目 4 (永久カウント)			
41	表示項目 5 (データポイント)	No.21 表示項目 1 (データポイント) ~ No.25 表示項目 1 (永久カウント) と同様です。		
42	表示項目 5 (積算値)			
43	表示項目 5 (カウント)			
44	表示項目 5 (永久積算値)			
45	表示項目 5 (永久カウント)			
46	機器付帯情報	(存在)	(存在)	登録済みの機器付帯情報の項目名でない場合、エラーとなります。

47	機器付帯情報値	-	-	
48	アラーム設定	(存在)	-	登録済みのアラーム名称でない場合、エラーとなります。
49	発生メール通知	(整合性)	-	通知する：1 通知しない：0
50	発生メールテンプレート	(整合性)	-	※2
51	復帰メール通知	(整合性)	-	通知する：1 通知しない：0
52	復帰メールテンプレート	(整合性)	-	※3
53	アドレス種別	(整合性) ※4	-	"TO"/"CC"/"BCC"のみ入力できます。
54	メールアドレス名	※4	-	
55	メールアドレス	※4	-	
56	言語	(整合性) ※4	-	"日本語"/"英語"のみ入力可能です。

※1：画面上から選択可能なタイムゾーンのみ入力可能です。(例："Tokyo"/"London"/"New_York"/"Moscow"など)

※2：No.20 発生メール通知が「1」のときのみチェックを行います。"発生通知用(Type-1)"/"発生通知用(Type-2)"のみ入力できます。

※3：No.22 復帰メール通知が「1」のときのみチェックを行います。"復帰通知用(Type-1)"/"復帰通知用(Type-2)"のみ入力できます。No.19 アラーム設定で指定したアラームが発生型の場合、空白にしてください。

※4：発生メール/復帰メールを通知する場合は必須です。未登録のメールアドレス名/メールアドレスの場合、新たに登録されます。

【注意事項】

- ・ 1 件の機器に対して複数のアラームを設定する場合、No.19 アラーム設定～No.23 復帰メールテンプレートを必要な行数だけ入力してください。1 件のアラームに対して複数のメールアドレスを設定する場合、No.24 アドレス種別～No.27 言語を必要な行数だけ入力してください。このときの 2 行目以降は、他の列は空白にしてください。

例：アラームを 2 件、各アラームにメールアドレスを 2 件ずつ登録する場合、下の図のように CSV ファイルを作成します。

アラーム/メールアドレス以外のデータは、2 行目以降は空白にしてください。(下図①)

アラームは、1 行目と 3 行目に記入してください。(下図②)

メールアドレスは、1 行目～2 行目と 3 行目～4 行目にそれぞれ記入してください。(下図③)

※更に他の機器を登録する場合、5 行目以降に記入してください。

【CSV ファイル例】

	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
1											
2											
3	住所	タイムゾーン	稼働状態	アラーム設定	発生	発生メールテンプレート	復帰	復帰メールテンプレート	アドレス種別	メールアドレス名	メールアドレス
4	八幡西区東王子町5-15	Tokyo	運転状態	過負荷状態	1	発生通知用(Type-1)	1	復帰通知用(Type-1)	TO	安川太郎アドレス	tarou-yasukawa@ysknet.jp
5									CC	安川次郎アドレス	jiro-u-yasukawa@ysknet.jp
6				直交切替異常	1	発生通知用(Type-2)	0		TO	安川太郎アドレス	tarou-yasukawa@ysknet.jp
7									BCC	安川次郎アドレス	jiro-u-yasukawa@ysknet.jp
8											
9											

①

②

③

- ・ CSV の取り込みでは「アラーム設定のみの登録・更新・削除」はできません。画面から操作を行ってください。

【古いフォーマットの CSV を取り込むときの動作】

- ・ 「削除」項目は無視され、削除されていないものとして取り込みます。
- ・ 「言語」は未設定として、一律でログインユーザの設定言語として取り込みます。

画面名	項目名	属性	禁則文字
[通信プロフィール一覧]※ [通信プロフィール情報]	“通信プロフィール”	全角・半角文字	“¥”、“¥¥”、“/”、“;”
	“コマンドコード”	半角英数	
	“コマンド名称”	全角・半角文字	“¥”、“¥¥”、“/”、“;”
	“ヘッダ行数”	半角数字	
	“繰返し XPATH”	半角英数・記号	“¥”、“¥¥”、“/”、“;”、 “ ” (半角スペース)
	“繰返しデータ長”	半角数字	
	“データポイントコード”	半角英数	
	“項目番号”	半角数字	
	“XPATH”	半角英数・記号	“¥”、“¥¥”、“/”、“;”、 “ ” (半角スペース)
	“開始位置 (データ長) ”	半角数字	
	“演算式”	半角英数・記号	“¥¥”、“;”
	“値範囲 (最大) ”	半角数字	
	“値範囲 (最小) ”		
	“受信フォーマット”	半角英数・記号	“¥¥”、“/”、“;” ※データ型が日時の場合のみ
	“有効期限 (分) ”	半角数字	
	“計測日時コード”	半角英数	
	“名称”	全角・半角文字	
	“単位”		
[稼働状態設定情報]	“状態継続時間[分]”	半角数字	
	“状態値名称”	全角半角英数	“¥”、“¥¥”、“/”、“;”
[アラーム条件一覧]※ [アラーム条件情報]	“アラーム名称”	全角半角文字	“¥¥”
	“比較値”		
	“最短アラーム間隔[秒]”	半角数字	
	“無通信判定期間[分]”		
“再通知間隔[分]”			
[トレンドビュー一覧]※ [トレンドビュー情報]	“ビュー名称”	全角・半角文字	“¥”、“¥¥”、“/”、“:”、“*”、“?”、 “<”、“>”、“ ”
[イベント変換一覧]※ [イベント変換情報]	“イベント変換名称”	全角・半角文字	“¥”、“¥¥”
	“比較値”	全角・半角文字	“¥¥”
	“イベントデータ値”		

画面名	項目名	属性	禁則文字
[機器一覧]※ [機器情報]	“機器 ID”	半角英数・記号	“¥¥”、“/”、“:”、“*”、“?”、“<”、“>”、“ ”、[システム設定]画面で登録されている FTP ファイル名連結文字
	“機器名称”	全角・半角文字	“¥”、“¥¥”
	“バージョン”	半角英数・記号	“¥”、“¥¥”
	“シリアル No”		
	“位置情報（緯度）”	半角数字	
	“位置情報（経度）”		
	“住所”	全角・半角文字	“¥”、“¥¥”
	“IP アドレス”	半角数字 “(ピリオド)”	
“ポート番号”	半角数字		
[配信データ情報]	“配信データ名称”	全角・半角文字	“¥”、“¥¥”、“/”、“:”、“*”、“?”、“<”、“>”、“ ”
	“バージョン”	半角英数	“¥¥”、“/”
	“メモ”	全角・半角文字	“¥¥”
[お知らせ情報]	“お知らせ内容”	全角・半角文字	“¥¥”
[レイアウト情報]	“表示順”	半角数字	
[表示項目情報]	“項目名称”	全角・半角文字	“¥”、“¥¥”、“/”、“:”、“*”、“?”、“<”、“>”、“ ”
	“表示テキスト”		
	“表示フォーマット”	半角数字	

※[**一覧]の画面では、CSV によるデータ取込を行う際に上記の禁則文字が適用されます。

注意事項

- ◆本サービスに使用されているイメージデータの一部は
Go Squared Ltd. <http://www.gosquared.com/> により提供されています。
- ◆MMCloud、MMLink は弊社の登録商標です。
その他、記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
本文中の各社の商標または登録商標には TM 及び®マークは表示しておりません。

技術的なお問い合わせ相談窓口

- サポートセンター

TEL : (03)5500-7293

E-MAIL : mmcloud_support@ye-digital.com

月～金（祝祭日及び当社休業日は除く）／9:00～12:00, 13:00～17:00

※ E-MAIL は 24 時間受け付けております。

MMCloud/Y's-Cloud 設定マニュアル [MMC-STD-PP-0012-119]

製品 URL : <https://www.ye-digital.com/jp/product/iotm2m/mmcloud/>

株式会社 YE DIGITAL

東京都港区芝五丁目36番7号 三田ベルジュビル9F 〒108-0014

TEL : (03)6865-8900 FAX : (03)6865-8903

URL: <https://www.ye-digital.com>

Copyright© YE DIGITAL CORPORATION All Rights Reserved.